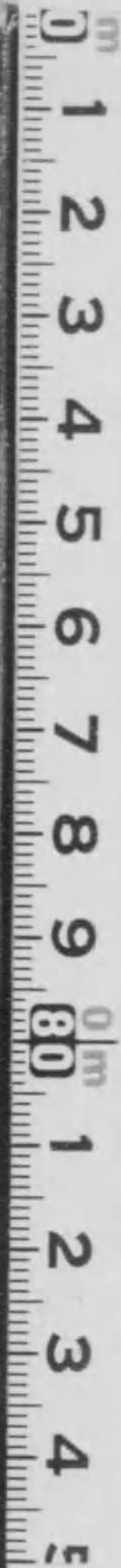


276

307



始



276-307

るせこ主を育體
材教新のスンダ校學

立府阪大
論教校學女等高丘陽夕

著吉英岡寺

大正
11. 10. 13
内交

阪大・京東
館文寶
兌發



著者最近の肖像

自序

輓近女子體育の革新を高唱するに至り、ダンスは學校に於ける重要教材の一として重視せらるゝに至れり。然るにダンスの著述に至りては二三の篤學者以外、殆ど之れが研究發表を見ざるは、斯界の爲め甚だ遺憾とする所なり。

予輩茲に鑑みる所あり、先きに同志と共に公にせる行進遊戲及舞踏、スクールダンスの二書とは全然其内容を異にせるものを刊行し、以て時代の要求に副はんことを欲し、爾來之れが研究に没頭し、材を外人及び原書に求め、親しく外國婦人につきて疑義を質すと共に、實際的指導を受け大に得る所ありたり。斯くの如くして得たる許多の種類を、嚴密に取捨選擇し、更に生徒に課して實驗し、以て之れを上梓するに至れり。

元より時運の要求に應ぜんとして公にしたるものなれども著者不敏、意有て筆達せず、加之公務の餘暇執筆せる事にて、幾多の瑕瑾と、齒痒き點多々あるべし。爾今一層研鑽に努むること共に讀者の批正を俟ち他日の大成を期せんことを。幸に本書が斯界鐘繹の一助ともならんか、著者の光榮之れに過ぐるものなからん。

大正拾一年

著者誌

凡例

- 一、本書に掲載せる教材の過半は原書より得たるものなれども、其他は知己米國人アイ、ケールン夫人の提供によりたるものなり。同夫人はハイスクール出身の才媛にして、夫君と共に神戸にありし時、著者は親戚の紹介により知遇を得、爾來足掛五年親交を結べり。偶々本書の出版を聞きて種々材料の提供を受けたるのみならず、實際に懇篤なる指導を受けたり。故に本書は同夫人の力に負ふ所尠からず、著者は滿腔の誠意を以て同夫人に感謝の意を表す。
- 一、本書に掲載せる教材中圖解し能はざるものと同一運動にして前後の關係により多少其方法を異にせる點あるを以て、一舞踏各段毎に詳解せり。
- 一、本書に掲げたる教材の多くは兩膝の屈伸、足尖の使ひ方、其他、頭、體、上肢、下肢の運動正確にして且つ輕快を要するのみならず五指の屈伸、手首の動かし方の微に至るまで、纖細なる技巧と尙ほ眼の働きを要するものあるを以て十二分の注意を拂ひて教授すると共に反覆練習すべし。
- 一、曲線舞は演技中各列亂れ勝なるを以て、常に整頓に注意すると共に、一面歩幅、角度等を正確に教授し、十分練習せしむべし。

一、方舞は社交的舞踏なるが故に教材として絶體不可なりと極論するものあれば、こは極めて偏狹なる説にして、眞に方舞を攻究し且つ含味せざるもの、説と言はざるべからず。又之れに反し方舞ならざるべからずとし、方舞萬能論を主張する人あれども、何れも極端なる説にして、著者の共に伍せざる所なり。惟ふに方舞を嚴格なる體育的見地より見るときは、幾多の缺點を有するや明かなり。然りと雖も一面方舞は方舞としての價值及特長を有し、清楚輕快なる動作の練習に適せるのみならず、中等度の運動として、持續的に行ひ得る長所あるを以て、春暖、酷暑の候、或は比較的劇烈なる運動の後、調和運動として、行はしむるやう配當するときは、比較的有効なる教材となるべし。

然して方舞は何等の技巧なく無雜作に演ずべきものにあらず。一舉手、一投足、一指の末に至るまで、纖細なる技巧と圓滑にして輕快優美の動作を要するものなるを以て、一教材を十分反覆練習せしむるを度とし、多種教授の弊に陥らざるやう特に注意すべし。

一、卷末に特殊の樂譜數種を掲げたりと雖も、他の舞踏に應用し得るものと然らざるものとあり。然らざるものは適宜他の曲を使用するを可とす。

目次

第一章 舞踏の方式

第二章 曲線舞の方式

第一節	曲線舞の説明及排列法	二
第二節	曲線舞に於ける歩法及熟語の説明	三
第三節	交叉轉回(交叉回轉)	三
第四節	搖籃步(動搖步)	四
第五節	步行轉回(步行回轉)	五
第六節	屈伸追歩(追歩後置歩)	五
第七節	踵趾歩(ヒール、チップ、ヒール、アンド、ト)	六
第八節	踏替歩(交換歩、水鷄歩)	六
第九節	跳躍歩(跳歩)	七

目次

第十節	膝屈踏躍歩	七
第十一節	股舉跳躍歩	七
第十二節	伸脚跳躍歩	七
第十三節	蹴上跳躍歩	七
第十四節	屈伸跳躍歩	八
第十五節	踏替跳躍歩	八
第十六節	膝屈踏替跳躍歩	八
第十七節	伸脚踏替跳躍歩	九
第十八節	股舉踏替跳躍歩	九
第十九節	蹴上踏替跳躍歩	九
第二十節	屈伸踏替跳躍歩	九
第二十一節	脛屈踏替跳躍歩	九
第二十二節	摺歩(氷滑歩)	一〇
第二十三節	叩歩行進	一〇
第二十四節	叩歩足踏	一一

第三章 曲線舞の實際

第一節	ファウスト	一五
第二段	一六
第三段	二〇
第四段	二五
第五段	二七
第六段	三二
第七段	三五

第二十五節	振脚跳躍歩(振脚跳歩、振脚歩、マヅルカ歩)	一一
第二十六節	ホツブ、ホツピング	一一
第二十七節	ジャムブ、ジャンピング	一二
第二十八節	スキップ	一二
第二十九節	駈歩足踏(ランニングステツブ)	一三
第三十節	水車回轉(アブケールン、ツーカーレン)	一三

第七段……………三八

第八段……………四一

第二節 プレーグボルカ(A)……………四二

第一段……………四二

第二段……………四四

第三段……………四四

第四段……………四五

第五段……………四六

第三節 プレーグボルカ(B)……………四七

第一段……………四八

第二段……………四八

第三段……………四九

第四段……………四九

第五段……………五〇

第四節 ボヘミアダンス(A)……………五一

第一段……………五二

第二段……………五三

第三段……………五四

第四段……………五五

第五段……………五六

第六段……………五七

第七段……………五八

第八段……………五九

第九段……………六〇

第五節 ボヘミアダンス(B)……………六一

第一段……………六一

第二段……………六二

第三段……………六三

第四段……………六四

第五段……………六五

第六段 六五

第七段 六六

第八段 六七

第九段 六八

第十段 六八

第六節 ボルカセリース(A) 六八

第一段 七〇

第二段 七〇

第三段 七一

第四段 七二

第五段 七三

第六段 七四

第七段 七五

第八段 七五

第七節 ボルカセリース(B) 七七

第一段 七七

第二段 七八

第三段 七九

第四段 八〇

第五段 八一

第六段 八二

第七段 八二

第八段 八三

第九段 八三

第八節 ブルーンボルカ 八三

第一段 八五

第二段 八五

第三段 八六

第四段 八七

第五段 八八

八九

第六段 八九

第七段 八九

第八段 九〇

第九節 ヒールチップボルカ(A) 九一

第一段 九一

第二段 九三

第三段 九四

第四段 九五

第五段 九五

第六段 九六

第十節 ヒールチップボルカ(B) 九七

第一段 九七

第二段 九八

第三段 九九

第四段 一〇〇

第四章 圓舞の方式

第五段 一〇一

第六段 一〇二

第七段 一〇三

第一節 圓舞の説明 一〇四

第二節 圓舞の排列法 一〇四

一、二列圓陣の排列法(其一) 一〇四

二、二列圓陣の排列法(其二) 一〇五

三、一列圓陣の排列法 一〇五

第五章 圓舞の實際

第一節 アミユシングダンス 一〇七

第一段 一〇七

第二段 一〇九

第二節 バーンダンス……………112

第三節 チェンジホッピング……………115

第四節 チェイヤフルホッピング……………117

第五節 デューヴィニルダンス……………119

第六節 プレーグラウンドダンス……………121

第七節 ラウンドフラワー……………124

第八節 ハンドスウイス……………126

第九節 スケートチングダンス……………128

第十節 クレールドルダンス……………131

第十一節 ヴィクトリーダンス……………134

第六章 列舞の方式

第一節 列舞の説明……………140

第七章 列舞の實際

第一節 デージーダンス……………141

第一段……………141

第二段……………144

第三段……………146

第二節 ヴィクトリーダンス……………149

第三節 ラインフラッター……………155

第八章 方舞の方式並に歩法の説明

第一節 方舞の説明……………161

第二節 方舞の排列法……………162

第三節 方舞の黙禮……………163

一、方舞の黙禮(其二)……………163

右生の動作の説明……………163

左生の動作の説明……………164

二、方舞の黙禮(其二)……………165

右生の動作の説明……………一六五

左生の動作の説明……………一六六

第四節 フォーア、アンド、バック……………一六七

一、フォーア、アンド、バック(其一)……………一六七

二、フォーア、アンド、バック(其二)……………一六八

第五節 セット……………一六九

一、セット(其一)……………一六九

二、セット(其二)……………一七〇

三、セットバートナー……………一七一

四、セットコーナー……………一七一

第六節 ハーフセット……………一七二

一、全部進むハーフセット……………一七三

二、右生のみ進むハーフセット……………一七五

第七節 レデーチェイン……………一七八

一、右生の動作の説明……………一七八

二、左生の動作の説明……………一七九

第八節 ゼントルマンチェイン……………一八〇

第九節 ダブルレデーチェイン……………一八一

第十節 ダブルゼントルマンチェイン……………一八二

第十一節 隣伍と行ふ場合のレデーチェイン……………一八二

第十二節 隣伍と行ふ場合のゼントルマンチェイン……………一八二

第十三節 グランドチェイン……………一八三

第十四節 ガロツプ……………一八四

第十五節 レデークロツス……………一八五

第十六節 セントラルクロツス……………一八五

第十七節 ライトクロツス……………一八六

第十八節 ターン……………一八六

一、両手をとりて行ふターン……………一八六

二、右手をとりて行ふターン……………一八六

三、左手をとりて行ふターン……………一八六

第十九節 ムリネ……………一八七

一、對伍のものを行ふムリネ……………一八七

二、各番の右生四人にて行ふムリネ(其一)……………一八八

三、各番の右生四人にて行ふムリネ(其二)……………一八九

第二十節 ブロムネーヅ……………一九〇

第二十一節 グランドブロムネーヅ……………一九一

第二十二節 サークル……………一九二

第二十三節 グラントサークル……………一九三

第二十四節 バランス……………一九四

第二十五節 ダブルバランス……………一九四

第九章 方舞の實際……………一九六

第一節 カレドニアン……………一九六

第一段……………一九六

第二段……………一九七

第三段……………一九八

第四段……………二〇〇

第五段……………二〇一

第二節 コチロンクワドリール……………二〇三

第一段……………二〇三

第二段……………二〇四

第三段……………二〇六

第四段……………二〇七

第五段……………二〇九

第三節 シングランサーズ……………二一一

第一段……………二一一

第二段……………二一二

第三段……………二一四

第四段……………二一四

第五段……………二一五

目次……………一五

第四節 シングルクワドリール……………二二八

第一段……………二二八

第二段……………二一九

第三段……………二二〇

第四段……………二二一

第五段……………二二三

第一〇章 對向舞の方式……………二二四

第一節 對向舞の説明……………二二四

第二節 對向舞の排列法……………二二四

一、對向舞の排列法其(一)……………二二四

二、對向舞の排列法其(二)……………二二五

三、對向舞の排列法其(三)……………二二五

四、對向舞の排列法其(四)……………二二七

第三節 對向舞に於ける黙禮……………二二七

第一章 對向舞の實際……………二二九

第一節 クワドリール……………二二九

第一段……………二二九

第二段……………二三〇

第三段……………二三一

第四段……………二三二

第五段……………二三四

第二節 ノーマルダンス……………二三五

第一段……………二三五

第二段……………二三七

第三段……………二三八

第四段……………二三九

第五段……………二四一

第三節 ゼルマンクワドリール……………二四二

第一段……………二四二

第二段……………二四三

第三段……………二四四

第四段……………二四五

第一章 適用樂譜

一、フアウスト……………一

二、ボヘミアダンス。ブルーンボルカ。ボルカセリーズの類適用……………八

三、カレドニアン……………一〇

四、コチロン……………一五

五、ランサース……………一八

六、クワドリール……………二二

體育を學校ダンスの新教材
主とせる

寺岡英吉著

第一章 舞踏の方式

舞踏を形式の上より分類するときは曲線舞、方舞、對向舞、圓舞、列舞、縱列舞、橫列舞の五種とするを常とす。然して曲線舞以外の四種は何れも左に男子 (Gentleman) 右に婦人 (Lady) 兩人相並びて行ふを正式とすれども學校に於ける舞踏は便宜上 (Gentleman) を左生 (Lady) を右生とし、左右兩生を一伍と稱す。伍の對向したるときは之れを對伍と稱し、左右を隣伍と稱す。

第二章 曲線舞の方式

第一節 曲線舞の排列法

第一圖 (合場ルナ重人三)



第二圖 (合場ルナ重人二)



第三圖 (合場ルナ重人四)



曲線舞とは一組を三人若しくは四人又は六人相重なるやう排列し各列の間を大間隔に整頓して行ふ舞踏法にして特に伍又は右生左生と區別する事なし。(第一圖より三圖迄参照)

第二節 曲線舞に於ける歩法及熟語の説明

舞踏には特殊の熟語ありて的確に譯し能はざるもの種々あり。由りて言葉其儘を使用する方却て便宜の場合あり。譬へ譯出するも人に因りて多少の相違を來すは蓋し免れざる事なるべし。故に本書は一舞踏各段毎に出來得る限り具體的に邦語を以て詳解せりと雖も、言語を其儘使用する方却て好都合のものは其儘使用する事とせり。以下熟語の類似せるもの、概略を擧げんとす。然し方舞の歩法は別に之れを詳解す。

第三節 交叉轉回 (交叉回轉)

- (一)左足を一步左側方に踏出す。
- (二)右足を左側方に出し右脚の前に交叉す。

(三)足の位置を變ずる事なく、兩足尖にて左全轉回をなす。
 交叉轉回は單獨にて行ひ難く、主に搖籃歩と連續して行ふを常とす。但し交叉轉回のみを二回連續して行ふ場合あり。然して側方へ行ふ場合と、前後に行ふ場合と斜前後に行ふ場合等あり。

第四節 搖籃步 (動搖步)

一回を三呼として、他の動作と連續して行ふ場合あり、又六呼、十二呼行ふ場合等あり。

(一)左足を一步前方に踏出すと同時に、右足を地より上ぐ。

(二)右足を一步前に踏出すと同時に、左足を地より上ぐ。

(三)其場にて左足を地に下ろすと同時に右足を地より上ぐ。

足を地よりはなさず踵の上をを行ふもよしとす。然して斜前方へ、前方へ、側方へ行ふ場合と時に片手を交互に舉げて行ふ場合と、兩手を舉げて行ふ場合等あり。

第五節 步行轉回 (步行回轉)

(一)左足を一步左側方に踏出す。

(二)右足を左側方に踏出し兩足尖にて左半轉回をなし背面向きとなる。(二分の一轉回)

(三)更に左半轉回をなし正面向きとなると同時に二分の一轉左足を左側方に踏出す。

(四)右足を左足に引きつく。

主に側方に行ふと雖も前後、斜前後に行ふ事あり。又三拍子にて行ふ場合あり。

第六節 屈伸追歩 (追歩、後置歩)

(一)兩膝を軽く屈すると同時に、左足を左側方に踏出す。

(二)右足を左足に引きつくると同時に、兩膝を十分伸ばし兩足尖にて立つ。

以上二回の動作を八呼連續するを常とすれども、場合によりて四呼或は十六呼行ふ場合あり。

第七節 踵趾歩 (ヒール、チップ) (ヒール、アンド、ト)

(一)右膝を屈すると同時に左足を一步左斜前方に踏出し足尖を十分上げ踵のみ地につく。

(二)左足を右足の踵に引きつけ踵を十分に上げ足尖のみ地につけ、兩膝を伸ばす。
(場合によりて兩膝を深く屈す)

以上の動作を側方、斜前方、前後及び手を交互に舉げて行ふ事あり。然して三拍子に行ふ場合は(一)左足を左斜前方に踏出し、踵及び足尖を交互に舉上す。

第八節 踏替歩 (交換歩、水鶏歩)

(一)左足を一步前方に踏出す。

(二)右足尖を左足の踵に引きつくと同時に、左足を一步前に踏出す。
以上の動作を右、左交互に前へ後へ、斜前方へ、斜後方へ、又手を舉げて行ふ場合あり。

第九節 跳躍歩 (跳歩)

(一)左足を一步前方に踏出す。

(二)右足を地よりはなすと同時に、左足にて跳躍す。跳躍歩の種類は極めて廣きものなれども、其主なるもの數種を舉ぐれば左の如し。

第十節 膝屈跳躍歩

一方の膝を深く屈して、他の足にて跳躍す。

第十一節 股舉跳躍歩 (階段歩)

一方の股を高く舉げ、他の足にて跳躍す。

第十二節 伸脚跳躍歩

一方の脚を十分伸ばし且つ高く舉げて(膝及跗骨を十分伸ばす)他の足にて跳躍す。

第十三節 蹴上跳躍歩

(一)にて左足を一步前方に踏出すと同時に、右脛を後方に擧ぐ。
(二)右脚を後方から強く前方に蹴上ぐると同時に、左足にて跳躍す。

第十四節 屈伸跳躍歩

(一)左足を一步前に踏出す。
(二)右脚を伸ばしたるまゝ、前方に高く擧ぐると同時に左足にて跳躍す。
(三)左足にて更に跳躍すると同時に、右膝を屈す。(反對に膝屈を先きに伸脚を後にする場合あり)

第十五節 踏替跳躍歩

踏替歩と跳躍とを連続したるものにして一回三呼とす。此方法にも種々あり
今左に其主なるものを擧ぐべし。

第十六節 膝屈踏替跳躍歩

踏替歩を行ひたる後膝屈跳躍歩をなす。(三拍子)

第十七節 伸脚踏替跳躍歩

(スコットランド跳躍、及して蘇歩と稱す)

踏替歩を行ひたる後伸脚踏躍歩を行ふ。(三拍子)

第十八節 股擧踏替跳躍歩

踏替歩を行ひたる後股擧跳躍歩を行ふ。(三拍子)

第十九節 蹴上踏替跳躍歩

踏替歩を行ひたる後蹴上跳躍歩を行ふ。(三拍子)

第二十節 屈伸踏替跳躍歩

(一)(二)踏替歩を行ひたる後、(三)にて伸脚踏躍歩を行ひ (四)にて伸脚せる膝を屈して更に跳躍す。(四拍子)

第二十一節 脛屈踏替跳躍歩

- (一)左足の跗骨を十分伸ばしたまゝ、左足を左斜前方に擧ぐ。(足を地につけず)
- (二)左脛を右脚の前に高く屈す。
- (三)(四)踏替歩を行ふ。

第二十二節 摺 歩 (氷滑歩)

- (一)兩膝を屈し左足を左斜前方に地を摺りつゝ、一步前出す。
 - (二)右足を地を摺りつゝ、左足に引きつくと同時に、兩膝を伸ばし兩足尖にて立つ。
- 以上の動作を右へ、左へ右へ交互に行ふを常とす。

第二十三節 叩歩行進

- (一)左足を一步前に出し足尖にて地を強くと同時に右足を一步前に上ぐ。
 - (二)先きに進めたる右足を下ろすと同時に、左足を更に一步前進す。
- 以上の動作を三拍子に行ふ場合は
- (一)左足を一步前に出し足尖にて地を強く叩く。

- (一)右足を一步前に踏出す。
 - (二)左足を一步前方に踏出す。
- 以上の外足を斜に出して三回叩き(一回足を引きつけて三回(或は二回叩く場合あり。

第二十四節 叩歩足踏

- (一)(二)にて左足を一步左斜に出し足尖にて地を強く叩きたる後其場にて軽く足踏をなす。

第二十五節 振脚跳躍歩

(振脚跳歩、又畧して振脚步とも稱す。マヅルカ歩)

- (一)左足を一步左側方に踏出す。
- (二)右足を左足に引きつけ、右足にて軽く跳躍すると同時に、左足を左側方に振り上ぐ。
- (三)右足にて更に跳躍すると同時に(此時の跳躍は行はざるもよし)左脚を右脚の

後方に屈す。(或は右脚の前方に屈するもよし)
以上の動作を他の運動と連続して側方及び前方に行ふ場合あり。又十二呼連続して行ふ事あり。其場合は(一)(二)(三)は更に以上の動作を反覆し、次に(三)にて左足を一步左側方に踏出す。

(二)右足を左足に引きつけ、右足にて軽く跳躍すると同時に、左足を左側方に振り上ぐ。(三)にて左足を地に下ろすと同時に、右脚を左脚の後方に屈す。(此(三)の動作を特に反跳歩と稱す)
(四)屈せる右脚を伸ばして之れを右側方に伸ばし足尖のみ地につく。

第二十六節 ホツブ。ホツピング

片足にて跳躍する事を凡てホツブと稱し、ホツピングボルカ等と稱する時は片足的ボルカの意なり。(以下倣之)

第二十七節 ジヤムブ。ジヤムピング

ダンスのジヤムブとは蛙飛びの事にして、兩脚を揃へて飛ぶ事をいふ。

第二十八節 スキツブ

繩飛びの一種の飛び方にして即ち右へ、左へ横に飛ぶ事をいふ。ダンスにては側方に跳躍する事をスキツブと稱す。

第二十九節 駈歩足踏 (ランニングステツブ)

(一)(二)三步 駈歩前進す。
(三)(四)其場にて駈歩足踏をなす。
以上の外普通の駈歩の如く四呼、八呼連続して行ふ場合あり。又斜に、側方に行ふ場合等あり。

第三十節 水車回轉 (アブケーレン、ツケーレン)

(一)兩人相對して兩手をとり、先頭の方の手を高く挙げ、外側の足を一步側進す。
(二)先頭の方の手を頭上に高く舉ぐると同時に、内側の足を一步側進す。
(三)先頭の方の手の下を潜り、外側の足を内側の足に引きつくと同時に、背面向きとなりて連手せる手を下ろす。

- (一) 内側の足を一步先頭の方に側進すると同時に、後方の手を少しく上ぐ。
- (二) 外側の足を一步先頭の方に側進すると同時に、後方の手を高く舉げて之れを潜る。
- (三) 内側の足を外側の足に引きつくと同時に、連手を下ろして對向す。

第三章 曲線舞の實際

(Curve Dance)

第一節 フアウスト (Faust)

本舞踏は極めて複雑にして、且つ繊細なる技巧と、圓滑にして優し味ある動作を要するものなるを以て、教授法極めて困難なり。従て其解説に至りては殆ど手下しやうなく、爲めに從來本邦にありては之れを筆にしたるもの全く無く、教授上非常の不便を感じたるは普く世人の知る所なるべし。之れ斯界の爲め誠に惜むべき事なりとす。然して著者の許に之れが教授と著書を要求するもの頗る多かりしも、今日迄之れを上梓し能はざりしは全く以上の事情に因りたるものなり。然れども其要求日に多きを加へるを以て種々の困難を排して上梓するに至れり。然りと雖も他の舞踏の如く(一)にて足を云々、手を云々と確然と區別し能はざる

場合極めて多きも、便宜上區別して説明したる個所あり。其他拍子の緩急、動作の複雑等、種々説明の困難の個所多きを以て了解難澁なるを推察す。由りて再三、再四本文と動作とを繰り返されんことを切望す。

【準備】

一組を四列若しくは六列に排列し、各列を大間隔に整頓せしめ、各自兩手を腰にとらしむ。

第一段

【呼唱】

(一二三四)(一二三四)(三三三三)(四二二三)(五二二三)(六二二三)(七二二三)(八二二三)にして本段は拍子極めて早し。

【動作】 (右足より始む)

一、兩臂側方振動を以て右へ側進三步。足を後方に蹴上げ臂の上下掌の反轉屈、上體の後屈……………二十四呼
二、左足より始めて左側方へ同上……………二十四呼

三、右足より始めて右側方へ同上……………二十四呼
四、左足より始めて左側方へ同上……………二十四呼

【動作の説明】

(一)兩膝を軽く屈し兩踵を擧げ兩足尖にて立ち、右足を一步右側方に踏出すと同時に、兩臂を側方下方に伸ばし五指を充分開く。(即ち指と指との間を開く)
(二)(三)左足を右足に引きつくと同時に、兩膝を伸ばし、體を充分伸展して兩足尖にて立つ。以上の動作と共に左右下方に伸ばせる兩臂を伸ばし側上方に擧ぐ。(兩手首を耳の高さに擧ぐ。此時兩手首を充分屈し、拇指と中指とにて軽く輪を作り、他の三指を上方に反らすべし。然して掌を前に向けざるやう特に注意を要す(寫真第一圖参照))



第四圖

以上説明の便宜上、一、二、三と區別したれども、實は其間判然たる區別あるに非ず、全く三呼間に以上の動作を連続して行ふものと知るべし。

(二)(三)は更に右足より始めて以上と同様の動作を反覆すべし。(第四圖参照)



(圖一 眞寫)

軽く蹴上ぐるをよしとす

(四) (一) (三) は右臂を更に頭の上方に充分伸ばし、手を反轉し手首を屈して掌を下に向け之れを頭上に翳すと同時に頭を後方に屈し顔と掌と相對するやうにし右掌に着目す。左手は袴の紐の中央の所にて手首をまはし且つ屈して掌を上方に向く (此場合兩手とも拇指と中指とにて軽く輪を作り他の三指は反らす) (寫眞第二圖參照)

(三) (二) の二呼間は (一) (二) と同様の動作を行ふ。

(三) にて右手に注目しつゝ、右臂を側方より頭の上方に伸ばすと同時に、左臂を左に手を袴の紐の中央のあたりに持ち來る。以上の動作と共に左足を右斜後方に蹴上ぐ。(足尖にて地を五寸程摺りて

然して先きに後方に蹴上げたる左足を(四)にて前方に下ろし足尖のみ地につく。(二)は其位置にて休止。



(圖二 眞寫)

(三) にて右足の所に引きつく。

(五) (一) (三) 左手を頭上に伸ばし、右手を袴の紐の中央の所に持ち來り、右足を左斜後方に蹴上ぐ。

(六) (二) (三) 左臂を更に頭の上方に高く上げ手をまはし手首を屈して掌を下に向けて之れを屈して掌を下に向けて之れを頭上に翳すと同時に頭を後方に屈し左掌に着目す。右手は袴の紐の中央の所にて手をまはし手首を屈して掌を上方に向く。(此場合兩手とも拇指と中指とにて軽く輪を作り他の三指を反らす) 然して先きに蹴上げたる右足を前方に下ろし足尖のみ地につけ後左足に引きつく。

(七) (一) (三) (八) (一) (三)

以上と同様の動作を右手を頭上に翳し、左手を袴の紐の中央の所に下ろし、掌を上に向けて行ふ。然して(七)(二)(三)にて左足を右斜後方に蹴上げ(八)(二)(三)にて左足を前に下ろし、後右足に引きつく。

以上二十四呼の動作を左足より始めて左側方に行ひ、次に右足より始めて右側方に行ひ、更に左足より始めて左側方に反覆す。即ち通計九十六呼にして之れを一段とす。

【注意】

手を側方或は下方より上方に擧ぐる場合は、頭を下方に向け手に着目し、手を擧ぐると同時に頭も體も次第に後方に屈し、終始手に目を注ぎ、寸時もはなれざるやう特に注意を要す。以下同斷。

第一二段

【呼唱】

(一二三四)(一二三四)(三三三三)にして普通の三拍子の早さより緩かに行ふ。

【動作】 (右足より始む)

- 一、1. 両手左胸前に交叉、足の斜前出を以て右臂斜上伸、左臂斜後下伸……………三呼
 - 2. 足の斜後出、體の前屈及び後屈、右臂上伸、左臂體前下……………三呼
 - 3. 臂の側上伸を以て三步前進、及び足の側出、體の側屈、頭の轉向前屈、一臂側下伸、一臂頭上に翳す……………三呼
 - 4. 反對の足より始めて三步行進し、反對の方向に以上の動作を行ふ……………三呼
- 以上十二呼の動作を更に三回反覆す。

【動作の説明】

(一)上體を少しく左斜に向け、之れと反對に顔を右斜上方に向け、眼を上方高き所に注ぎ、右足を左足に引きつくと同時に、左掌を上に向け、右掌を下に向けて左體前に、両手首をあはりて交叉す。(手首のあたりを交叉し、交叉せる手と手の間五六寸位とし、拇指と中指とにて軽く輪を作り、他の三指は反らす。以下手の動作準之。)

(二)右膝を軽く屈し、右足を大きく一步斜前方に踏出すと同時に交叉せる右臂を右斜上方に伸ばし、右手に目を注ぎ、左臂を左斜後方に伸ばす。

(三)兩臂及び兩手首を伸ばしたる位置に於てあはり、兩肘を少しく屈し、直ちに之

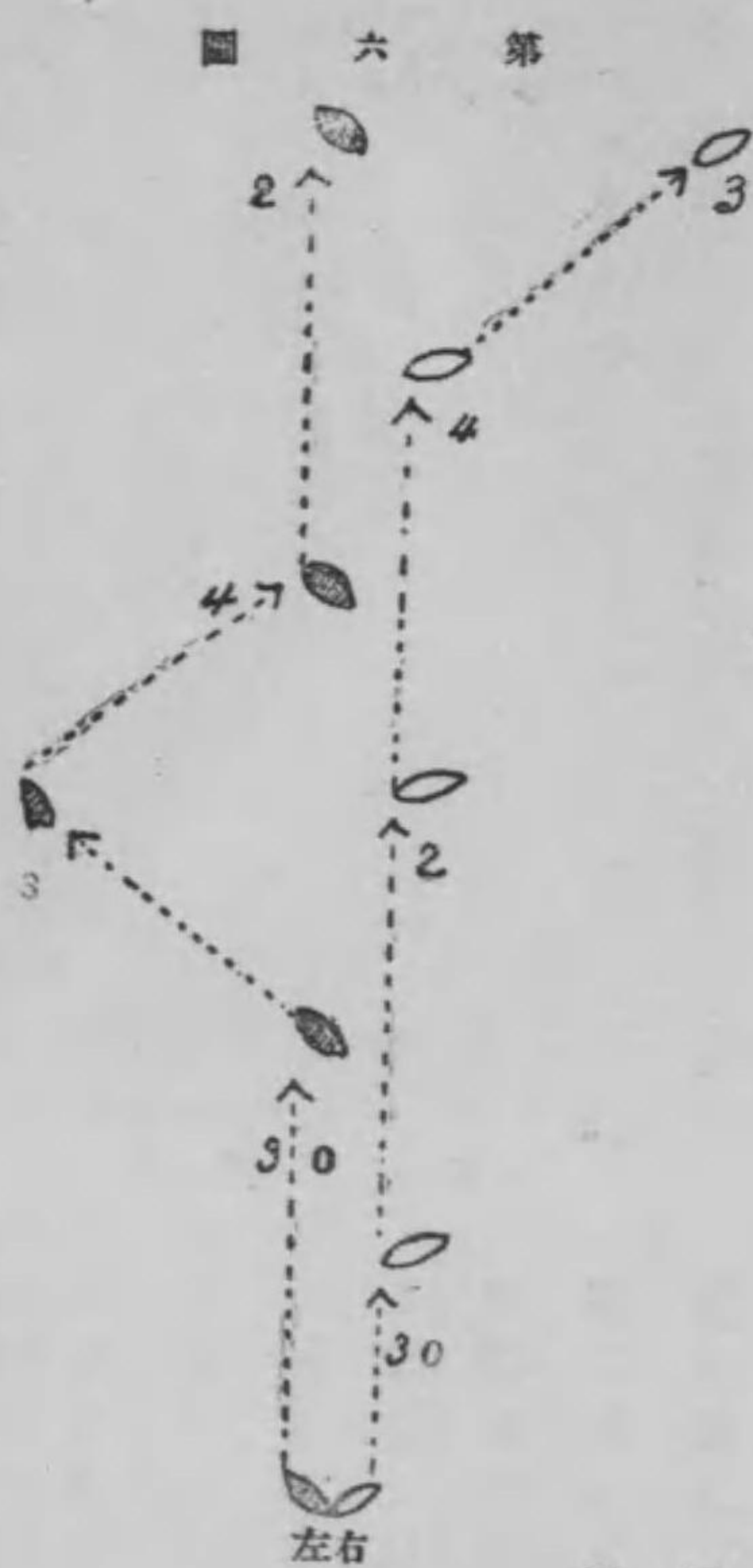
れを伸ばして高く擧ぐると同時に、手首を屈し、拇指と中指とにて輪を作り他の三指を反らし、直ちに手首を起し、五指を開く。左足を右足に引きつくと同時に第五圖兩踵を充分に擧げ、上體を十分伸展し、腰推部を特に伸ばすやう注意すべし。胸を張り、顔を右斜上方に向けたるまゝ、右手に目を注ぐ。



【注意】

- 一、手首をあほり云々。とあるは、兩手首を下方に屈し、拇指と中指とにて軽く輪を作り、他の三指を反らし、直ちに手首を上方に起す。同時に五指を伸ばし、指を開く(指と指の間を出來得るだけ、廣くす事を言ふ)。
- 二、兩臂をあほり云々。とあるは、以上手首の動作と共に、肘關節を軽く屈し、直ちに之れを伸ばす事を言ふ。以上、以下とも之れに準ず。
- (一)(一)(一)
- (二)右膝を屈し、左足を左斜後方舊位置に引くと同時に、上體を前方に屈し、兩手首及び兩臂をあほり、右臂を右斜上より途中まで下ろし、左臂を左斜後方より

- 途中まで上ぐ。
- (一)右足を左足に引きつくと同時に、上體を起し、左臂を頭上高く擧げ、右手を體前(袴の紐の中央の所)に下ろす。
- (三)上體を後方に屈し、頭を上方に向くと同時に、兩手首を反轉且つ屈し、左掌を下に、右掌を上方に向く。左手に着目す。



伸ばす。(上體を前屈せる事として、兩臂下がり勝ちなるを以て、必ず頭の高さ迄擧ぐるやう特に注意を要す)以上の動作と共に、三步前進す。(第六圖三、二参照)

二三。左足を左側方に大きく踏出し脚を十分に伸ばして足尖のみ地につく。同時



(圖三第眞寫)

に右膝を深く屈し、兩臂、兩手首をわほり、左臂を左側下方に伸ばし、右臂を頭上に伸ばし、手首をわほりて之れを翳し(肘を余り屈するは宜しからず、少しまゐる味をつけるを度とし、臂を出來得るだけ頭の方に近づくる事に努力を要す。)體を左側に且つ後方に屈し、頭を左に轉向

且つ前屈して左手を凝視す (寫眞第三圖参照)

【注意】

上體を捻ぢらざるやう、又頭を十分に轉向且つ前屈して胸を張り、肘及び頭の前に出でざるやう特に注意を要す。

(四) (i) (ii)

(四) (i) (ii) は左足より始め三步前進しつゝ、前の(三) (i) (ii) と同様の動作を行ふ。

(三) 右足を右側方に踏出し、左手を頭上に翳し體を右側方に屈して、(ii) (i) (ii) (iii) と同様の動作を行ふ。

以上十二呼の動作を一回とし、更に三回反復して前進す。即ち計四十八呼にして之れを二段とす。

第三段

【呼唱】

(一二三四)(一二三四)(一二三四)にして普通の三拍子の早さより緩かに行ふ。

【動作】 (右足より始む)

- 一、右臂體前下、左臂上伸、右足を後方に蹴上ぐ……………三呼
- 二、左臂體前下、右臂上伸、左足を後方に蹴上ぐ……………三呼
- 三、臂の側上伸を以て右足より三步後進、左足の側出體の左方側屈、頭の左轉向前屈、左臂側下伸、右臂上伸手を頭上に翳す……………三呼
- 四、反對の足より始めて三步、後進し、反對の方向に以上の動作を行ふ……………三呼

以上十二呼の動作を更に三回反覆す。

【動作の説明】

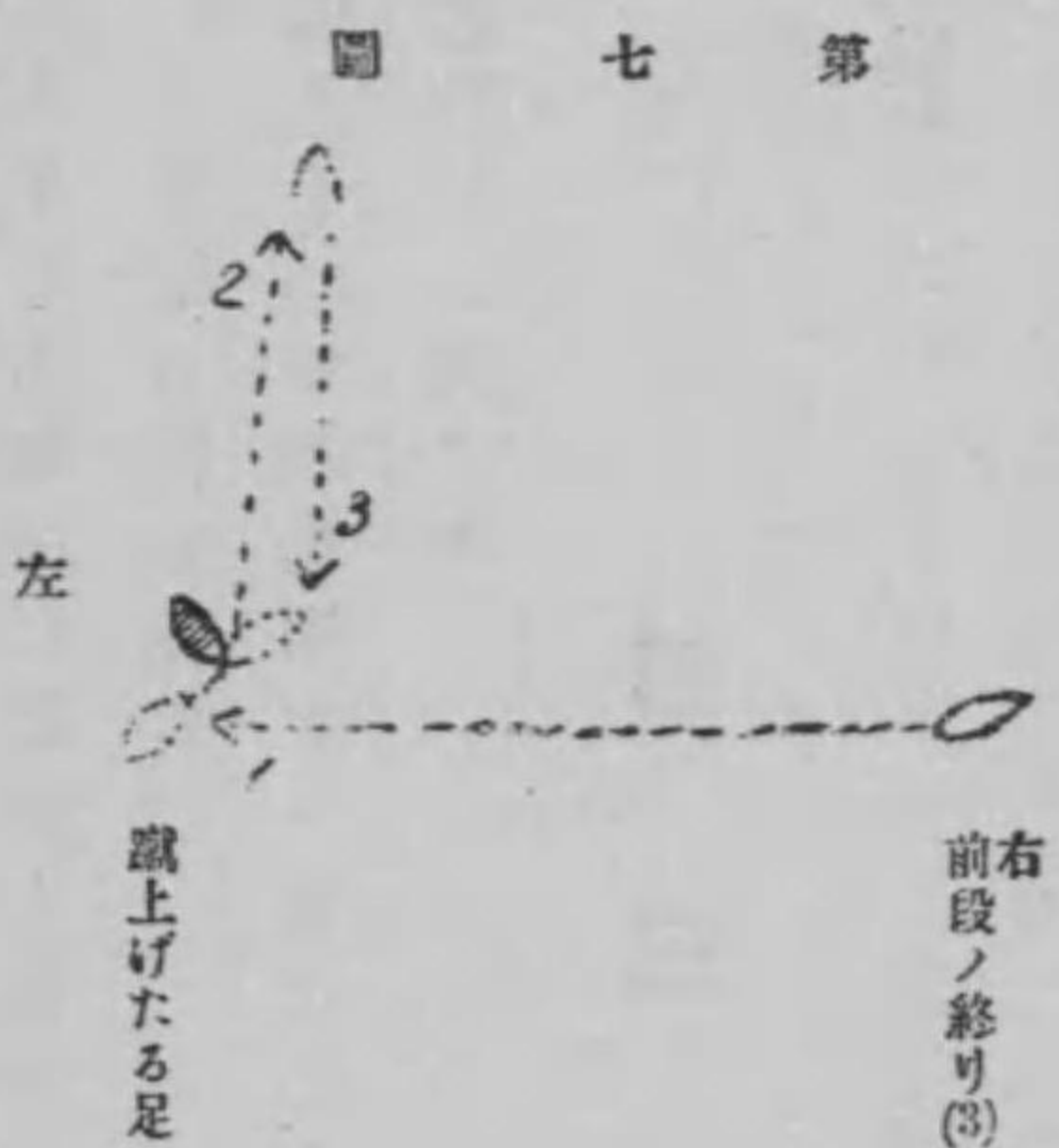
- (一) 右足を左斜後方に(左脚の後方)蹴上ぐ。
- (二) 蹴上げたる足を一步前方に下ろし足尖のみ地につく。
- (三) 右足を左足に引きつく。(第七圖参照)

以上三呼の動作と共に兩臂を側方にておほり、左臂を上方に、左手を體前袴の紐の中央の所に下ろし、兩手をまはし手首を屈し、上體を後方に反らし頭を少しく後方に屈し左掌に注目す。

(一) (二) (三)

左足を右斜後方に蹴上げ、右臂を上へ伸ばし左臂を體前袴の紐の中央に下ろして(一)(二)(三)と

同様の動作を行ふ。



以上十二呼の動作を更に三回反覆す。

【動作の説明】

- (一) 右足を左斜後方に(左脚の後方)蹴上ぐ。
- (二) 蹴上げたる足を一步前方に下ろし足尖のみ地につく。
- (三) 右足を左足に引きつく。(第七圖参照)

以上三呼の動作と共に兩臂を側方にておほり、左臂を上方に、左手を體前袴の紐の中央の所に下ろし、兩手をまはし手首を屈し、上體を後方に反らし頭を少しく後方に屈し左掌に注目す。

(一) (二) (三)

左足を右斜後方に蹴上げ、右臂を上へ伸ばし左臂を體前袴の紐の中央に下ろして(一)(二)(三)と

同様の動作を行ふ。

(三) (一) (三)

右足より三步後へ下がりつゝ、第二段(三)(二)(三)と同様の動作を行ふ。

(四) (一) (三)

左足より三步後へ下がりつゝ、第二段(四)(二)(三)と同様の動作を行ふ。以上十二呼の動作を一回として更に三回反覆しつゝ、舊位に復す。之れを三段とす。

【注意】

- 一、三步後下がりなす時、側伸せる兩臂前に下がり勝なるを以て充分後方に引くと共に、高く擧ぐるやう特に注意すべし。
- 二、尙ほ歩幅前進の時より狭くなり勝なるを以て、少しく大き目に下がるやう亦之注意を要す。

第四段

【呼唱】

(一)(二)(三)(一)(二)(三)(三)(二)(三)(四)(二)(三)にして普通の三拍子の早さより少し緩かに行ふ

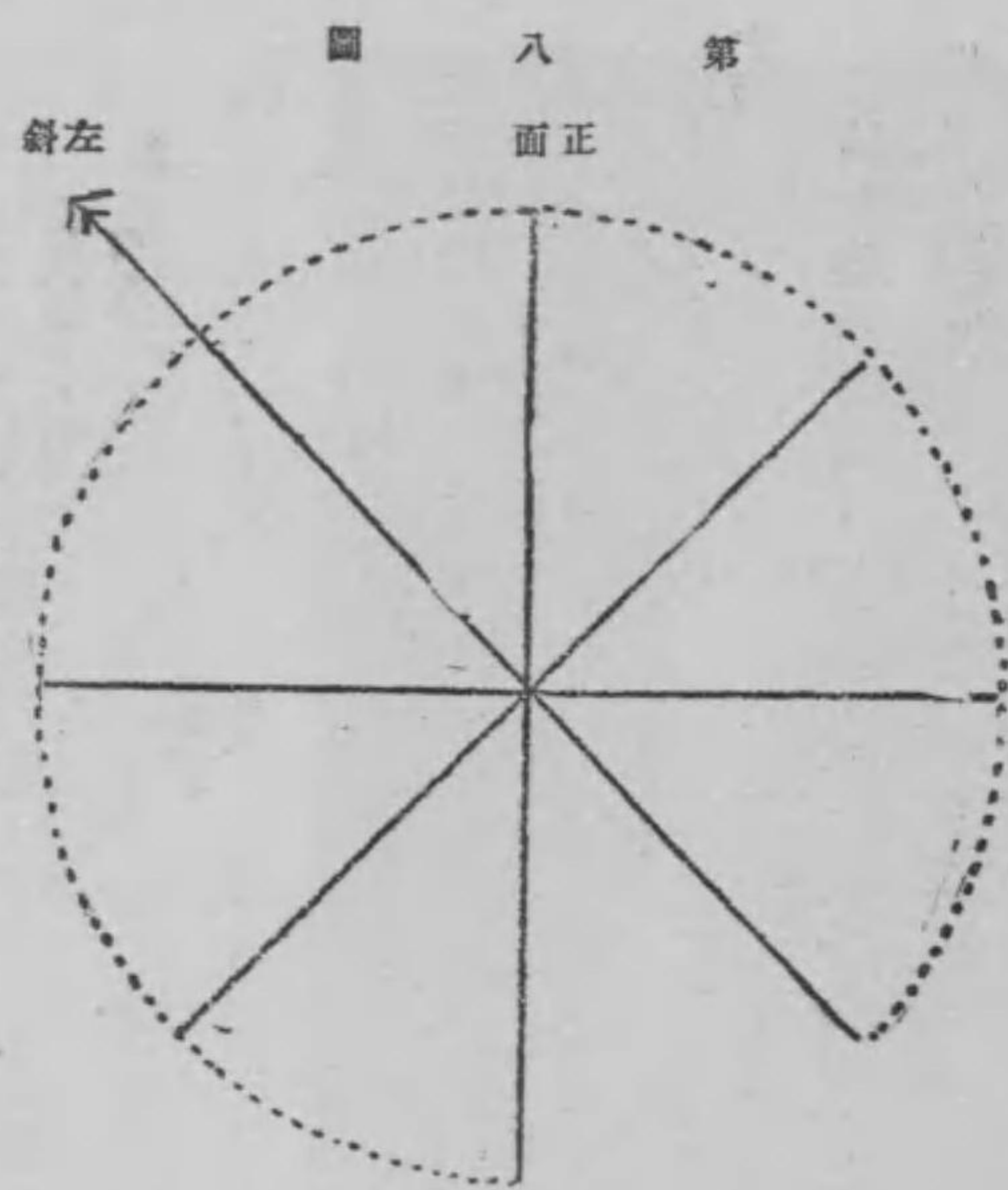
【動作】(右足より始む)

- 一、右臂上伸、左臂體前下方に下ろし、右足より始めて右斜へ搖籃歩……………三呼
 - 二、左臂上伸、右臂體前下方に下ろし、左足より始めて左斜へ搖籃歩……………三呼
 - 三、右斜後方へ歩行回轉……………三呼
 - 四、左足の後出、上體の後屈、兩手側上舉……………三呼
- 以上十二呼を一回とし、二回目は左足より始めて搖籃歩六呼行ひ、左足より始めて左斜前方(現在の位置より)へ歩行左轉回をなす。次に右足より始めて一回目と同様の事を行ひ、次に左足より始めて二回目と同様の動作を行ふ。

【動作の説明】

- (一) (i) (ii) (iii)
- (二) 兩膝を少しく屈し右足を一步右斜前方に踏出すと同時に左足を地より上げ。(前段の終りは右足を右側方に大きく出だせる筈故、最初の(一)は寧ろ左斜にするやうにすべし)
- (三) 左足を下ろし上體を十分伸ばし足尖にて立つと同時に、右足を上げ。
- (四) 右足を下ろし膝を軽く屈すると同時に、左足を舉ぐ。(搖籃歩は體の動搖を以

て足を地よりはなすを原則とすれども、足を舉げず踵の上下を以て行ふもよしとす)



以上三呼の動作と共に右臂を下方より上方に舉げ、手を反轉且つ手首を屈し掌を下に向けて之れを頭上に翳す(此場合下方なる右手に注目し、手の上がると同時に顔を上方に向け、目を少しもはなす事なく上體を後方に反らす)左手を體前袴の紐の中央の所に持ち來り、手を反轉且つ手首を屈し掌を上に向く。

(i) (ii) (iii)

以上の動作を左足より始めて左斜へ、左手を上へ、右手を下にして行ふべし。(先きに右手に注げる目を(二)にて早く左手にうつすべし)

第九圖
 (三) (二) (一)の時矢の根の方
 向上體を向く。
 (四) (三) (二)にて其方
 向の後方に左足を
 引く。



は全轉回をなすに非ずして八分の四だけ轉回す。(第八圖及第九圖參照)
 以上の動作と共に上下に相對せる兩手の手首をあはると同時に、體前に於て少
 しく左右に開き掌を左右に相對す。(兩肘を屈したるまゝとし、兩手を身體の幅
 位に開くを可とす)

(三) 兩手首をあはり、直ちに左手を體
 前下方袴の紐のあたりに掌を上
 に向けて副へ、右手を胸前に持ち
 來り掌を下に向けて副ふ。即ち
 兩掌を上下に相對せしむると同
 時に右足を一步右斜後方に踏出
 す。

(二) 左足を一步右斜後方に踏出し右
 脚の前に交叉すると同時に、兩足
 尖にて速かに右轉回をなす。(實

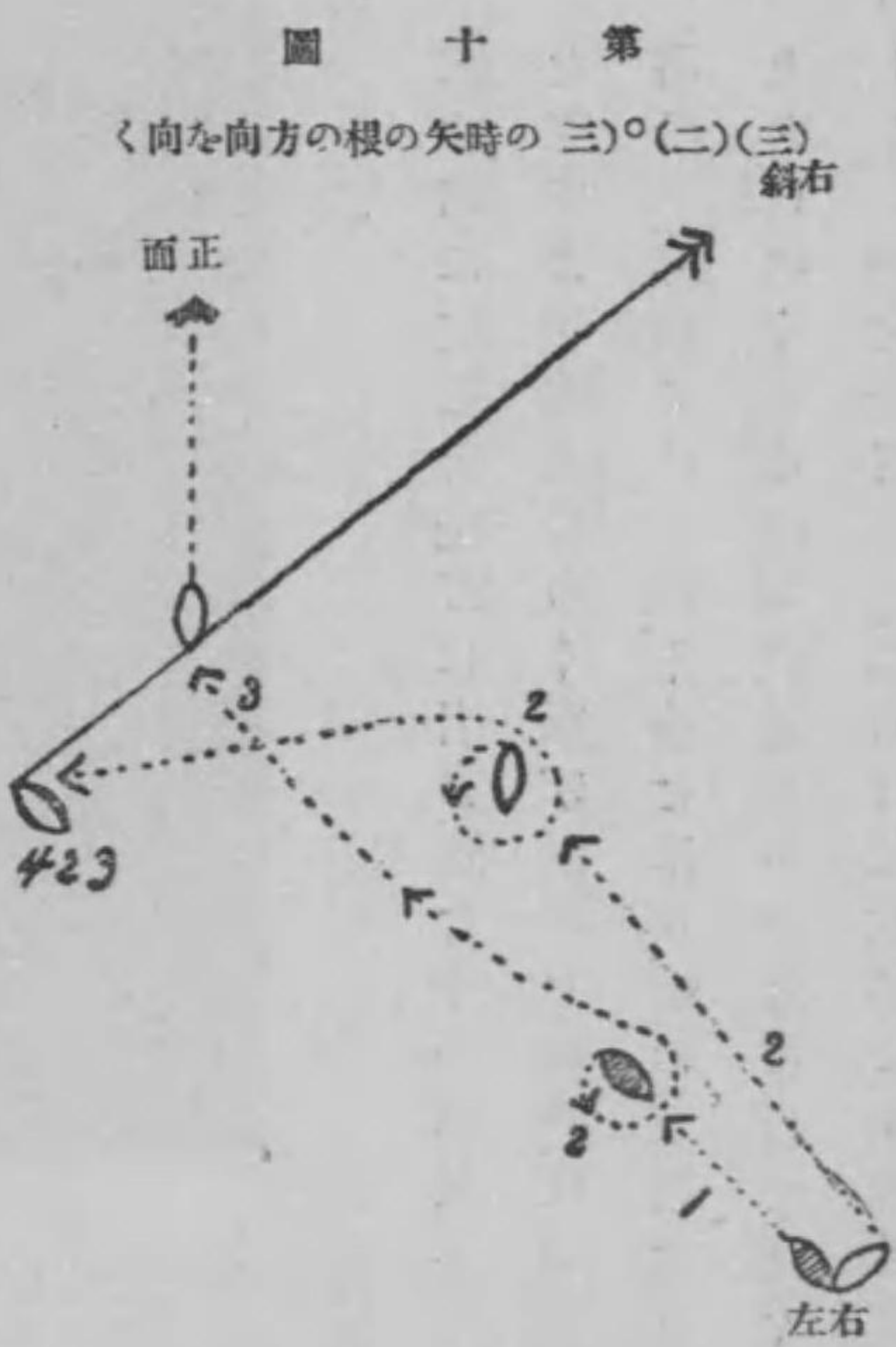


(寫眞第四圖)

(四) (三) (二)

三呼間に左足を後方に引き、體を十分伸展して兩足尖にて立つと同時に、兩臂
 を側方より頭上に高く舉げ兩手を反轉、且つ手首を屈して之れを頭上に翳し、
 (中指と拇指とにて軽く輪を作り、他の三指を反らす) 上體を後方に反らし頭を
 上方に向くると同時に、兩手の中間に目を注ぐ。(寫眞第四圖參照)
 以上十二呼を一回とし、二回目は左足より始めて左へ、右へ交互に搖盞歩、及び左

(三) 八分の三だけ右轉回し半左
 向をなしたるまゝ、右足を一
 歩後方に引くと同時に、兩手
 を體前袴の紐の左右の所に
 軽く小指を副へ、右掌を左方
 に向け、左掌を右方に向けて
 相對せしむ。此時拇指と中
 指とにて軽く輪を作り、他の
 三指を反らす。



足より始めて左斜前方へ(舊位置に……第十圖参照)歩行左轉回をなして半右向をなし右足を後方に引きて以上の動作を行ふ。次に右足より始めて右斜後方へ行ひ次に左足より始めて左斜前方へ以上と同様の動作を反覆して四十八呼に至る。

【注意】
 一、歩行回轉は右斜後方及び左斜前方に行ふを正式とすれども、角度不正確となり不揃になり易きを以て正確に教授し且つ十分練習すべし。然らざれば寧ろ側方へ行はしむるを得策とす。

第五段

【呼唱】

(一二三)(一二三)(一二三)(三二四)(三二四)(三二四)にして普通の三拍子の早さより緩かに行ふ。

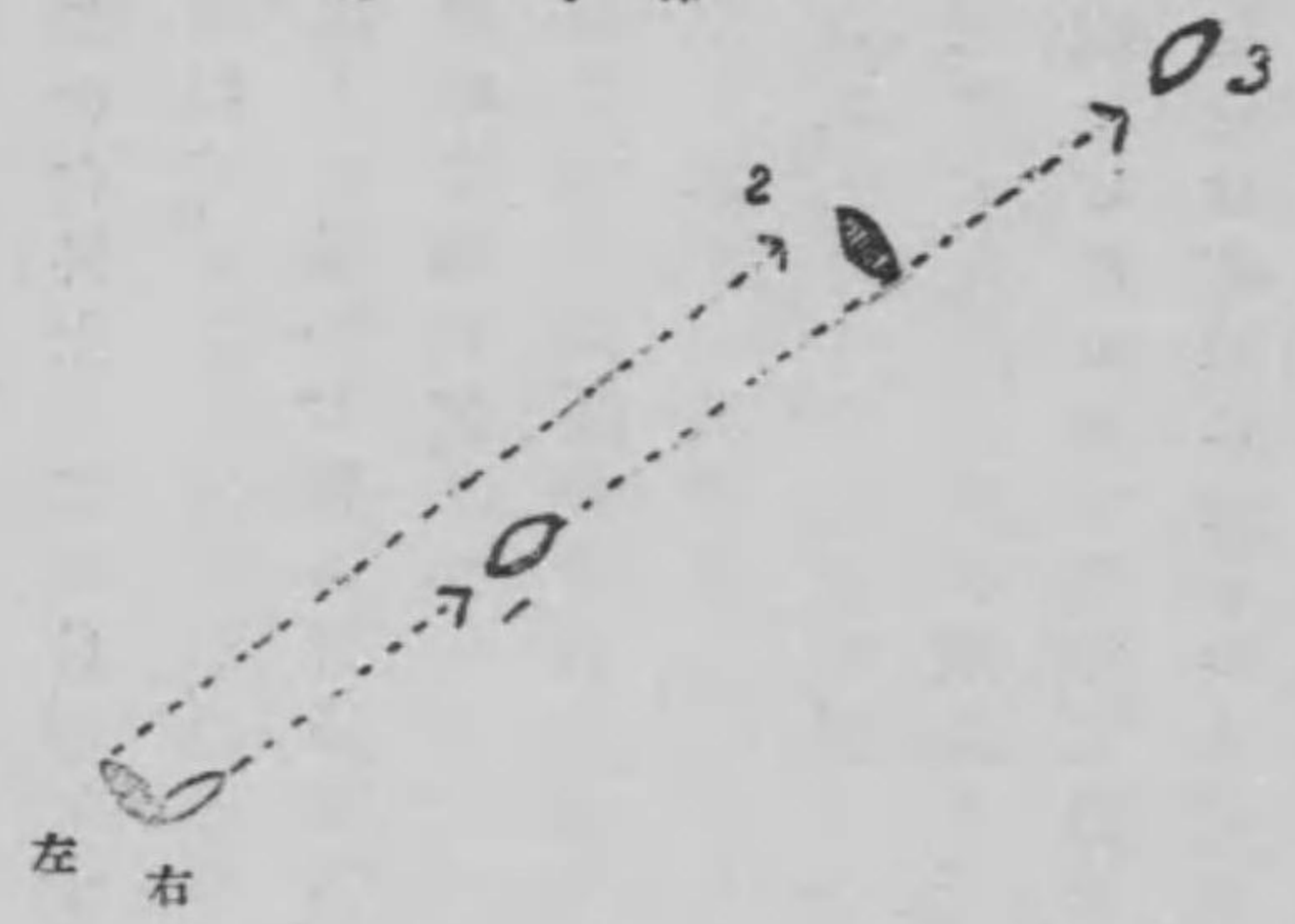
【動作】 (右足より始む)

- 一、右臂斜上伸、左臂斜後下伸を以て右斜前方へ三步前進……………三呼
 - 二、右臂上伸、左臂體前下、左足蹴上げ……………三呼
 - 三、左足より始めて左斜後方へ交叉轉回……………三呼
 - 四、更に左足より左斜後方へ交叉轉回及び兩臂側方より上舉……………三呼
- 以上の動作を一回として左斜へ左足より始めて行ひ、次に右足より右斜へ、次に左足より左斜に反覆して四十八呼に至る。

【動作の説明】

(一)(二)(三)

第十圖



(一) 兩臂及兩手首をあほりて右臂を斜上方に、左臂を斜後下方に伸ばし、上體及び頭を右斜上方に向け、胸を十分張り右手に着目すると共に、右足を一步右斜前方に踏出す。

(二) 以上の姿勢を保ちたるまゝ、更に兩臂及兩手首をあほりつゝ、左足を一步右斜前方に踏出す。

(三) 更に以上の姿勢のまま、兩臂及手首をあほりつゝ、右足を一步右斜前方へ踏出す。 (第十一圖参照)

(一)(二)(三)

(二) 左足を左斜後方に蹴上ぐ。

(三) 蹴上げたる足を前方に出だし、足尖のみ地につく。

(四) 左足を右足に引きつく。

以上三呼の動作と共に、右臂を頭上へ舉げ手を反轉且つ手首を屈し掌を下に向けて之れを翳し、左手を體前袴の紐の中央の所に持ち來り手を反轉且つ手首を屈して掌を上に向く。

(一)(二)(三)

(一) 兩手首をあほりたる後、左手を袴の紐の所に掌を上に向けて副へ、右手を胸前に持ち來り掌を下に向くと同時に、左足を一步左斜後方へ(舊位置の方に)踏出す。

(二) 上下に對せる兩手の五指を開きつゝ、體前に於て左右に開き、掌を相對せしむると同時に、右足を一步左斜後方に出だし左脚の前に交叉す。

(三) 中指と拇指とにて軽く輪を作り、他の三指を反らすと同時に兩手の小指を袴の紐の左右に副へ、右掌を左に向け、左掌を右方に向けて相對せしむ。以上の動作と共に、先きに交叉せる兩足尖にて左轉回をなす。

(四)(一)(二)

(三)(二)(三)と同様の動作を行ひ終りに右轉回をなす。

以上十二呼の動作を一回とし二回目は左臂を左斜上方に、右臂を右斜後下方に伸ばし、左足より始めて左斜に行ひ、次に右足より始めて右斜に行ひ、次に左足より始めて左斜へ以上の動作を反覆す。之れを五段とす。

第六段

【呼唱】

(一二三)(一二三)(三二三)(四二三)(五二三)(六二三)(七二三)(八二三)にして普通の三拍子の早さより遙かに緩徐に行ふべし。

【動作】 (右足より始む)

一、1. 兩臂側舉を以て右足の前出左足斜後舉、左足側出、體の側屈、右臂上伸、左臂側下伸……………三呼



(圖五第眞寫)

2. 左足より始めて以上の動作を行ふ……………三呼
3. 右足より始めて以上の動作を行ふ……………三呼
4. 左足より始めて以上の動作を行ふ……………三呼
以上十二呼の動作を更に反覆して二十四呼に至る。

【動作の説明】

(一) (一) (一) (一)

(一) 兩膝を屈し右足を一步前方に踏出し、直ちに兩膝を伸ばし體重を右足に移すと同時に、左足の踵を挙げ足尖のみ地につけ、體を十分伸展して胸を張る。

以上の動作と共に兩臂を側方肩の高さより少し上に挙げ、之れをあほりて後充分側方に伸ばす。(寫眞第五圖参照)

(二) 以上の姿勢のまま、左膝を屈し、足を右斜後方に擧ぐ。

(三) 左足を大きく左側方に踏出し、脚を十分伸ばして足尖のみ地につけ、右膝を深く屈すると同時に、兩臂、兩手首をあほり、左臂を左側下方に伸ばし、右臂を頭上に伸ばし、手首をあほりて之れを翳し、肘を余り屈するは宜しからず、少しまるみをつけるを度とす。然して臂を出來得るだけ頭の方に近づくる様特に注意を要す、上體を左側方に屈し、頭を左に轉向し、且つ少しく前方に屈して左手を凝視す。

(一) (一) (一) (一)

(二) 左足を軽く後方に擧げ、直ちに前に踏出し、兩膝を伸ばし、體重を左足に推移すると同時に、右足の踵を挙げ、足尖のみ地につけ、體を充分伸展して胸を張る。

以上の動作と共に兩臂を側方肩の高さより少し上に挙げ、之れをあまりて後、充分側方に伸ばす。

(二)以上の姿勢のまま、右膝を屈し足を左斜後方に上ぐ。

(三)は右足を右側方に出だして(二)(二)(三)の(三)と同様の動作を行ふべし。以上六呼の動作を右へ、左へ交互に反覆して(八)(二)(三)に至る。



(圖六第眞寫)

第七段

【呼唱】

(一)(二)(三)(二)(二)(三)(三)(二)(三)(四)(二)
三にして普通の三拍子の
早さより少し緩かに行ふ。

【動作】(右足より始む)

一、右足の斜前出、右臂上伸左
臂斜後下伸、右足跳躍……………
……………三呼

2. 上體の前後屈、左臂上伸、右臂體前下、左足跳躍……………三呼
3. 右斜後方へ交叉、右轉回……………三呼
4. 左足の後出、兩臂側方より上舉、上體の後屈……………三呼
以上の動作を一回とし、左へ、右へ交互に更に反覆す。

【動作の説明】

(一)(二)(三)



(圖七第眞寫)

(一)右足を左斜後方に上ぐるこ
同時に、右手を上、左手を下に
して體前に於て兩手を交叉
し、目を右手に注ぐ。(掌は兩
手とも下向きとし、手首と手
首とを交叉する位をよしと
し、手と手の間は約五六寸と
す)(寫眞第六圖參照)

(二)右足を一步右斜前方に踏出

すと同時に、兩臂及手首をあほりて直ちに、右臂を斜上方に、左臂を左斜後下方に充分伸ばし且つ胸を張る。目は右手の上がると共に斜上方に注ぎ、顔を少しく斜上方に上ぐ。

(三) 體を充分伸ばしたるまゝ、兩臂兩手首をあほると共に、左脚を十分伸ばしたるまゝ、足を上げ、右足にて軽く跳躍す。(寫眞第七圖參照)

(一) (一) (一)

(二) 左足を後方に下ろすと同時に、拇指と中指とにて輪を作り他の三指を反らしたるまゝ、右臂を途中まで下ろし、左臂を途中まで舉げ、上體を前方に屈す。

(三) 右膝を屈し足を後方に上ぐるると同時に、左臂を頭上に高く舉げ、右手を袴の紐の中央の所に下ろし、體を正面に復す。

(四) 右膝を屈したるまゝ、足を前方に舉げ、左足にて軽く跳躍すると同時に、兩手を頭上に於て反轉且つ手首を屈し、上體及頭を後方に屈し右手に着目す。

(一) (一) (一)

(二) 右足を一步右斜後方に踏出すと同時に、兩手首をあほり、左手を袴の紐の所に掌を上に向けて副へ、右手を掌を下に向けて胸前に副ふ。

(三) 左足を一步右斜後方に踏出し、兩足尖にて右轉回をなすと同時に、上下に相對する兩手を五指を開きつゝ、體前に於て左右に開き掌を相對せしむ。

(四) 右足を更に右斜後方に踏出し體を半左轉向すると同時に、中指と拇指とにて輪を作り他の三指を反らし、兩手の小指を體前袴の紐の左右の所に副へ、右掌を左方に向け、左掌を右方に向けて相對せしむ。

(一) (一) (一)

三呼間に左足を後方に引くと同時に、拇指と中指とにて輪を作り他の三指を反らしたるまゝ、兩臂を側方より上方に高く舉げて之れを頭上に翳し、手を反轉且つ手首を屈すると同時に、上體を十分伸展し且つ後方に反らし、頭を後方に屈して兩手の中間に着目す。

以上十二呼を一回とし、二回目は左足より始めて左斜前後へ行ひ、次に右足より始めて右斜前後へ行ひ、次に左足より始めて左斜前後へ、以上と同様の動作を行ふべし。

第八段

呼唱、拍子の早さ、動作其他總て第一段と同様なり。但し最後の(即ち四回目の終り)七。二。三。(八。二。三)の動作は行はず、兩手を腰にとり兩足を揃ふるものとす。

【注意】

- 一、説明に重複の個所多しと雖も、前後の運動の關係によりて多少其方法及趣を異にせる點あるを以て、段毎に詳解せり。
- 二、交叉轉回の方法或段によりて多少相違せる點あり、其他之れに類するもの多きを以て、段毎に熟讀吟味せられたし。

第二節 ブレーグホルカ

(A. prague polka) (A. prague polka)

(A. prague polka) (A. prague polka)

【準備】 (隊形) 一組を三列若しくは四列に排列し、各列を大間隔に整頓せしめ各自兩手を腰にとる。

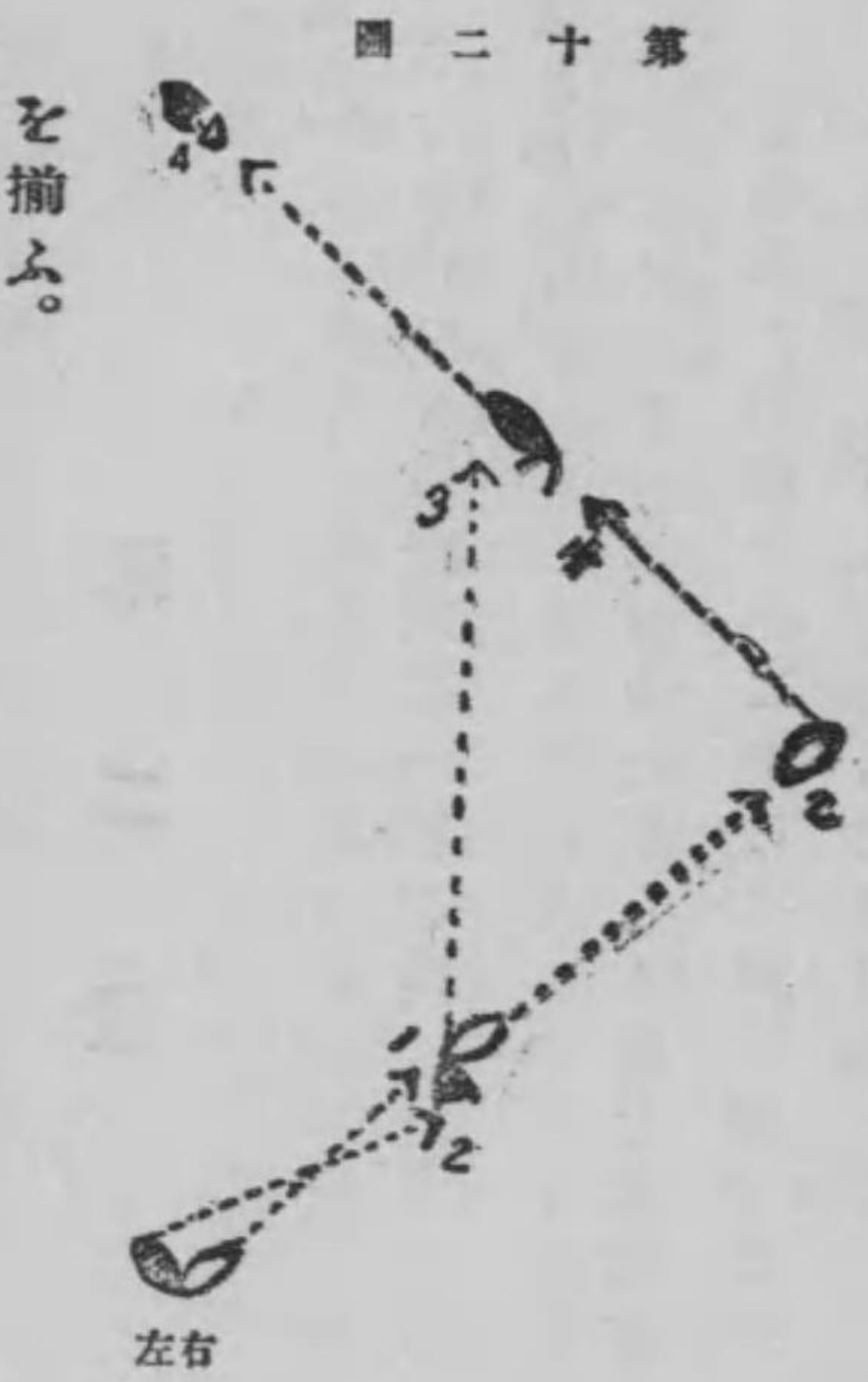
第一段

【動作】 (右足より始む)

- 一、右側方へ追歩跳躍及び足踏……………八呼
- 二、左側方へ追歩跳躍及び足踏……………八呼

【動作の説明】

- (一) 兩手を腰にとりたるまゝ、兩膝を少しく屈し、右足を一步右側方に跳躍する如くして出すと同時に兩膝を伸ばし、左足を右足に引きつく。
- (二) 兩膝を少しく屈し、右足を更に一步跳躍しつゝ、右側方に出すと同時に左膝を屈して地より上ぐ。



第三章 曲線舞の實際

- (三) (四) 左足を右足の所に下ろして足踏をなす。
 - (五) (六) (七) (八) 以上の動作を更に右側方に續行し、終りに兩足を揃ふる。
- 以上八呼の動作を左足より始めて左側方に行ひ、終りに兩足を揃ふる。

第二段

【動作】

二、手を舉げつゝ、右斜、左斜へ踏替歩……………十六呼

【動作の説明】

(一)右足を一步右斜前方に出し、上體を右前方に屈すると同時に、右手の五指を開き、中指と拇指を中に屈げて軽く輪を作り他の三指を上方に反らして之れを右膝の所に下ろして着目す。

(二)左足を右足に引きつくと同時に右足を一步右斜前方に踏出して踏替を行ふ。以上の動作と共に右手を頭上に舉げ、手首を反轉且つ屈して之れを翳し體を後方に反らす。

(三)(四)左手を舉げ左足より始め(五)(六)右手を舉げ右足より始め(七)(八)左手を舉げ左足より始めて以上の動作を行ふ。(第十二圖参照)
以上反覆して十六呼間前進す。

第三段

【動作】

三、右へ左へ轉回追歩にて舊位に復す……………十六呼

圖 三十一



【動作の説明】

(一)兩手を腰にとりたるまゝ、左膝を屈し、右脚を伸ばし大きく右に振ると同時に右轉向をなし(最初のみ轉向をなし)(三)(四)よりは轉回を行ふものと知るべし)右足を地につくると同時に兩踵を舉げ兩膝を充分伸ばす。

参照

(二)左足を右足に引きつくと同時に、右足を約半歩右側方に踏出す。(第十三圖参照)

- (五)(六) 右脚を振り右轉回をなして追歩。
 - (七)(八) 左脚を振り左轉回をなして追歩。
- 以上の動作を十六呼反覆して舊位に復す。

第四段

【動作】

四、一步斜前進及び膝屈斜前出手の交叉一臂の斜上伸、一臂斜後下伸其場跳躍……十六呼

【動作の説明】

- (一) 右足を一步右斜前方に踏出す。
- (二) 左足を右足に引きつく。
- (三) 左手を下に右手を上、體前に交叉し(下級生には拍手を一回行はしむるを可とす)直ちに右臂を右斜上方に、左臂を斜後下方に伸ばすと同時に(掌を下方に向く)右膝を屈し右足を一步右斜前方に踏出し、左脚を伸ばしたるまゝ、後方に上げ、上體を右斜前方に倒す。

- (四) 以上の姿勢のまま、其場にて軽く跳躍をなす。
- (五)(六)(七)(八) 左足より始めて左斜へ以上の動作を行ふ。更に八呼間反覆して前進す。

第五段

【動作】

五、股舉跳躍を行ひ後進しつゝ舊位に復す……十六呼

【動作の説明】

- (一)(二) 右足を後方に出だすと同時に左膝を屈して股を高く舉げ(脛部を垂直にす)右足尖にて軽く跳躍を三回行ひつゝ、少し後方にさがる。
 - (三)(四) 右膝を屈し股を高く舉げ左足を後方に出だし軽く跳躍を三回行ひつゝ、後方に退がる。
 - (五)(六)(七)(八) 以上と同様の動作を行ふ。
- 以上十六呼間反覆して舊位に復す。

以上五段八十呼を更に始めより繰り返し終りに兩足を揃ふ。

【注意】

- 一、下級生に課する場合は第一段は最初普通の追歩にて行はしめ、熟練したる後跳躍する如くして行はしむるを可とす。
- 二、第二段は最初踏替歩のみを教授し、熟練したる後手を舉げて行はしむべし。
- 三、各列亂れ勝なるを以て常に縦横共に整頓に注意すべし。

第三節 プレーグポルカ

(B. prague polka) (B. prague polka)
(S. series 80)

【準備】 (隊形)一組を三列若しくは四列に排列し、各列を大間隔に整頓せしめ、各自両手を腰にとる。

第一段

【動作】 (右足より始む)

一脚を舉げて側方轉回及び足踏……………十六呼

【動作の説明】

(一)(二)右脚を伸ばしたるまゝ、前方に高く上げ右側方にまはすと同時に右轉向

をなし、右足を下ろし足踏をなす。

(三)(四)左脚を前方より左側方にまはし左轉回をなして足踏。

(五)(六)右脚を前方より右側方にまはし右轉回をなして足踏。

(七)(八)左脚を前方より左側方にまはし左轉回をなして足踏。

以上反覆して十六呼に至る。

【注意】

最初の(一)(二)は體、正面向きなるを以て轉向をなすと雖も(三)(四)以後は轉回を行ふものと知るべし。

第二段

【動作】

二手を舉げて右斜、左斜へ踏替歩……………十六呼

第二節、第二段に同じ同説明参照。

第三段

【動作】
 三、右へ左へ轉回追歩にて舊位に復す……………十六呼
 第二節、第三段に同じ同説明及第五圖參照。

第四段

【動作】
 四、側方へ追歩跳躍及び足踏……………十六呼
 第二節、第一段に同じ同説明參照。

第五段

【動作】
 五、轉回振脚、股舉踏替跳躍歩……………十六呼
 【動作の説明】
 (一) 兩手を腰にとりたるまゝ、右足を一步前方に踏出す。
 (二) 左足を右足に引きつくと同時に、右足を一步前方に踏出して踏替歩を行ふ

(三) 左脚を伸ばしたるまゝ、前方に高く上ぐると同時に右足にて跳躍す。
 四、左膝を屈し股を高く舉げ、左轉回をなし後ろ向きになると同時に更に右足にて跳躍をなす。
 五、左足を一步前方に踏出す。
 (六) 右足を左足に引きつくと同時に、左足を一步前方に踏出す。
 (七) 右脚を伸ばしたるまゝ、前方に高く舉ぐると同時に左足にて跳躍をなす。
 (八) 右膝を屈し股を高く舉げ、右轉回をなすと同時に更に左足にて跳躍をなす。
 以上反覆して十六呼に至る。
 以上、五段八十呼を更に始めより繰り返し、終りに兩足を揃ふ。
 【注意】
 一、二回連続して行ふ場合の第五段の終りは、右足を上げたるまゝとし、直ちに之れを利用して、一段を始むるを可とす。

第四節 ホヘミアダンス (A)

(Bohemia Dance) (A. Bohemia polka.)

9 series, 160

【準備】 (隊形)一組を三列若しくは四列に排列し各列を大間隔に整頓せしめ各自
両手を腰にさる。

第一 段

【動作】 (右足より始む)

一脚を舉げて轉回足踏……………十六呼

【動作の説明】

- (一)(二)右脚を伸ばしたるまゝ前方に高く上げ右側方にまはすと同時に右轉向をなし右足を下ろし直ちに左足を軽く上ぐ。次に左足を下ろし右足を上ぐ。又直ちに右足を下ろすと同時に左足を上ぐ。即ち軽く足踏をなす。
 - (三)(四)左脚を前方より左側方にまはし左轉回をなして足踏。
 - (五)(六)右脚を前方より右側方にまはし右轉回をなして足踏。
 - (七)(八)左脚を前方より左側方にまはし左轉回をなして足踏。
- 以上反覆して十六呼に至る。

【注意】

最初の(一)(二)は體正面向きなるを以て右轉回をなすと雖も(三)(四)以後は轉回を行ふものご知るべし。

第二 段

【動作】

二、脛屈斜踏替歩にて前進……………十六呼

【動作の説明】

- (一)両手を腰にとりたるまゝ右足を一步右斜前方に出だし足尖のみ地につけ左膝を屈す。
- (二)右膝を深く屈し脛部を左脚の前に上ぐると同時に、上體を右斜前方に屈す。
- (三)右足を右斜前方に出だし、上體を右斜前方に屈すると同時に、右手の五指を開き中指と拇指を中に屈指他の三指を反らし、右膝の所に下ろして注目す。
- (四)左足を右足に引きつくと同時に右足を一步右斜前方に踏出して踏替を行ふ。以上の動作と共に右手を頭上に舉げ、手首を反轉且つ屈して之れを翳し、體を後方に反らす。

(五)(六)(七)(八)左足より始め、踏替の時左手を舉げて以上と同様の動作を行ふ。
以上反覆して十六呼間前進す。

第三段

【動作】

三、足の交互側出、一臂上舉、側舉、一臂下垂より頭上に翳して、足踏………十六呼



(圖八第眞寫)

【動作の説明】

(一)前進したる場所に於て右足を大きく右側方に出だし、足尖のみ地につけ、左膝を屈すると同時に左手を上、右手を下方右膝の所に下げ、上體を右側方に屈げ、頭を右轉向して右指尖に着目す。

(寫眞第八圖參照)



(圖九第眞寫)

(二)右足を左足の後方に引き足尖のみ地につけて、兩膝を屈し、右臂を屈して手を頭上に翳し、手首を反轉し、且つ屈すると同時に左臂を左側方肩の高さに上ぐると同時に反轉して掌を上に向け、頭を左轉向して左手に着目す。

(寫眞第九圖參照)

(三)(四)兩手を腰にさると同時に、右足より始めて其場にて軽く足踏をなす。
(五)(六)(七)(八)左足より始めて以上と同様の動作を行ふ。
以上反覆して十六呼に至る。

第四段

【動作】

四、股舉跳躍を行ひ後進しつゝ、舊位に復す……………十六呼

【動作の説明】

- (一)(二)右足を後方に出だすと同時に、左膝を屈して股を高く舉げ(脛部を垂直にす)右足にて軽く跳躍を三回行ひつゝ、少しく後方に退がる。
 - (三)(四)右膝を屈し股を高く舉げ、左足を後方に出だし軽く跳躍を三回行ひつゝ、後方に退がる。
 - (五)(六)(七)(八)以上と同様の動作を行ふ。
- 以上十六呼反覆して舊位に復す。

第五段

【動作】

五、手を舉げつゝ、右斜左斜へ踏替歩……………十六呼

【動作の説明】

- (一)右足を右斜前方に出だし上體を右斜前方に屈すると同時に、右手を右膝の所に下ろして着目す。

- (二)左足を右足に引きつくと同時に、右足を一步右斜前方に踏出して踏替をなす。以上の動作と共に右手を頭上に高く翳し體を後方に反らす。
 - (三)(四)左手を舉げ左足にて(五)(六)右手を舉げ右足にて(七)(八)左手を舉げ左足にて以上の動作を行ふ。(第十二圖参照)
- 斯くの如く反覆して十六呼間前進す。

第六段

【動作】

六、右へ左へ轉回追歩にて舊位に復す……………十六呼

【動作の説明】

- (一)兩手を腰にこりたるまゝ、左膝を屈し、右脚を伸ばし大きく右に振ると同時に右轉向をなし、右足を地につくと同時に兩踵を舉げ兩膝を充分伸ばす。
- (二)左足を右足に引きつくと同時に右足を約半歩右側方に踏出す。
- (三)(四)左脚を振り左轉回をなして追歩。
- (五)(六)右脚を振り右轉回をなして追歩。

(七)(八)左脚を振り左轉回をなして追歩。
以上の動作を十六呼反覆して舊位に復す。

第七段

【動作】

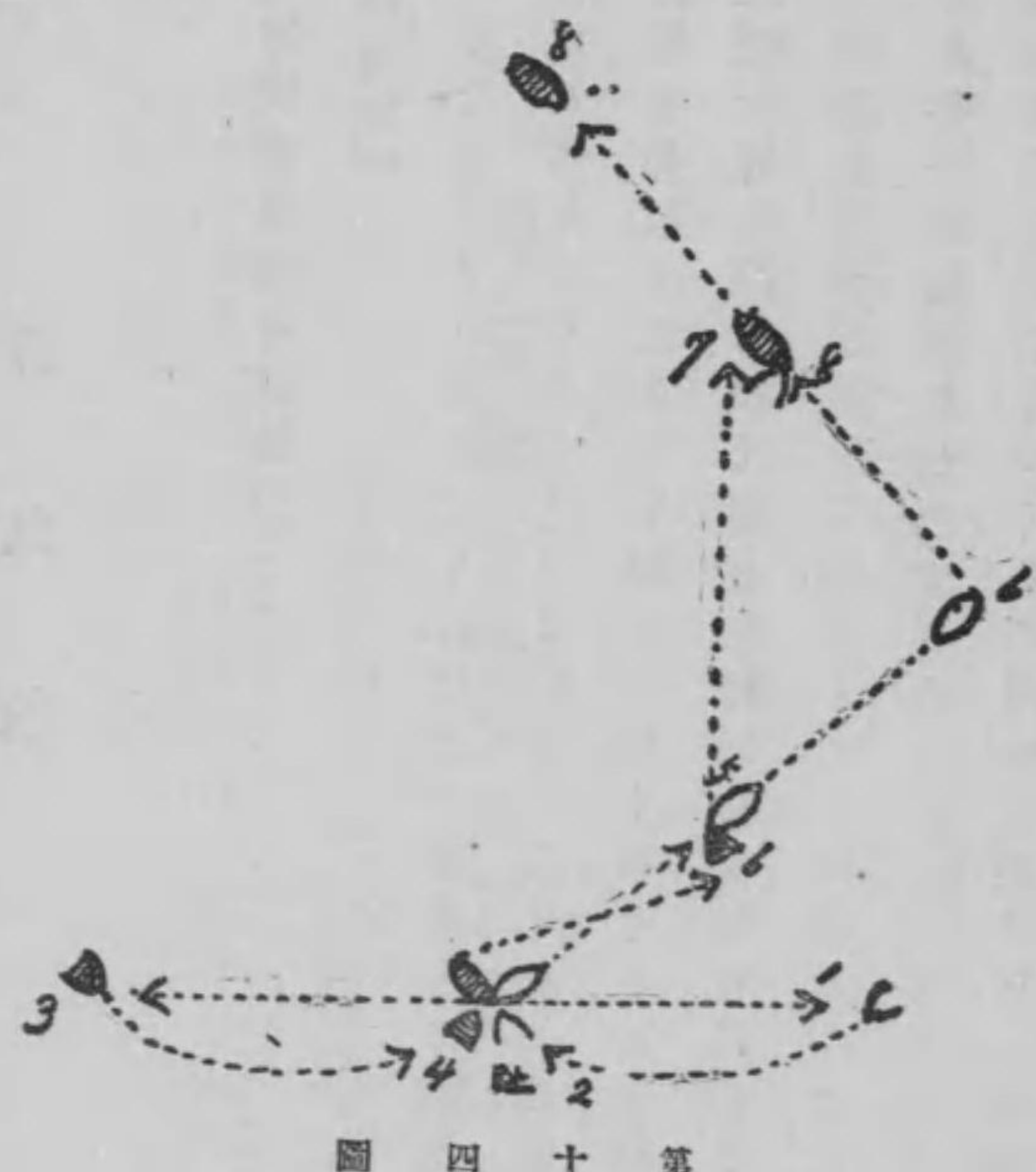
七手を舉げつゝ側方に踵趾歩(四)及び手を舉げつゝ踏替歩(四)にて前進(右左交互)………三十二呼

【動作の説明】

- (一)右足を大きく右側方に踏出し脚を伸ばし踵のみ地につけ足尖を十分に上げ、左膝を深く屈すると同時に右手を右膝の所に下ろし、上體を右側方に向け且つ屈して右手に注目す。
- (二)右足を左足に引きつくと同時に、右手を頭上に高く舉げ手首を反轉且つ屈して之れを翳し、上體を後方に反らし掌に着目す。(此場合兩足尖を少し左斜に向く)
- (三)(四)左足を左側方に出だし、體を左側方に向け且つ屈し左手にて以上の動作

を行ふ。(第十四圖参照)

(五)(六)右手を舉げつゝ右足にて右斜へ踏替歩を行ふ。



第十四圖

(第五段(一)(二)の動作に同じ)

(七)(八)左手を舉げつゝ左足にて左斜へ踏替歩を行ふ。(第五段(三)(四)の動作に同じ)(第十四圖参照)
以上八呼の動作を三十二呼反覆して前進す。

第八段

【動作】

八右へ左へ轉回追歩を行ひつゝ舊位に復す………十六呼

第六段の動作に同じ。

第九段

【動作】

九、轉回、伸脚、股舉踏替跳躍步……………十六呼

【動作の説明】

- (一) 兩手を腰にとりたるまゝ、右足を一步前方に踏出す。
- (二) 左足を右足に引きつくと同時に、右足を一步前方に踏出す。
- (三) 左脚を伸ばしたるまゝ、前方に高く舉ぐると同時に右足にて跳躍をなす。
- (四) 左膝を屈し股を高く舉げ左轉回をなし後ろ向きとなると同時に更に右足にて跳躍をなす。
- (五) 左足を一步前方に踏出す。
- (六) 右足を左足に引きつくと同時に、左足を一步前方に踏出す。
- (七) 右脚を伸ばし前方に高く舉ぐると同時に左足にて跳躍をなす。
- (八) 右膝を屈し股を高く舉げ右轉回をなすと同時に更に左足にて跳躍をなす。

以上反覆して十六呼に至る。

以上九段百六十呼を一回とし、二回繰り返すを常とす。

【注意】

- 一、手を上下する場合常に手に注目し、寸時もはなれざるやう特に注意を要す。
- 二、手を下ろす場合は五指を開き中指と拇指とにて大きく輪を作り他の三指を反らすやうにす。然して頭上に翳す場合は五指を伸ばし、頭上にて手首を反轉且つ屈するを可とす。

第五節 ポヘミアダンス (B)

Bohemia Dance (B. Bohemia polka)
10. series. 160)

【準備】 (隊形) 一組を三列若しくは四列に排列し、各列を大間隔位に整頓せしめ、各自兩手を腰にとる。

第一段

【動作】 (右足より始む)

一、手を斜上方に上げ、足を前方より斜にまはして足踏(右左交互)……………十六呼

【動作の説明】

(一)(二) 右脚を伸ばしたるまゝ、膝を十分伸ばし、前方に高く上げ、右斜にまはす。従つて體も右斜に向け、直ちに足を下ろすと同時に體を正面に復し、左足を上げ。次に左足を下ろして右足を上げ。又直ちに右足を下ろし、左足を上げ。即ち輕き足踏を行ふ。

以上の動作と共に右手を前より斜上方に高く上げ、右側方より下ろして腰にとる。此場合頭を上に向け、上體を少しく後方に屈し、右手に着目す。

(三)(四) 左手を挙げ、左足より始め、(五)(六)は右手右足にて、(七)(八)は左手左足にて以上の動作を行ふ。

斯くの如く反覆して十六呼に至る。

第二段

【動作】

二、體の動搖を以て振脚跳躍歩……………十六呼

【動作の説明】

(一) 兩手を腰にとりたるまゝ、右足を一步前方に踏出す。

(二) 左足を右足に引きつくと同時に右足を一步前方に踏出す。

(三) 左脚を伸ばしたるまゝ、前方に高く振り上げると同時に體を後方に反らし、右足にて軽く跳躍す。

(四) 左脚を伸ばしたるまゝ、後方に振り上げると同時に體を前方に屈し、右足にて更に跳躍す。

(五)(六)(七)(八) 左足より始めて以上の動作を行ふ。以上反覆して十六呼に至る。

第三段

【動作】

三、股舉跳躍後進にて舊位に復す……………十六呼

【動作の説明】

- (一)(二)右足を後方に下ろすと同時に左膝を屈して股を高く擧げ(脛部を垂直にす)右足にて軽く跳躍を三回行ひつゝ、少し後方に退がる。
 - (三)(四)左足を後方に出だすと同時に、右膝を屈して股を高く擧げ、左足にて軽く跳躍を三回行ひつゝ、少しく後方にさがる。
 - (五)(六)(七)(八)以上の動作と同様の事を行ふ。
- 以上十六呼反覆して舊位に戻る。

第四段

【動作】

四、脛屈踏替歩にて前進……………十六呼

【動作の説明】

- (一)兩手を腰にとりたるまゝ、右足を一步右斜前方に出だし足尖のみ地につけ左膝を屈す。
- (二)右膝を深く屈し脛部を左脚の前に持ち來ると同時に、上體を右斜前方に屈す。
- (三)右足を右斜前方に出だし、上體を右斜前方に屈すると同時に右手の五指を開

- き中指のみ中に屈指之れを右膝の所に下ろして注目す。
 - (四)左足を右足に引きつくと同時に右足を一步右斜前方に踏出して踏替をなす。此動作と共に右手を頭上に上げ手首を反轉且つ屈して之れを翳し體を後方に反らす。
 - (五)(六)(七)(八)左足より始め踏替の時左手を擧げて以上と同じ動作を行ふ。
- 以上反覆して十六呼間前進す。

第五段

【動作】

五、股擧跳躍後進にて舊位に復す……………十六呼
第三段の動作と全く同様なり。

第六段

【動作】

六、手を擧げつゝ、右左斜へ踏替歩……………十六呼

【動作の説明】

- (一)右足を右斜前方に出だし、上體を右斜前方に屈すると同時に、右手の五指を開き中指と拇指を中に屈指、他の三指は反らす如くして、之れを右膝の所に下ろし、正しく注目す。
 - (二)左足を右足に引きつくと同時に、右足を一步右斜前方に出だして踏替を行ふ。以上の動作と共に、右手を高く舉げ、手首を反轉且つ屈して、之れを頭上に翳し、體を後方に充分反らす。
 - (三)(四)左手を舉げ、左足にて(五)(六)右手を舉げ、右足にて(七)(八)左手、左足にて以上の動作を行ふ。(第四圖參照)
- 以上反覆して十六呼に至る。

第七段

【動作】

七、右へ左へ轉回追歩にて舊位に復す……………十六呼

【動作の説明】

- (一)兩手を腰にとりたるまゝ、左膝を屈し、右脚を伸ばし大きく右に振ると同時に、右轉向をなし、右足を地につくると同時に、兩踵を舉げ、兩膝を充分伸ばす。
 - (二)左足を右足に引きつくと同時に、右足を約半歩右側方に踏出す。
 - (三)右膝を屈し、左脚を伸ばしたるまゝ、左方に大きく振ると同時に、左轉回をなし、左足を地につくると同時に、兩踵を上げ、兩膝を充分伸ばす。
 - (四)右足を左足に引きつくと同時に、左足を約半歩左側方に踏出す。
 - (五)(六)右脚を振り、右轉回をなして追歩。(七)(八)は左脚を振り、左轉回をなして以上の動作を行ふ。(第五圖參照)
- 以上反覆して十六呼間に舊位に戻る。

第八段

【動作】

八、叩步踏替歩にて前進す……………十六呼

【動作の説明】

- (一)兩手を腰にとりたるまゝ、右脚を充分伸ばしたるまゝ、斜前方に出來得るだけ

高く上げ、足尖にて地を強く叩く。

(二)左足を右足に引きつくと同時に、右足を更に右斜前方に踏出す。

(三)(四)左足にて左斜に(五)(六)右足にて右斜に(七)(八)左足にて左斜に以上の動作を行ふ。

以上十六呼間反覆して前進す。

第九段

【動作】

九右へ左へ轉回追歩にて舊位に復す……………十六呼
第七段の動作に同じ。

第十段

【動作】

一〇伸脚、股舉、踏替跳躍歩及び轉回追歩……………十六呼
【動作の説明】

(一)兩手を腰にとりたるまゝ、前段の終りは左轉向をなせる筈故、右足を一步正面に踏出すと同時に上體を正面に復す。

(二)左足を右足に引きつくと同時に、右足を一步前に踏出して踏替歩を行ふ。

(三)左脚を伸ばし前方に高く上ぐると同時に右足にて跳躍す。

(四)左脚を上げたるまゝ、股を高く上げ、脛部を垂直にす、更に右足にて跳躍す。

(五)左脚を伸ばし左側方に振りて足を地につくと同時に兩踵を上げ上體を充分伸ばす。

(六)右足を左足に引きつくと同時に左足を更に左側方に踏出して追歩を行ふ。

(七)左膝を屈し、右脚を伸ばし、之れを右側方に振ると同時に右轉回をなし、右足を地につけ兩踵を上げ上體を伸ばす。

(八)左足を右足に引きつくと同時に右足を更に右側方に踏出す。

以上反覆して十六呼に至る。
以上百六十呼を一回とし更に始めより復演す。終りに兩足を揃へ正面向きとなる。

第六節 ポルカセリース (A)

(A. polka Series) (C. Bohemia polka)
8. series, 160

【準備】 (隊形) 一組を三列若しくは四列に排列し、各列を大間隔に整頓し、各自兩手を腰にとらしむ。

第一段

【動作】 (右足より始む)

一、足を前方より斜にまはして足踏……………十六呼

【動作の説明】

(一)(二) 兩手を腰にとりたるまゝ、右脚を前方に高く挙げ直ちに右斜にまはして下ろし、其場にて軽く足踏をなす。

(三)(四) 左足より始めて以上の動作を行ふ。
以上反覆して十六呼に至る。

【注意】

以上の動作中體を少しく後方に屈し頭を起し斜上方を向くやう特に注意すべし。

第二段

【動作】

一、手を挙げ斜踏替歩にて前進、方向變換(一回八呼毎に)……………三十二呼

【動作の説明】

(一) 右足を右斜前方に出だし、上體を斜前方に屈すると同時に右手の五指を開き、中指と拇指を中に屈して輪を作り、他の三指を反らし、之れを右膝の所に下ろして目を注ぐ。

(二) 左足を右足に引きつくと同時に、右足を一步右斜前方に踏出して踏替を行ふ。此動作と共に右手を頭上に高く翳し、體を後方に反らす。

(三)(四) 左手を挙げて左足より(五)(六) 右手を挙げて右足より(七)(八) は左手を挙げ左足より始めて以上と同様の動作を行ひ前進す。

次の八呼間は方向を變換す。即ち最初の位置より前進したる場所に於て、右轉向をなし其方向に八呼間以上の動作を行ふ。斯くの如く八呼毎に方向を變換し三十二呼復演して舊位に戻る。

第三段

【動作】

三、手を舉げつゝ、側方に踵趾歩(四)及び手を舉げつゝ、踏替歩(四)……………三十二呼

【動作の説明】

- (一) 右脚を伸ばしたるまゝ、足を大きく右側方に踏出し踵のみ地につけ足尖を十分に加え左膝を深く屈すると同時に、右手を右膝の所に下ろし上體を右側方に向けて前に屈す。
- (二) 右足を左足に引きつくと同時に、右手を頭上に高く舉げ手首を反轉、且つ屈して之れを翳し、上體を後方に反らし掌に注目す。(此場合兩足尖を少し左斜に向く)
- (三)(四) 左足を左側方に出だし、體を左側方に向けて前屈し左手を舉げて以上の

動作を行ふ。

- (五)(六) 右手を舉げ右足にて右斜へ踏替歩を行ふ。
 - (七)(八) 左手を舉げ左足にて左斜へ踏替歩を行ふ。
- 以上八呼の動作を三十二呼反覆して前進す。

第四段

【動作】

四、足の交互側出、一臂上舉、側舉、一臂下垂より頭上に翳して、足踏……………十六呼

【動作の説明】

- (一) 前進したる場所に於て右足を大きく右側方に出だし足尖のみ地につけ、左膝を屈すると同時に左手を上、右手を下方左膝の所に下げ、上體を右側方に屈し、頭を右轉向して右指尖に着目す。
- (二) 右足を左足の後方に引き、足尖のみ地につけて兩膝を屈し、右臂を屈して頭上に翳し手首を反轉、且つ屈すると同時に、左臂を左側方肩の高さに上ぐると同時に臂を反轉して掌を上に向け、頭を左轉向して左手に着目す。

- (三)(四) 両手を腰にとると同時に、右足より始めて其場にて軽く足踏をなす。
- (五)(六)(七)(八) 左足を左側方に出だし體を左側方に屈して以上と同様の動作を行ふ。

以上反覆して十六呼に至る。

第五段

【動作】

五右へ左へ輔回追歩にて舊位に復す……………十六呼

【動作の説明】

- (一) 両手を腰にとりたるまゝ、左膝を屈し、右脚を伸ばし大きく右に振ると同時に右轉向をなし、右足を地につくると同時に兩踵を挙げ兩膝を充分伸ばす。
- (二) 左足を右足に引きつくと同時に、右足を約半歩右側方に踏出す。
- (三)(四) 左脚を振り左轉回をなして追歩。
- (五)(六) 右脚を振り右轉回をなして追歩。
- (七)(八) 左脚を振り左轉回をなして追歩。

以上の動作を十六呼反覆して舊位に復す。

第六段

【動作】

六 駈足にて前進及駈足々踏……………十六呼

- (一)(二) 上體を少しく前方に屈し、右足より始めて三步駈足をなして前進す。
 - (三)(四) 其場にて駈足々踏をなす。
 - (五)(六)(七)(八) 更に右足より始めて以上の動作を反覆す。
- 以上八呼の動作を更に反覆して前進す。

第七段

【動作】

七 右へ左へ轉回追歩にて舊位に復す……………十六呼
第五段の動作と全く同様なり。

第八段

【動作】

八、轉回振脚、股舉踏替歩……………十六呼

【動作の説明】

- (一) 兩手を腰にとりたるまゝ、右足を一步前方に踏出す。
- (二) 左足を右足に引きつくと同時に右足を一步前方に踏出して踏替をなす。
- (三) 左脚を伸ばしたるまゝ、前方に高く上ぐると同時に右足にて跳躍をなす。
- (四) 左膝を屈し股を高く舉げ、左轉回をなし後ろ向きとなると同時に更に右足にて跳躍をなす。
- (五)(六)(七)(八) 左足より始め右轉回をなして以上の動作を行ふ。

以上反覆して十六呼に至る。

以上八段百六十呼を更に始めより繰り返し、終りに兩足を揃ふ。

【注意】

一、二回連続したる時第八段の終りを足を舉げたるまゝとし、之れを利用して二回目的一段を始むるを可とす。

第七節 ポルカセリース (B)

(B. polka Series) (D. Bohemia polka)

(9. series, 160)

【準備】 (隊形) 一組を三列若しくは四列に排列し、各列を大間隔に整頓せしめ、各自兩手を腰にとらしむ。

第一段

【動作】 (右足より始む)

一足を前方より斜にまはし其場にて足踏……………十六呼

【動作の説明】

- (一)(二) 右脚を伸ばしたるまゝ、前方に高く上げ直ちに右斜にまはし、從て體を右斜に向く、下ろすと同時に左足を軽く上ぐ、次に左足を下ろし右足を上ぐ、又直ちに右足を下ろすと同時に左足を上ぐ、即ち軽く足踏をなす。
- (三)(四) 左足より始めて以上の動作を行ふ。

以上反覆して十六呼に至る。

第二 段

【動作】

二手を上げつゝ右斜左斜へ踏替歩……………十六呼

【動作の説明】

(一)右足を右斜前方に出だし上體を右斜前に屈すると同時に右手の五指を開き中指と拇指を中に屈指之れを右膝の所に下ろして目を注ぐ。

(二)左足を右足に引きつくと同時に右足を一步右斜前方に踏出して踏替を行ふ。此動作と共に右手を頭上に高く翳し體を後方に反らす。

以上の動作中手に終始着目し寸時もはなれざるやう特に注意すべし。尙ほ手を頭上に翳すとき手首を軽く反轉且つ屈すべし。

(三)(四)左手を上げ左足より始めて以上の動作を行ふ。

(五)(六)は右手を上げて右足より(七)(八)は左手を上げ左足より始めて以上と同様の運動を行ふ。

斯くの如く反覆して十六呼間前進す。

第三 段

【動作】

三足の交互側出、一臂上より側方に下ろし臂の反轉、一臂下より頭上に翳して足踏……………十六呼

【動作の説明】

(一)右足を大きく右側方に出だし足尖のみ地につけ左膝を屈すると同時に、左手を上、右手を下方右膝の所に下げ、上體を右側方に屈指頭を右轉向して右指尖に注目す。

(二)右足を左足の後方に引きて兩膝を屈し、右臂を屈し手を頭上に翳し手首を折ると同時に、左臂を左側方肩の高さに上ぐると同時に反轉して掌を上に向け、頭を左轉向して左手に目を注ぐ。

(三)(四)兩手を腰にとると同時に、右足より始めて其場にて軽く足踏をなす。

(五)(六)(七)(八)は左足より始めて以上と同様の動作を行ふ。

以上八呼を更に反覆して十六呼に至る。

第四段

【動作】

四、右へ左へ轉回追歩を行ひつゝ舊位に復す……………十六呼

【動作の説明】

- (一)左膝を屈し、右脚を伸ばしたるまゝ、大きく右に振ると同時に右轉向をなし、右足を地につくると同時に兩踵を上げ兩膝を充分伸ばす。
 - (二)左足を右足に引きつくと同時に、右足を約半歩右側方に踏出す。
 - (三)右膝を屈し、左脚を伸ばしたるまゝ、左方に大きく振ると同時に左轉回をなし、左足を地につくると同時に兩踵を上げ兩膝を充分伸ばす。
 - (四)右足を左足に引きつくと同時に、左足を約半歩左側方に踏出す。
 - (五)(六)右脚を振り右轉回をなして追歩。(七)(八)は左脚を振り左轉回をなして以上の動作を行ふ。
- 以上反覆して十六呼間に舊位に復す。

第五段

【動作】

五手を舉げつゝ、側方に踵趾歩(四)及び手を舉げつゝ、踏替歩(四)右、左交互……………卅二呼

【動作の説明】

- (一)前段の終りは左轉向をなせる筈故、此場合のみ左足より始め、(五)(六)よりは右足より始むるものとす。左足を大きく左側方に踏出し脚を伸ばし踵のみ地につけ足尖を十分に上げ、右膝を深く屈すると同時に上體を正面に復し、左手を左膝の所に下ろし、上體を左側方に向けて前屈す。
- (二)左足を右足に引きつくと同時に、左手を頭上に高く上げ手首を反轉且つ屈して之れを翳し、上體を後方に反らし掌に目を注ぐ。(此場合兩足尖を少しく右斜に向く)
- (三)右足を右側方に出だし脚を伸ばし、踵のみ地につけ足尖を上げ、左膝を深く屈すると同時に右手を右膝の所に下ろし、上體を右側方に向けて前屈す。
- (四)右足を左足に引きつくと同時に、右手を頭上高く上げ手首を反轉且つ屈し

て之れを翳し、上體を後方に反らし掌に目を注ぐ。

(五)(六)右足を右斜前に踏出すと同時に、左足を引きつけ更に右足を右斜前に踏出す。即ち右斜へ踏替歩を行ふ。以上の動作と共に上體を右斜に傾け、右手を右斜下方より上方に上げ手首を反轉し且つ屈すると同時に之れを頭上に翳し、上體を後方に反らし掌に目を注ぐ。

(七)(八)左手を舉げつゝ、左足にて左斜へ踏替歩を行ふ。
以上八呼の動作を更に三回、即ち計三十二呼反覆しつゝ前進す。

第六段

【動作】

六、右へ左へ轉回追歩を行ひつゝ、舊位に復す(第四段の動作と全く同様なり)……………十六呼

第七段

【動作】

七、駈足及び駈足々踏……………十六呼

【動作の説明】

- (一)(二)上體を少しく前方に屈し、右足より始めて三步駈足にて前進す。
 - (三)(四)其場にて駈足々踏をなす。
 - (五)(六)右足より始めて三步駈足にて前進す。
 - (七)(八)其場にて駈足々踏をなす。
- 以上十六呼間反覆して前進す。

第八段

【動作】

八、右へ左へ轉回追歩にて舊位に復す(第四段に同じ)……………十六呼

第九段

【動作】

九、轉回、伸脚踏替跳躍歩……………十六呼

【動作の説明】

- (一)右足を一步前方に踏出す。
 - (二)左足を右足に引きつくと同時に右足を一步前に踏出す。
 - (三)左脚を伸ばし前方に高く上ぐると同時に右足にて跳躍をなす。
 - (四)左脚を上げたるまゝ左轉回をなし、後ろ向きとなると同時に更に右足にて跳躍をなす。
 - (五)左足を一步前方に踏出す。
 - (六)右足を左足に引きつくと同時に、左足を一步前に踏出す。
 - (七)右脚を伸ばし前方に高く上ぐると同時に左足にて跳躍をなす。
 - (八)右脚を上げたるまゝ右轉回をなすと同時に更に左足にて跳躍をなす。
- 以上反覆して十六呼に至る。
- 以上九段百六十呼を一回とし、二回繰り返すを常とす。

【注意】

- 一、二回連続して行ふ場合の一回目の終りの轉回伸脚踏替跳躍歩(八)は、足を上げたるまゝとし、直ちに之れを利用して、一段を始むるを可とす。然して二回目の最

後は兩足を揃ふ。

二、手を上下する場合は常に手に注目し、寸時もはなれざるやう特に注意を要す。

第八節 ブルーンポルカ

(Brunn polka) (E. Bohemia. polka)
8. Series. 160

【準備】 (隊形)一組を三列若しくは四列に排列し、各列を大間隔に整頓し、各自兩手を腰にとらしむ。

第一段

【動作】 (右足より始む)

一、脛屈斜踏替歩にて前進……………十六呼

【動作の説明】

- (一)兩手を腰にとりたるまゝ、右足を一步右斜前方に出だし足尖のみ地につけ、左膝を屈す。
- (二)右膝を深く屈し、脛部を左脚の前に持ち來ると同時に、上體を右斜前方に屈す。

(三)右脚を伸ばし右斜前方に出だし、上體を右斜前方に屈すると同時に右手の五指を開き中指と拇指を中に屈げ、他の三指を反らし右膝の所に下ろして目を注ぐ。

(四)左足を右足に引きつくと同時に右足を一步右斜前方に踏出して踏替をなす。以上の動作と共に右手を頭上に舉げ、手首を反轉且つ屈して之れを翳し、體を後方に反らす。

(五)(六)(七)(八)左足より始め踏替の時左手を舉げて以上と同様の動作を行ふ。以上八呼の動作を更に反覆して十六呼に至る。

第二 段

【動作】

二、手を舉げつゝ側方に踵趾歩(四)及轉回追歩(四)にて舊位に復す……………十六呼

【動作の説明】

(一)右脚を伸ばしたるまゝ、右足を大きく右側方に踏出し踵のみ地につけ足尖を十分に上げ、左膝を深く屈すると同時に右手を右膝の所に下ろし、上體を右側

方に向けて前屈す。

(二)右足を左足に引きつくと同時に、右手を頭上に高く舉げ手首を轉屈して之れを翳し、上體を後方に反らし掌に注目し、兩踵を上ぐ。(此場合兩足尖を少し左斜に向く)

(三)(四)左足を左側方に出だし體を左側に向けて前屈し、左手を舉げて以上の動作を行ふ。

(五)兩手を腰にさり左膝を屈し、右脚を伸ばし大きく振ると同時に右轉向をなし、右足を地につくと同時に兩踵を舉げ、兩膝を充分伸ばす。

(六)左足を右足に引きつくと同時に右足を約半歩右側方に踏出す。

(七)(八)左脚を振り左轉回をなして(五)(六)の動作を行ふ。以上八呼の動作を更に一回繰返して十六呼に至る。

第三 段

【動作】

三、手を舉げ右へ左へ斜踏替歩にて前進……………十六呼

第一段(三)(四)の動作を右左交互に反覆して十六呼に至る。

第四段

【動作】

四、手を挙げつゝ、側方に踵趾歩(四)及追歩跳躍足踏(四)……………三十二呼

【動作の説明】

(一)(二)(三)(四)右足より始めて第二段(一)(二)(三)(四)と同様の動作を行ふ。

(五)兩手を腰にとり兩膝を少しく屈し、右足を一步右側方に跳躍すると同時に兩膝を伸ばし、左足を右足に引きつく。

(六)兩膝を少しく屈し右足を更に一步右側方に跳躍すると同時に左膝を屈して舉ぐ。

(七)(八)左足を右足の所に下ろして足踏をなす。

二回目は踵趾歩を左手左足より始め、追歩跳躍及び足踏を左側方に行ふ。

三回目は右足より始めて右側方に、四回目は左足より始め左側方に、以上の動作を行ひて三十二呼に至る。

第五段

【動作】

五、右へ左へ轉回追歩にて舊位に復す……………十六呼

第二段(五)(六)(七)(八)と同様の動作を反覆して十六呼に至る

第六段

【動作】

六、手を挙げ側方に踵趾歩(四)及手を挙げ斜へ踏替歩(四)を行ひつゝ、前進……………卅二呼

(一)(二)(三)(四)は第二段説明(一)(二)(三)(四)の動作に同じ。

(五)(六)(七)(八)は第一段説明(三)(四)の動作を右に左に交互に四呼行ふ。以上八呼を反覆して三十二呼に至る。

第七段

【動作】

七右へ左へ轉回追歩にて舊位に復す……………十六呼
第二段(五)(六)(七)(八)と同様の動作を反覆して十六呼に至る。

第八段

【動作】

八、轉回、振脚、股舉、踏替歩……………十六呼

【動作の説明】

- (一) 兩手を腰にとり右足を一步前方に踏出す。
 - (二) 左足を右足に引きつくと同時に、右足を一步前方に踏出して踏替をなす。
 - (三) 左脚を伸ばしたるまゝ前方に高く上ぐると同時に、右足にて跳躍をなす。
 - (四) 左膝を屈し股を高く擧げ、左轉回をなし後ろ向きとなると同時に更に右足にて跳躍をなす。
 - (五)(六)(七)(八)左足より始め右轉回をなして以上の動作を行ふ。
- 以上反覆して十六呼に至る。
以上八段百六十呼を一回とし、二回繰り返し終りに兩足を揃ふ。

第九節 ヒール、チツプ、ホルカ (A)

(A. Heel. tip. polka)

【準備】

一組を三列若しくは四列に排列し各列を大間隔に整頓し、各自兩手を腰にとらしむ。

第一段

【動作】

- 一、股舉足踏……………八呼
- 二、拍手及臂の側伸を以て右側方へ追歩……………八呼
- 三、股舉足踏……………八呼
- 四、拍手及臂の側伸を以て左側方へ追歩……………八呼

【動作の説明】

一、股舉足踏。

- (一) 兩手を腰にとりたるまゝ、右膝を屈して股を高く舉げ、脛部を垂直にし、足首を伸ばし足尖を下垂す。直ちに之れを下ろすと同時に、左足を軽く上ぐ。
 - (二) 左足を下ろし、右足を上げ直ちに之れを下ろすと同時に左足を軽く上ぐ。
 - (三) (四) 左足より始めて以上と同様の動作を行ふ。
- 以上の動作を更に反覆して八呼に至る。

二、拍手及臂の側伸を以て右側方へ追歩。

- (一) 兩臂を軽く屈し、右足を一步右側方に踏出し、直ちに兩膝を伸ばし足尖にて立つと同時に、體前に於て拍手を一回なす。

(二) 左足を右足に引きつくと同時に、兩臂を側方肩の高さに舉ぐ。(下級生に課する場合は兩手を腰にとらしむるを可とす)

(三) (四) (五) (六) (七) (八) 以上の動作を右側方へ反覆す。

(三) (二) (一) (三) (四) (五) (六) (七) (八) は其場にて兩手を腰にとり、股舉足踏をなす。

(四) (二) (三) (四) (五) (六) (七) (八) は拍子及臂の側伸を以て、左側方へ追歩を行ふ。

【注意】

第一段、追歩は第一列は右側方へ、第二列は左側方へ行はしむ。即ち一列置きに

反對の方に行ふべし。

第二 段

【動作】

一、一步前進、手の交叉を以て膝屈斜前出、一臂斜上伸、一臂斜後下伸、體の前倒其場跳躍……………十六呼

【動作の説明】

- (一) 兩手を腰にとり、兩膝を軽く屈し、右足を一步右斜前方に踏出し足尖にて立つ。
 - (二) 左足を右足に引きつく。
 - (三) 右膝を屈し、右足を一步右斜前方に踏出すと同時に、左手を下に、右手を上、兩掌を下に向けて體前に交叉す。
 - (四) 右臂を右斜上方に、左臂を左斜後下方に伸ばすと同時に、左脚を十分伸ばし、左足を地より上げ、體を斜前方に倒し、右膝を屈したるまゝ、其場にて跳躍をなす。
 - (五) (六) (七) (八) 左足より始めて左斜へ以上の動作を行ふ。
- 斯くの如く反覆して十六呼に至る。

第三段

【動作】

一、手を舉げつゝ側方へ踵趾歩及び後方へ三步駈歩其場足踏……………三十二呼

【動作の説明】

(一)右足を一步右側方に踏出し足尖を上げて踵のみ地につけ上體を右側方に向け且つ軽く前方に屈すると同時に、右臂を右側下方、即ち膝のあたりに下ろし、之れに着目す。

(二)右足を左足に引きつけ兩足尖にて立ち、上體を後方に反らすと同時に、右臂を頭上高く舉げ、右手を反轉し手首を屈して之れを翳し、右手に着目す。

(三)(四)左臂を舉げ左足にて左側方へ以上の動作を行ふ。

(五)(六)兩手を腰にとり體を軽く前方に屈すると同時に右足より駈歩にて三步後へ下がる。

(七)(八)體を起し其場にて軽く足踏をなす。

以上八呼の動作を更に三回反覆して舊位に戻る。

第四段

【動作】

一、手を舉げつゝ右斜へ、左斜へ踏替歩にて前進……………十六呼

【動作の説明】

(一)兩膝を軽く屈し右足を一步右斜前方に踏出し上體を同方向に屈すると同時に、右手を斜前方膝のあたりに下ろし、之れに目を注ぐ。

(二)左足を右足に引きつけ、右足を更に右斜前方に踏出し兩足尖にて立つと同時に、右臂を上方に高く舉げ手を反轉且つ手首を屈して之れを頭上に翳し體を十分後方に反らし右手に着目す。

(三)(四)左手を舉げ左足より始めて左斜へ以上の動作を行ふ。
斯くの如く右へ左へ反覆して十六呼に至る。

第五段

【動作】

一、右へ、左へ轉回追歩を行ひつゝ舊位に復す……………十六呼

- (一) 右脚を伸ばし後方に振ると同時に右轉向をなし直ちに右足を下ろす。
- (二) 右轉向のまゝ左足を右足に引きつくと同時に、右足を半歩右側方に踏出す。
- (三) 左脚を伸ばし側方より後方に大きく振ると同時に、左轉向をなし直ちに左足を下ろす。

- (四) 左轉向のまゝ右足を左足に引きつくと同時に、左足を半歩左側方に踏出す。
 - (五) (六) 右脚を振りて右轉向をなし(七)(八)左脚を振りて左轉向をなして以上の動作を行ふ。
- 以上反覆して十六呼に至る。

第六段

【動作】

一手を挙げつゝ側方へ踵趾歩及び側方へ交叉轉向……………十六呼

【動作の説明】

- (一)(二)(三)(四)は第三段(一)(二)(三)(四)の動作を行ふ。
- (五)両手を腰にさり、右足を一步右側方に踏出し足尖にて立つ。

(六)左足を一步左側方、即ち右脚の前に左脚を交叉すると同時に兩足尖にて右轉向をなす。

(七)右足を更に右側方に一步踏出す。

(八)左足尖を摺りつゝ右足の踵に引きつけ、兩膝を少しく屈すると同時に、上體を少しく左側方に屈す。

(二)(三)(四)は左足より始めて踵趾歩を行ひ、(五)(六)(七)(八)は左足より始めて左側方へ交叉左轉向をなす。

第十節 ヒールチツポルカ (B)

(B. Heel. tip. polka)

【準備】

一組を三列若しくは四列に排列し、各列を大間隔に整頓し、各自兩手を腰にさらしむ。

第一段

【動作】

一、右斜、左斜へ一步前進、伸脚跳躍歩……………十六呼
【動作の説明】

- (一) 両手を腰にとりたるまゝ、右足を一步右斜前方に踏出すと同時に體及び頭を右斜に向け目を上方に注ぐ。
 - (二) 左脚を伸ばしたるまゝ、右斜前方に高く上げ、右足にて跳躍すると同時に、兩肘を軽く屈し、兩手首をあほりつゝ、側方頭の高さ位に上ぐ。
 - (三) 両手を腰にとると同時に左足を舊位に戻す。
 - (四) 右足を左足に引きつく。
 - (五) (六) (七) (八) は左足より始めて左斜へ以上の動作を行ふ。
- 斯くの如く反覆して十六呼に至る。(下級生に課する場合は両手を腰にとらしめたる儘行ふをよしとす。)

第二 段

【動作】

一、拍手及び手腰を以て側方へ交互に膝の屈伸追歩……………十六呼

【動作の説明】

- (一) 兩膝を軽く屈げ、右足を一步右側方に踏出し、直ちに兩膝を伸ばし踵を擧ぐると同時に左手を體前袴の紐の所に副へ、右手を上にして拍手す。
 - (二) 左足を右足に引きつくると同時に、兩手を腰にとる。
 - (三) (四) (五) (六) (七) (八) 以上の動作を反覆して右へ側進す。
- 次ぎの八呼間は左足より始めて舊位の方に以上の動作を行ふ。

第三 段

【動作】

一、手を擧げつゝ、右斜、左斜へ交互に踏替歩……………十六呼

【動作の説明】

- (一) 兩膝を軽く屈し、右足を一步右斜前方に踏出し、上體を同方向に屈ぐると同時に、右手を斜前方膝のあたりに下ろし之れに目を注ぐ。
- (二) 左足を右足に引きつけ、右足を更に右斜前方に踏出し、兩足尖にて立つと同時に、右臂を上方に高く擧げ、手を反轉且つ手首を屈して之れを頭上に翳し、體を十分後方に反らして右掌に注目す。

(三)(四) 左手を挙げ左足より始めて左斜へ以上の動作を行ふ。
斯くの如く右へ左へ交互に反覆して十六呼間前進す。

第四段

【動作】

一、臂の側舉を以て右足の左斜前出、左足の右斜前出……………十六呼

【動作の説明】

(一) 右足を左斜(左脚の前に交叉する如くす)前方に出だし、足首を十分伸ばし足の裏を左方に向け足尖のみ地につけ、左膝を軽く屈す。此時體及び頭を左斜に向け少しく後方に反らし目を左斜上方に注ぐと同時に、兩肘を軽く屈し、五指を開きて手首を上方に屈指側下方に下ろす。

(二) 右足を左足に引きつけ兩踵を挙げ體を正面に復すと同時に、兩手首を十分下方に屈し、兩肘を更に軽く屈し側方耳の高さに舉ぐ。

(三) 左足を右斜前方に出だして(一)と同様の動作を行ふ。

(四) 左足を右足に引きつけ(二)と同様の動作を行ふ。

(五)(六)(七)(八)以上の動作を反覆す。
斯くの如くして十六呼に至る。

第五段

【動作】

一、右手、左手を交互に挙げつゝ、後方へ膝屈跳躍歩……………十六呼

【動作の説明】

(一) 右手を右斜前方に出すと同時に、兩膝を軽く屈し、右足を一步後方に踏出す。

(二) 右手を高く挙げ、手首を折り掌を下に向けて之れを頭上に翳し注目すると同時に、左膝を屈し地よりはなし、右足にて跳躍をなす。

(三)(四) 左手を頭上に翳し左足を後方に出して以上の動作を行ふ。

(五)(六)(七)(八)以上の動作を反覆す。

斯くの如く右、左手を交互に挙げ膝屈跳躍歩を行ひつゝ、舊位に戻る。

【注意】

熟練したる後は兩手を頭上に翳して行はしむるをよしとす。

第六段

【動作】

一、右へ左へ交互に手を挙げつゝ、踵趾歩及び兩手腰にて右側方へ追歩跳躍足踏：
.....十六呼

【動作の説明】

- (一)右足を大きく右側方に踏出し脚を伸ばしたるまゝ、踵のみ地につけ、足尖を十分(一)に上ぐ左膝を深く屈すると同時に、右手を右膝の所に下ろし、上體を右側方にまはし且つ屈して右手に注目す。
- (二)右足を左足に引きつけ兩踵にて立つと同時に、右手を頭上に高く挙げ、手首を反轉且つ屈して之れを翳し、上體を後方に反らし掌に注目す。(此場合兩足尖を少し左斜に向く)
- (三)(四)左足を左側方に出だし、體を左側方に向け且つ屈し、左手を挙げて以上の動作を行ふ。
- (五)(六)(七)(八)更に以上の動作を行ふ。次に

(一)兩手を腰にとりたるまゝ、兩膝を少しく屈し、右足を一步右側方に跳躍する如くして出すと同時に兩膝を伸ばし、左足を右足に引きつぐ。

(二)兩膝を少しく屈し、右足にて更に一步跳躍しつゝ、右側方に出すと同時に、左膝を屈して地より上ぐ。

(三)(四)左足を右足の所に下ろして軽く足踏をなす。

(五)(六)(七)(八)以上の動作を更に右側方に續行し終りに兩足を揃ふ。

第七段

【動作】

一、左へ、右へ交互に手を挙げつゝ、踵趾歩及び兩手腰にて左側方へ追歩跳躍、足踏：
.....十六呼

【動作の説明】

第六段の動作を左足より始めて行ふべし。

【注意】

第六段、第七段中の側方へ行ふ追歩跳躍は、熟練したる後或は上級生に課する場合は(一)にて兩臂を左右に開き直ちに胸前に前屈し、(二)にて又左右に開き、(三)(四)は腰にとらしむべし。

第四章 圓舞の方式

第一節 圓舞の説明

圓舞とは圓く輪を作りて行ふ舞踏法にして、普通之れを行進遊戯と稱し、二列圓陣若しくは一列圓陣にて行ふ場合多く、時に三列にて行ふ事ありと雖も、こは極めて稀なりとす。然して二列圓陣の場合は前列を左生又は内生と云ひ、後列を右生又は外生と稱す。一二の番號を附す場合は一の番號のものを一伍或は一番といひ、二の番號のものを二伍又は二番と稱す。但し舞踏の種類によりて番號の必要なきものあり、又稀に三の番號四の番號等を附する場合あり。

一列圓陣の場合も又種々の番號を附す場合ありと雖も、普通一二の番號を附し此一二の兩人を一伍とし、二人に相隣れるものを隣伍と稱す。

第二節 圓舞の排列法

一二列圓陣の排列法(其一)



二列側面縦隊にて圓く行進をなし適當なる所にて停止せしめ、圓の内方を向きて左生(内生は手を繋ぎて能く整頓し、右生(外生は兩手を舉げて左生に重なり、整頓の終りたる後先頭の方を向かしむ。
(第十五圖参照)

二、二列圓陣の排列法(其二)

横隊のまゝ、前列生は手を繋ぎ合ひ、左翼右翼より進み出で、圓を作り、後列は兩手を

三、一列圓陣の排列法

二列側面縦隊に圓く行進し適當なる所にて停止し、圓の内方を向き後列生(外生)

第四節 圓舞の方式

は前列生の左隣に入りて一列となり、能く整頓す。(第十六圖参照)
以上の外種々の排列法ありと雖も、此方法は比較的簡單にして且つ早く整頓し
得らるゝを以て、此方法によるを便とす。

第十六圖



第五章 圓舞の實際

(Round Dance)

第一節 アミユシングダンス

(Amusing Dance)

第一段

【準備】 二列圓陣を作り、各伍内側の手をとりて高く舉げ外側の手を腰にとる。

【動作】

- 一、通常歩(外側の足より行進を始む)……………十二呼
- 二、前方に伸脚踏替跳躍歩……………十二呼
- (一)右足を一步前方に踏出す。
- (二)左足を右足に引きつくと同時に、右足を一步前に踏出す。

(三)左脚を伸ばしたるまゝ、膝を充分伸ばし前方に高く擧ぐると同時に右足にて跳躍す。

(一)(二)(三)は左足より始め(三)(二)(三)は右足より(四)(二)(三)は左足より始めて以上の動作を反覆す。

【注意】

説明の便宜上右足よりとして説明したれども、實は、外側の足より行ふものと知るべし。以下準之。

三、兩手を體前袴の紐に副ひ、側方へ交叉轉回及び手を擧げつゝ、搖籃歩……………十二呼

(一)右足を一步右側方に踏出す。

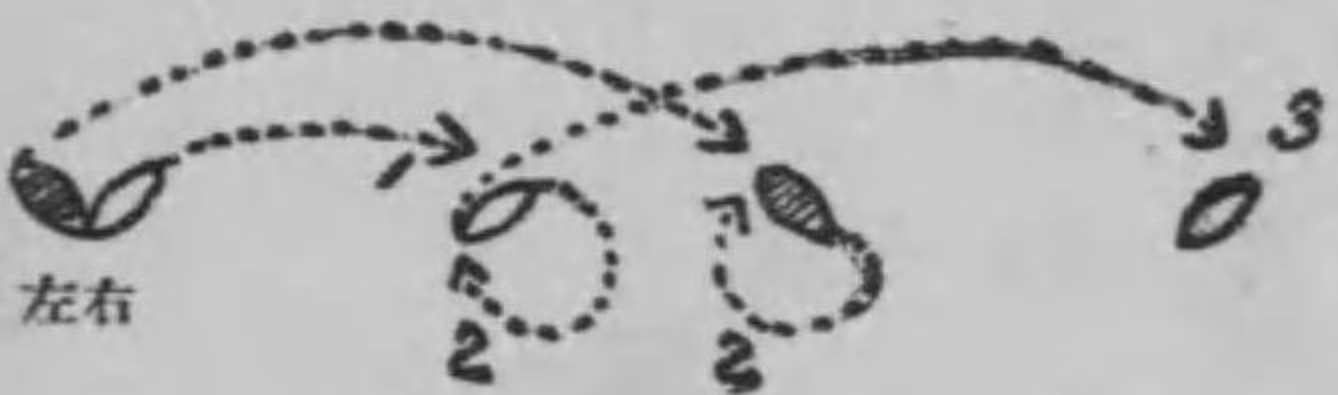
(二)左脚を右脚の前に交叉す。

(三)兩足尖にて右轉回をなす。(第十七圖参照)

(二)右足を一步右斜前方に踏出し兩膝を屈すると同時に、左足を地よりはなし右足の斜前方に上ぐ。

(二)左足を下ろし右足を地より上ぐると同時に、左膝を伸ばして足尖にて立つ。

圖七十第



(三)右足を下ろし右膝を屈すると同時に左足を地より擧ぐ。

以上三呼の動作と共に右手を斜前方より頭上に高く擧げて之れを繋す。

(三)(二)(三)左足より始めて左側方へ交叉轉回をなす。

(四)(二)(三)左足を擧げて左斜へ搖籃歩を行ふ。

四、右手を高くとり合ひ伸脚踏替跳躍歩にて右旋回をなす……………十二呼
終りに圓外生は大きく回轉し、兩人先頭向きとなりて兩足を揃ふ。

第二一段

【動作】

一、一列圓陣となり連手して先頭の方へ通常歩本段は右足より始む……………十二呼

(一)(二)(三)圓内生は圓外生の先きに入り、互に先頭向きとなり右手を前に、左手を後方に伸ばして手を繋ぎ一列圓陣を作りつゝ、行進す。

(一)(二)(三)(四)(二)(三)連手のまゝ、行進す。

(四)(二)(三)は停りて休止す。

二、先頭の方へ叩歩行進……………十二呼

(一)一同連手したるまゝ、右脚を右斜前方に高く擧げて地を一回強く叩く。此時

左膝を屈し上體を少しく右斜前方に屈す。

(二)左足を一步前方に踏出すと同時に兩踵を擧げ、體を充分伸ばして胸を張り、眼を少し上方に注ぐ。

(三)右足を一步踏出すと同時に左斜を向く。

(一)(二)(三)は左足より(三)(二)(三)は右足より(四)(二)(三)は左足より始めて以上の動作を反覆す。

但し終りに連手のまゝ左轉回をなし後尾の方を向く(即ち圓の内方を向きながら轉回す)

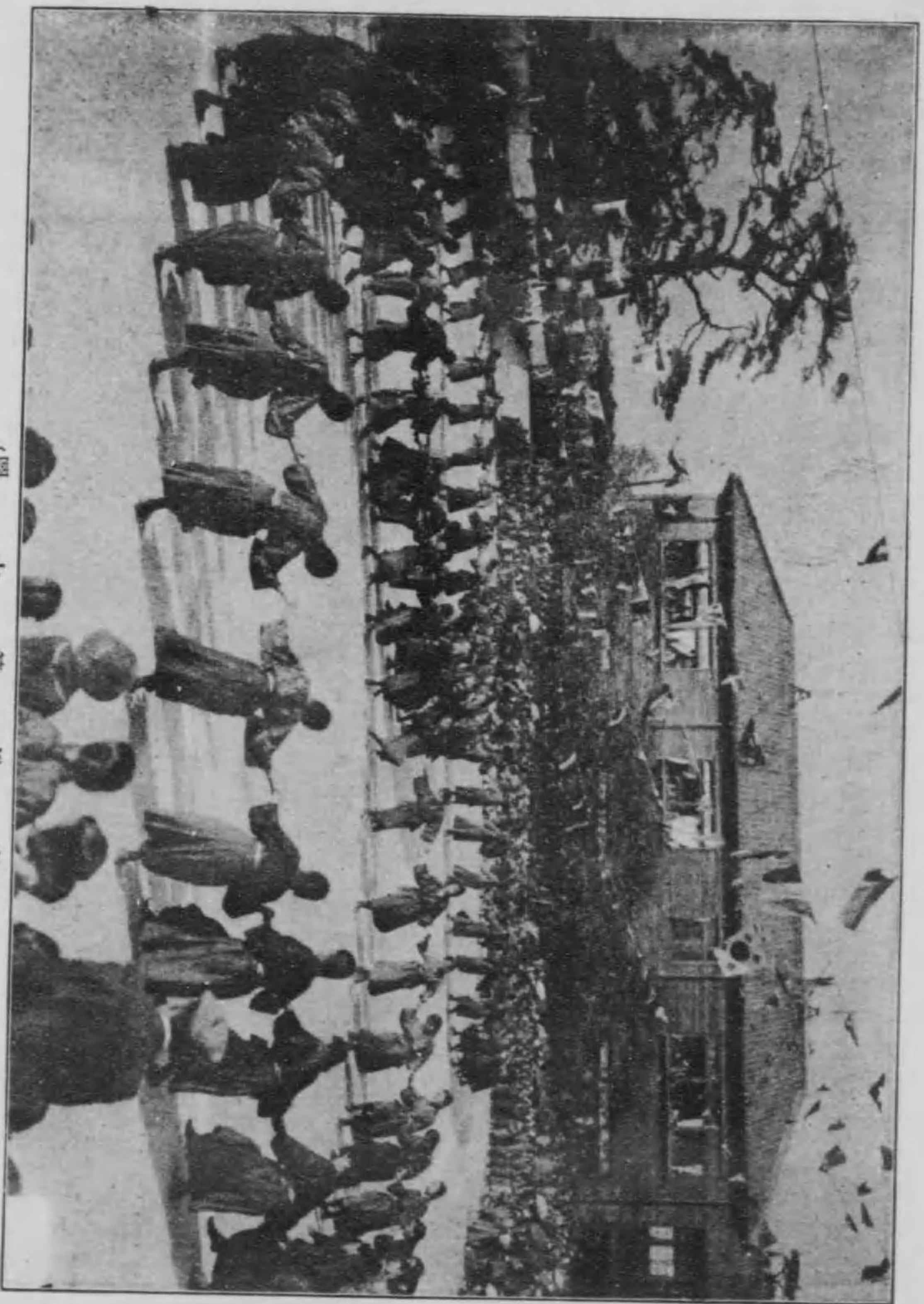
三、後尾の方へ叩歩行進……………十二呼

二と同様の動作を後尾の方へ行ひ終りに圓の内方を向き連手を肩の高さに上ぐ。

四、連手のまゝ右へ左へ交互に搖籃步……………十二呼

(一)右足を一步右斜前方に踏出し兩膝を屈すると同時に、左足を地よりはなし右足の斜前方に上ぐ。

(二)左足を下ろし右足を地より上ぐると同時に、左膝を伸ばし足尖にて立つ。



(圖) 第十 舞 寫

(三)右足を下ろし右膝を屈すると同時に左足を地より上ぐ。

以上の動作と共に連手を少しく右方へ上下す。

(一)(二)(三)左足より始めて左斜に(三)(二)(一)右足より始めて右斜に(四)(二)(三)左足

より始めて左斜に以上の動作を反覆す。(寫眞第十圖参照)

五連手のまゝ右へ左へ交互にガロツプ及び搖藍歩……………十二呼

(一)兩踵を上げ右足を一步右側方に踏出すと同時に左足を右足に引きつく。

(二)(三)以上と同様の動作を反覆す。

(一)(二)(三)右斜へ四の(一)(二)(三)の要領にて搖藍歩を行ふ。

(二)(三)(四)左足より始めて左側方へガロツプ。

(四)(二)(三)左足より始めて左斜へ搖藍歩を行ふ。

六、兩手をとり合ひ搖藍歩にて右旋回……………十二呼

兩臂を肩の高さに舉げ互に左臂を胸前に屈して手を取り合ふ。

七、手をとりたるまゝ右臂を胸前に屈し左臂を伸ばし搖藍歩にて左旋回……………

十二呼

第二節 バーンダンス

(Barn Dance)

【準備】 二列圓陣を作り、各伍互に内側の手を己が伍のもの、袴の腰板に副ひ外側の手を腰にとる。

【動作】

- 一、通常歩(外側の足より行進を始む)……………八呼
- 二、膝屈踏替跳躍歩に前進……………八呼
- 三、右足を一步前方に踏出す。



- 四、左足を右足に引きつく。
- 五、右足を一步前方に踏出す。
- 六、左膝を屈すると同時に右足にて跳躍す。
- 七、手を腰に副へたるまゝ、膝屈跳躍歩にて左旋回……………八呼
- 八、右足を一步前方に踏出す。

- 九、左膝を屈すると同時に右足にて跳躍す。
- 一〇、左足を一步前方に踏出す。
- 一一、右膝を屈すると同時に左足にて跳躍す。
- 一二、(六)(七)(八)以上の動作を反覆して左旋回をなす。膝屈跳躍左旋回を圖解すれば左の如し。



(照參圖九十第)く向を方内の圓時の二、一



(照參圖十二第)く向を尾後の圓時の四、三

圖 一 十 二 第



(照參圖一廿第)く向を方外の圓時の六.五

圖 二 十 二 第



(照參圖二廿第)く向を方の頭先時の八.七

【注意】

- 一、説明の便宜上右足、左足として説明したれども、バーンダンスは外側の足より始むるものとす。
- 二、バーンダンスを正式に行ふ場合は通常歩は最初にのみ行ふものとす。但しスクートルダンスとして行ふ場合は通常歩を加へて行ふをよしとす。

三、手のとり方は、始め交叉雙手にて行ひ、膝屈跳躍歩にて左旋回をなす時、内側の手を相手の腰に副へ(又は肩)外側の手を腰にさる場合あり。然れどもスクートルダンスとして行ふ場合は本書に説明せる如く行ふをよしとす。

第三節 チエンジホツピング

(Chang hopping)

【準備】 二列圓陣を作り、各伍内側の手を取り合ひて高く擧げ、外側の手を腰にさる。

【動作】

- 一、通常歩外側の足より行進を始む……………八呼
- 二、脛屈踏替歩……………十六呼
- (一)右足を一步右斜前方に出だし足尖のみ地につく。
- (二)右膝を屈し脛部を左脚の前に持ち來ると同時に、上體を右側方に屈す。
- (三)右脚を伸ばし一步前出すると同時に、左足を右足に引きつく。
- (四)右足を更に一步前出すると同時に體を十分伸ばし兩足尖にて立つ。

(五)(六)(七)(八)は左足より始めて以上の動作を行ふ。
以上反覆して十六呼に至る。

【注意】

説明の便宜上右足よりとして解説したれども、左生は(圓内生)左足より行ふものとす。以下準之。

三、振脚踏替跳躍歩……………十六呼

(一)右足を一步前方に踏出す。

(二)左足を右足に引きつくと同時に、右足を一步前方に踏出す。

(三)左脚を伸ばし前方に高く振り上げ、右足にて跳躍すると同時に、體を後方に反らす。

(四)體を前方に倒し、左脚を伸ばしたるまゝ、後方に振り上ぐると同時に、右足にて更に跳躍す。

(五)(六)(七)(八)左足より始めて以上の動作を行ふ。

以上反覆して十六呼に至る。

四、己が伍のものと互に右肘を掛け合ひ、膝屈跳躍歩にて右旋回……………八呼

一、右足を一步前方に踏出す。

(二)左膝を屈し右足にて跳躍す。

(三)(四)左足より始め(五)(六)右足より始め(七)(八)左足より始めて以上の動作を行ひ、終りに先頭の方を向く。

【注意】

一、膝屈跳躍歩はなるべく膝を高く舉げて行ふを可とす。

第四節 チイヤフル、ホツピング

(Cheerful hopping)

【準備】 二列圓陣を作り、各伍内側の手を取り合ひて高く舉げ、外側の手を腰にとる。

【動作】

一、通常歩(外側の足より)行進を始む……………八呼

二、振脚踏替跳躍歩……………十六呼

(一)右足を一步前方に踏出す。

- (二)左足を右足に引きつくと同時に、右足を一步前方に踏出す。
- (三)左脚を伸ばし前方に高く振り上げ右足にて跳躍すると同時に、體を後方に反らす。

- (四)體を前方に倒し、左脚を伸ばしたるまゝ、後方に振り上ぐると同時に右足にて更に跳躍す。

- (五)(六)(七)(八)左足より始めて以上の動作を行ふ。
- 以上の動作を反覆して十六呼に至る。

【注意】

説明の便宜上右足よりとして解説したれども、左生は(圓内生)左足より始むるものと知るべし。

- 三、膝屈跳躍歩にて前進……………八呼
- (一)右足を一步前方に踏出す。
- (二)左膝を屈し股を高く擧ぐると同時に、右足にて跳躍をなす。
- (三)左足を一步前方に踏出す。
- (四)右膝を屈し股を高く擧ぐると同時に、左足にて跳躍をなす。

- (五)(六)(七)(八)以上の動作を行ふ。
- 四、己が伍のものゝ互に右肘を掛け合ひ膝屈跳躍歩にて右旋回……………八呼
- 三と同様の動作を行ひつゝ右旋回をなし、終りに先頭向きとなる。

第五節 チューヴィニルダンス (juvenile Dance)

- 【準備】 二列圓陣を作り各伍内側の手をとりて肩の高さに擧げ、外側の手を腰にとり先頭向きとなる。

【動作】

- 一、通常歩(外側の足より)行進を始め、終りに己が伍のものゝ對向して兩足を揃ふ……………八呼
- 二、各自拍手、對手と拍手、各自拍手、隣のものゝ拍手……………八呼
- (一)(二)左手を下に、右手を上にし體前に於て拍手を三回なす。
- (三)(四)對向せる己が伍のものゝ兩手を前にして拍手三回す。
- (五)(六)各自體前にて拍手三回す。

- (七) (八) 手を左右に挙げ互に兩隣のものゝ拍手三回す。
- 三手を挙げつゝ側方へ交互に踵趾歩及び側方へ追歩をなしつゝ、拍手……十六呼
- (一) 右脚を伸ばし大きく右側方に踏出し踵のみ地につけ左膝を屈すると同時に、體を右側方に向けて前屈し右手を右膝の所に下ろし着目す。
- (二) 右足を左足に引きつけ兩踵を挙げ體を後方に反らすと同時に、右手を頭上高く舉げて掌に注目す。(此場合兩足尖を少しく左方に向く)
- (三) (四) 左手を挙げ左足より始めて以上の動作を行ふ。
- (五) 左足を一步左側方に踏出すと同時に、體前に於て拍手一回す。
- (六) 右足を左足に引きつくと同時に、兩手を腰にとる。
- (七) 左足を更に一步左側方に踏出すと同時に、體前に於て拍手一回す。
- (八) 右足を左足に引きつくと同時に、兩手を腰にとる。
- 二回目の(一)(二)は左手、左足にて(三)(四)は右手、右足にて踵趾歩を行ひ(五)(六)(七)(八)は右側方へ右足より始めて拍手二回しつゝ追歩を行ふ。
- 四兩臂を胸前に交叉して右側方左側方へ追歩跳躍をなす………八呼
- (一) 兩臂を胸前に交叉し右足を一步右側方に踏出す。

- (二) 左足を右足に引きつく。
- (三) 右足を更に右側方に踏出す。
- (四) 左膝を屈し股を高く舉ぐると同時に(脛部を垂直にす)右足にて跳躍をなす。
- (五) (六) (七) (八) 以上の動作を左足より始めて左側方に行ふ。
- 五互に對手と右肘を掛け合ひ膝屈跳躍歩にて旋回をなし終りに先頭向きとなる
………八呼

第六節 プレーグラウンドダンス (Prageround Dance)

【準備】 一列圓陣を作り一二の番號を附して之れを一伍とし内面向きとなり全體にて連手し肩の高さに舉ぐ。

- 【動作】 (右足より始む)
- 一、右へ左へ、ダブルバランス………八呼
 - (一) 連手のまゝ、兩膝を少し屈し踵を上ぐると同時に右足を一步右側方に踏出す。
 - (二) 左足を右足に引きつくと同時に兩膝を伸ばす。

- (三)右足を一步右側方に踏出す。
- (四)左足の踵を十分擧げ足尖を摺りつゝ、右足の後方に引きつくと同時に、兩膝を屈し體を少し左側方に屈す。
- (五)(六)(七)(八)左足より始めて左側方に以上と同様の動作を行ふ。
- 二右へ左へ交互にバランス……………八呼
- (一)連手のまゝ、右足を一步右側方に踏出す。
- (二)左足踵を十分擧げ足尖を摺りつゝ、右足の後方に引きつくと同時に、兩膝を屈し體を左側方に屈す。
- (三)(四)左足より始めて以上の動作を行ふ。
- (五)(六)(七)(八)以上の動作を反覆す。
- 三、己が伍及び隣伍のものと交互に握手……………八呼
- (一)(二)左手を腰にとり己が伍のものと右手を握り合ひて軽く三回上下す。
- (三)(四)互に後ろ向きとなり、隣伍のものと右手にて握手をなす。
- (五)(六)(七)(八)以上の動作を反覆す。
- 四、右側方へ拍手をなしつゝ、追歩……………八呼

- (一)右足を一步右側方に踏出すと同時に、體前に於て拍手一回す。
- (二)兩手を腰にとると同時に、左足を右足に引きつく。
- (三)(四)(五)(六)(七)(八)以上と同様の動作を右側方に反覆す。
- 五、一番生は手を擧げつゝ、踏替歩にて二番生をまはり、二番生は其場に中腰となりて拍手す……………八呼
- (一)(二)一番生は右手を擧げ右足にて踏替歩を行ひつゝ、二番生の前に進む、二番生は其場にて中腰となり拍手三回す。
- (三)(四)一番生は左手、左足にて踏替歩を行ひ二番生の左の所に至る。二番生は中腰のまゝ、拍手三回す。
- (五)(六)一番生は右手右足にて踏替歩を行ひ二番生の後ろに至る。二番生は拍手を續行す。
- (七)(八)一番生は左手左足にて踏替歩を行ひ舊位に復す。二番生は直立す。
- 六、左側方へ拍手をなしつゝ、追歩……………八呼
- 四と同様の動作を左足より始めて左側方へ行ふべし。
- 七、二番生は手を擧げつゝ、踏替歩にて一番生をまはり、一番生は其場に中腰となり

て拍手す……………八呼
二番生、一番生をまはるときは前より右にまはるものと知るべし。

第七節 ラウンドフラワー (Round Flower)

【準備】 一列圓陣を作り、一二の番號を附して之れを一伍とし、内面向きとなり全體にて連手し肩の高さに擧ぐ。

【動作】 右足より始む

- 一、踵の上下四回……………八呼
- 二、連手のまゝ、踵を高く擧ぐ。
- 三、踵を徐かに下ろす。
- 以上反覆して八呼に至る。
- 二、己が伍のもの、隣伍のものと交互に握手……………八呼
- 三、己が伍のもの、隣伍のものと右手を握り合ひて軽く三回上下す
- 四、後ろ向きとなり、隣伍のものと右手にて握手。

(五)(六)(七)(八)以上の動作を反覆す。

三頭の右、左轉向……………八呼

(一)(二) 一番生は左へ、二番生は右へ(即ち己が伍のものと顔を見合ひ)頭を轉向し、軽く三回前屈してうなづく状をなす。

(三)(四) 一番生は右へ、二番生は左へ(即ち隣伍のものと顔を見合ひ)以上の動作を行ふ。

(五)(六)(七)(八)以上の動作を反覆す。

四、右側方へ追歩及び拍手……………八呼

(一) 右足を右側方へ一步踏出すと同時に、體前に於て拍手一回す。

(二) 兩手を腰にとると同時に、左足を右側に引きつく。

以上の動作を反覆して八呼に至る。

五、兩臂側舉、上下振動後尾の方へ行進……………八呼

各自後尾の方を向き、兩臂を肩の高さに保ち軽く上下に振り動かしつつ、六歩前進し、(七)(八)にて兩手を腰にとり内面向きとなりて兩足を揃ふ。

六、右側方へ追歩及び拍手……………八呼

四と同様の動作を行ふ。

七、兩臂側舉、上下振動、後尾の方へ行進……………八呼

五と同様の動作を行ふ。

第八節 ハンドスウイス

(Hands With)

【準備】 一列圓陣を作り、一二の番號を附して之れを一伍とし、内面向きとなり各自兩手を腰にとる。

【動作】

一、各自拍手、隣のものゝ拍手……………八呼

(一)(二)各自體前に於て拍手三回。

(三)(四)手を左右に舉げ隣のものゝ拍手三回。

(五)(六)(七)(八)以上の動作を反覆す。

二、己が伍のもの、隣伍のものゝ交互に握手……………八呼

(一)(二)左手を腰にとり、己が伍のものゝ右手にて握手をなす。

(三)(四)後ろ向きとなり、隣伍のものゝ右手にて握手をなす。

(五)(六)(七)(八)以上の動作を反覆す。

三、右へ左へ追歩跳躍、跳躍の時手の交叉……………八呼

(一)兩手を腰にとり、右足を一步右側方に踏出す。

(二)左足を右足に引きつく。

(三)右足を更に右側方に踏出す。

(四)左膝を少しく屈し、右脚の前に交叉し、體を少しく左方に傾け、右足にて跳躍す

ると同時に、左手を内に、右手を外に、食指のみ伸ばし、他の四指を軽く握りて、胸

前に交叉す。

(五)(六)(七)(八)は左足より始めて左側方に以上の動作を行ふ。但し手の交叉は右

手を内に、左手を外にす。

四、連手して先頭の方へ膝屈跳躍步……………八呼

(一)連手すると同時に先頭向きとなりて、右足を一步前進す。

(二)左膝を屈し、右足にて跳躍す。

(三)(四)左足より始め、(五)(六)右足より始めて以上の動作を行ひ、(七)(八)にて連手

を解き兩手を腰にさると同時に圓の内方を向きて兩足を揃ふ。

五 左側方へ追歩及び拍手……………八呼

(一)左足を一步左側方に踏出すと同時に體前に於て拍手を一回行ふ。

(二)兩手を腰にさると同時に右足を左足に引きつく。

(三)(四)(五)(六)(七)(八)以上の動作を反覆す。

六 連手して後尾の方へ膝屈跳躍歩……………八呼

四の動作を後尾の方に行ふ。

七 右側方へ追歩及び拍手……………八呼

五の動作を右側方に行ふ。

第九節 スケーチングダンス

(Skating Dance)

【準備】 二列圓陣を作り各伍互に體前に於て交叉雙手をなす。即ち右手と右手、

左手と左手とを取り合ふ。此場合右生の手を上にする。

然して上級生に課する場合は交叉雙手を高く舉げて行はしむるを可とす。

【動作】

一、通常歩(右足より行進を始む)……………八呼

二、右斜へ、左斜へ追歩……………八呼

(一)兩膝を少しく屈すると同時に右足を一步右斜前方に踏出す。

(二)左足尖を右足の踵に引きつ

くると同時に兩踵を舉げ兩

膝を充分伸ばす。

(三)(四)右足より始めて右斜へ

以上の動作を行ふ。

(五)(六)(七)(八)左足より始めて左

斜へ以上と同様の動作を行

ふ。(第二十三圖参照)

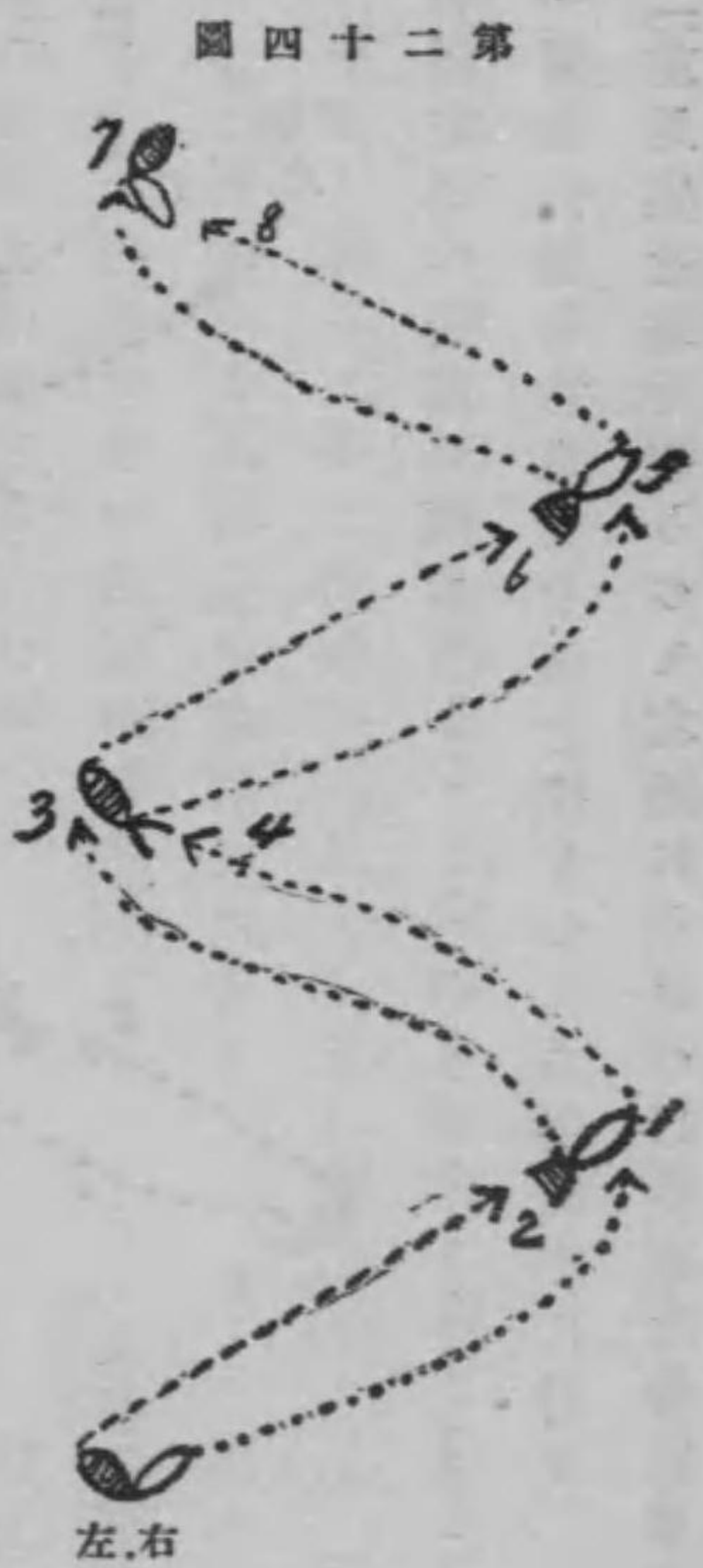
三、右斜、左斜へ交互に摺歩……………八呼

(一)兩膝を屈し右足尖を地を摺りつゝ右斜前方に出す。

(二)左足尖を地を摺りつゝ右踵に引きつけ、兩膝を伸ばすと同時に兩踵を舉ぐ。

圖 三十二 第





にさる。(第二十四圖参照)

四各伍己が伍のものごセット跳躍……………八呼

(一)兩手を腰にとりたるまゝ右足を一步右斜前方に踏出す。

(二)左足を一步右斜前方に踏出す。

(三)右足を一步右斜前方に踏出すと同時に、兩足尖にて左轉回をなす。

(四)左膝を屈し右脚の傍に上ぐるると同時に、右足にて跳躍す。

(五)(六)(七)(八)は左足より始めて舊位置に右轉回をなして以上の動作を行ふ。

五右手を高く取り合ひ膝屈跳躍歩にて右旋回をなす。終りに兩人先頭向きとな

(三)(四)左足より始め

て左斜へ(五)(六)右

足より始めて右斜

へ以上と同様の動

作を行ひ(七)(八)に

て己が伍のものご

對向して兩手を腰

- ……………
- (一)右足を一步前方に踏出す。
- (二)左膝を屈すると同時に、右足にて跳躍す。
- (三)左足を一步前方に踏出す。
- (四)右膝を屈すると同時に左足にて跳躍す。
- (五)(六)(七)(八)以上の動作を反覆しつゝ右旋回をなす。

【注意】

一、セット跳躍を行ふ代りに、普通のセットを行ふもよしとす。

第拾節 クレードルダンス

(Cradle Dance)

【準備】 二列圓陣を作り、各伍内側の手をとりて肩の高さに挙げ、外側の手を腰にとる。

【動作】

一、通常歩(外側の足より)行進を始む……………十二呼

二前方に伸脚踏替跳躍歩……………十二呼

(一)右足を一步前方に踏出す。

(二)左足を右足に引きつくと同時に、右足を一步前に踏出す。

(三)左脚を十分伸ばし前方に高く擧ぐると同時に右足にて跳躍す。

(四)(一)(二)(三)左足より始め、(五)(一)(二)(三)右足より始め、(六)(一)(二)(三)左足より始めて以上の動作を反覆す。

三斜へ搖藍歩及び對向して膝屈搖藍歩……………十二呼

(一)右足を一步右斜前方に踏出し、兩膝を屈すると同時に左足を地よりはなし右足の斜前方に上ぐ。

(二)左足を下ろし、右足を地より上ぐると同時に、左膝を伸ばし足尖にて立つ。

(三)右足を下ろし、右膝を屈すると同時に左足を地より上ぐ。

以上の動作と共に連手を徐々に高く擧げ、體を右斜に向く。

【注意】

便宜上右足として説明したれども、左生(圓内生)は左足より始め體を左斜に向くるものと知るべし。

以下倣之。

(一)左足を一步前方に踏出すと同時に、右足を地より上ぐ。

(二)右足を一步前方に踏出し、左足を擧げ兩膝を深く屈すると同時に、兩人相對向す。

(三)左足を其場にて地に下ろし足尖にて立つと同時に、右足を擧げ、兩膝を十分伸ばす。

以上の動作と共に高く擧げたる連手を、徐々に前方より下ろして後方に伸ばす。
(四)(一)(二)(三)は(一)(二)(三)と同様の動作を行ひ、(四)(一)(二)(三)は(一)(二)(三)と同様の動作を反覆す。

四、己が伍のものど兩手を取り合ひ、後尾の方へ先頭の方へ交互にガロツプ及び搖藍歩……………十二呼

(一)(二)(三)各伍己が伍のものど兩手を取り合ひ先頭の方の手を高く擧げ、後尾の方の手を下に體を後尾の方に屈し、頭を同方向に轉向し下方の手に注目しつゝ、後尾の方へガロツプを行ふ。(第二十五圖參照)

(四)(一)(二)(三)後尾の方へ搖藍歩を行ひつゝ、先頭の方の手を下ろし後尾の方の手を

圖五十二第



高く舉ぐ。

(三)(二)(三)體を先頭の方に屈し頭を同方向に轉向し下方の手に注目しつゝ先頭の方へガロップを行ふ。

(四)(二)(三)先頭の方へ搖籃歩を行ひつゝ先頭の方の手を高く舉げ後尾の方の手を下ろす。

五己が伍のものと右手をとり合ひて高く舉げ伸脚踏替跳躍歩にて右旋回……………十二呼

二の動作と同様の事を行ひつゝ右旋回をなし終りに先頭向きとなる。

第拾壹節 ヴィクトリーダンス

(Victory Dance)

【準備】

一列圓陣を作りて二の番號を附し奇數と偶數とを對向せしめ兩手を腰にとら

しむ。

【動作】

一右手左手にて交互に握手……………八呼

(二)(二)互に右手を軽く握り合ひ體を左斜前方に屈して目を手に注ぎ頭及握りたる手を上下に軽く三回動かす。

(三)(四)右手を腰にとり左手を握り合ひ體を左斜前方に屈して目を手に注ぎ頭及握りたる手を上下に軽く三回動かす。

(五)(六)は右手にて(七)(八)は左手を握り合ひて以上の動作を反覆す。

二各自體前にて拍手及對手と拍手……………八呼

(一)(二)左手を下に右手を上にし體前に於て拍手三回す。

(三)(四)互に兩臂を屈し掌を前に向けて對手と軽く三回拍手す。

(五)(六)(七)(八)以上の動作を反覆すべし。

三兩手を取り合ひ内側の足にて踵趾歩及び内側方へセット……………八呼

(一)兩手を取り合ひたるまゝ内側の手を下に外側の方の手を高く舉げ體を内側の方に屈して下の手に注目す。以上の動作と共に外側の足の膝を屈すると

同時に内側の足を内側方へ一步出だし足尖を十分上げて踵のみ地につく。
(二)以上の姿勢のまま、内側の足を外側の足の踵に引きつけ、踵を十分に上げ足尖のみをつけると同時に兩膝を伸ばす。

(三)(四)以上の動作を反覆す。

(五)對向し兩手をとりたるまゝ、内側の足を一步圓内に踏み出す。

(六)外側の足を圓の内方に進む。(内側の足の前に交叉する如くす)

(七)更に内側の足を一步圓内に進む。

(八)外側の足の足尖を内側の足の踵に引きつくと同時に、兩膝を屈し體を外側方に屈す。

四、兩手をとり合ひ外側の足にて踵趾歩及び外側方へセツト……………八呼

三の動作と同様の事を外側方へ行ふ。

五、奇數生は手を交互に擧げながら膝屈跳躍歩にて偶數生を體周す。偶數生は其場にて中腰となりて拍手……………八呼

(二)右足を一步前方に踏出すと同時に、右手を右斜前方に下ろし、目を此手に注ぐ。

(二)左膝を屈し右足にて跳躍すると同時に、右手を頭上に高く擧げ、手首を反轉且つ屈して之れを翳し體を少しく後方に反らし手に注目す。

(三)(四)左手、左足にて以上の動作を行ふ。かくの如くして八呼間に偶數生を右方より一周して舊位に戻る。其間偶數生は左膝を立て右膝を地に軽くつけ中腰となりて拍手す。拍手の方法は胸前に左手を下に、右手を上にして二呼間に三回拍手をなす。

六、偶數生手を交互に擧げつゝ、膝屈跳躍歩にて奇數生を體周す。奇數生は其場にて中腰となりて拍手……………八呼

五の動作を反對に行ふべし。

七、一列圓陣のまま、全體連手し先頭向きとなりて休止……………八呼

八、一列連手にて足尖叩歩を行ひつゝ、先頭の方へ前進(此場合全生右足より始む)……………十六呼

(一)右足を一步右斜前方に踏出し、足尖にて地を強く叩くと同時に、左足を前に上げ。此動作と共に上體を右斜前方に屈す。

(二)先きに進めたる左足を地に下ろすと同時に、右足を更に一步前進す。此時先

きに屈せる上體を正面に復すと共に、兩足尖にて立ち體を十分伸ばす。

(三)(四)以上の動作を左足より始めて行ふ。

かくの如く交互に反覆しつゝ十六呼に至る。但し最後の(七)(八)にて連手のまゝ左轉回をなし背面向きとなる。

九、一列連手のまゝ足尖叩歩にて後尾の方へ行進……………十六呼

八と同様の動作を後尾へ反覆しつゝ舊位に復す。但し終りの(七)(八)にて連手を解き奇數偶數相對向す。

一〇、右斜へセツト跳躍……………八呼

(二)右足を一步右斜前方に踏出し兩足尖にて立つ。

(二)左足を一步右斜前方に(右足の先のの方に)踏出し足尖にて立つ。此場合上體及び頭を右斜前方に向くるやうにすべし。

(三)右足を更に一步右斜前方に踏出し、兩膝を屈すると同時に、足の位置を變ずる事なく、兩足尖にて左轉回をなし體を十分伸ばす。

(四)左膝を屈し地よりはなすと同時に右足にて軽く跳躍す。

(五)(六)(七)(八)左足より始めて舊位に、以上の動作を行ひ終りに體及び頭を正面に

復す。

一、互に右手を對手の右肩上に副へ踏替歩にて右旋回……………八呼

(二)互に右手を對手の右肩上に副へると同時に、右足を一步前方に踏出す。

(二)左足を右足に引きつくと同時に更に右足を一步前に踏出す。

以上の動作を左足、右足、左足より始めて交互に反覆しつゝ、右旋回をなす。

一、二、互に左手を對手の左肩上に副へ、膝屈跳躍歩にて左旋回……………八呼

(二)互に左手を對手の左肩上に副へると同時に、右足を一步前方に踏出す。

(二)左膝を屈すると同時に、右足にて跳躍す。

以上の動作を左足より始め、次に右足、左足と交互に反覆しつゝ、左旋回をなす。

第六章 列舞の方式

第一節 列舞の説明

列舞とは二列縦隊又は四列縦隊若しくは二列、四列横隊等にて行ふ舞踏法にして、縦列にて行ふ場合は右なるを右生又は右縦列、左を左生又は左縦列と稱す。(第二十六圖参照)



し、四列にて行ふ場合は一列、二列、三列、四列と稱す。然して舞踏の種類によりて番號を附する場合と附せざる場合等あり。

第七章 列舞の實際

(Line Dance)

第一節 デージーダンス

(Daisy Dance)

【準備】 六の番號を附し二列縦隊に整列せしめ、兩手を腰にこらしむ。(便宜上一組四十八人として説明す)

【動作】 (右足より始む)

第一 一段

一、轉向四步前進及び足踏……………八呼
(一)(二)(三)(四)左縦列は左轉向、右縦列は右轉向をなし右足より四步前進す。

(五)(六)(七)(八)其場にて足踏をなしつゝ、整頓。

二、奇數生のみフオーア、アンドバック……………八呼

(一)右足を一步前進す。

(二)左足を一步前進す。

(三)右足を更に一步前進す。

(四)左の踵を十分に上げ足尖を軽く摺り、右足の踵の所に引きつくと同時に兩膝を屈し體を少しく左方に傾く。

(五)(六)(七)(八)左足より後進しつゝ、以上の動作を行ふ。

三、偶數生フオーア、アンド、バック……………八呼

四、奇數生三步前進、偶數生三步後進、及び正面向きとなりて足踏……………八呼

(一)(二)(三)奇數生は三步前進し、偶數生は三步後へさがり(四)にて左足を右足に引きつゝ、(五)にて正面向き(即ち先頭の方を向き)となり(六)(七)(八)足踏をなしして整頓。

五、右手を舉げ右斜へ、左手を舉げ左斜へ交互に踏替步……………八呼

(一)右足を一步右斜前方に踏出し體を斜前方に屈すると同時に、右手を右膝の所

に下ろす。

(二)左足を右足に引きつけ踏替をなすと同時に、兩踵を上げ上體を後方に反らす。以上の動作と共に右臂を斜上方に高く舉げて掌に着目す。

(三)(四)左手を舉げ左足より始めて以上の動作を行ふ。以上反覆して八呼に至る。

六、右轉向をなし手を舉げつゝ、斜踏替步……………八呼

(一)にて右轉向をなし其方面に五と同様の動作を行ふ。

七、更に右轉向をなし其方向に手を舉げつゝ、踏替步……………八呼

八、更に右轉向手を舉げつゝ、踏替步……………八呼

九、先頭向きとなり足踏及右、左縦列背中合せとなして足踏整頓……………八呼

(一)(二)(三)(四)右轉向即ち先頭向きとなりて足踏整頓。

(五)(六)(七)(八)右縦列は右轉向、左縦列は左轉向をなしして足踏整頓。

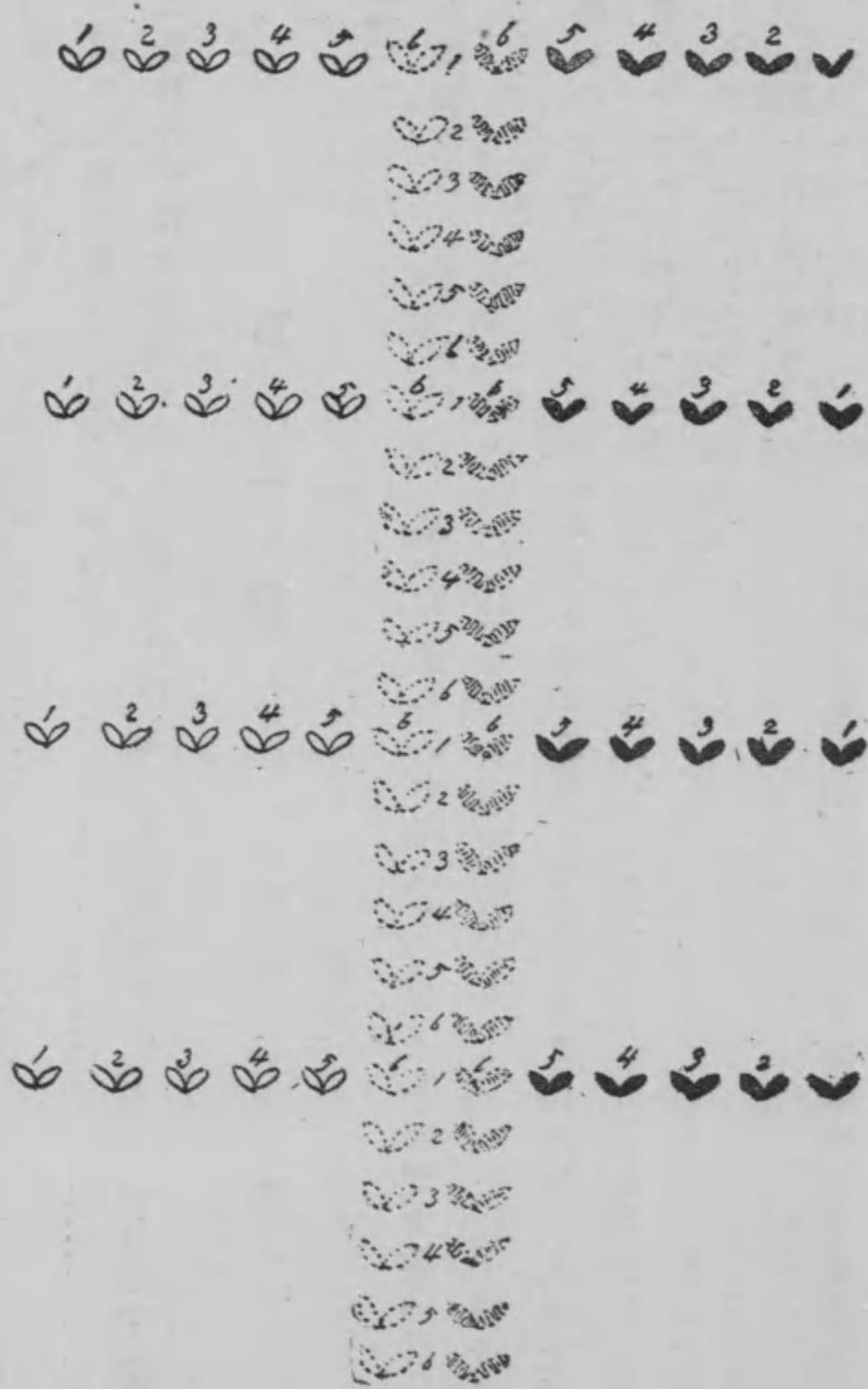
一〇、奇數生三步後へ、偶數生三步前へ行進、及び先頭向きとなりて足踏……………八呼
一一、各列對向すると同時に舊位に行進し、(五)にて先頭向きとなりて足踏……………八呼

第二 段

【動作】

- 一、先きに定めたる(一より六迄)各組の先頭生即ち一番は、其場より右縦列は右へ、左縦列は左へ行進し、正面向きとなる。(第二十七圖参照)……………八呼
- 二、正面向きとなれる十二人にて連手をなし、其場にて足踏整頓……………八呼
- 三、十二人連手の儘フォア、アンドバック……………八呼
- (一)(二)(三)(四)にて徐々に連手を上げ、(五)(六)(七)(八)にて徐々に下ろす。
- 四、更にフォア、アンドバック……………八呼
- 五、十二人連手のまゝ、肩の高さに上げてバランス……………八呼
- (一)右足を一步右側方に踏出す。
- (二)左足尖を右足の踵に引きつくと同時に、兩膝を屈し體を少しく左側方に屈す。
- (三)左足を一步左側方に踏出す。
- (四)右足尖を左足の踵に引きつくと同時に、兩膝を屈し體を少しく右側方に屈す。
- (五)(六)(七)(八)以上の動作を反覆す

圖七十二第



六、各組の六番生先頭となりて舊位に行進、後尾の方を向きたるまゝ、足踏……………十六呼

七、各組の六番生先頭となり、其場より伍々、右左へ行進し背面向きとなる……………八呼

- 八、十二人にて連手をなし足踏整頓……………八呼
- 九、十二人連手のまゝフオーア、アンドン、バック……………八呼
- 一〇、更にフオーア、アンドン、バック……………八呼
- 一一、連手を肩の高さに上げてバランス……………八呼
- 一二、各組の一番生先頭となりて、舊位に行進し足踏整頓をなす……………八呼

第三段

【動作】

- 一、左縦列は左へ、右縦列は右へ圓く行進し、二十四人づゝの一行圓陣を作る……………四十八呼
- 終りの(五)(六)(七)(八)にて圓の内方へ向き連手して肩の高さに舉げて足踏をなす。
- 二、連手のまゝ右側方へ追歩……………八呼
- (一)右足を一步右側方に踏出す。
- (二)左足を右足に引きつく。
- (三)(四)(五)(六)(七)以上の動作を反覆し(八)にて左足尖を右足の踵に引きつけ兩膝

を屈すると同時に體を少しく左側方に屈す。(第二十八圖及び寫真第十一圖参照)

第二十八圖



- 三、左側方へ追歩……………八呼
- 左足より始めて左側方へ二と同様の動作を行ふ。
- 四、右へ左へ交互にバランス……………八呼
- 終りに連手したるまゝ手を下ろす。
- 五、連手の儘フオーア、アンドンバック……………八呼
- (一)(二)(三)(四)にて連手を徐々に高く舉げ(五)(六)(七)(八)にて連手を徐々に下ろし且つ後方より上に舉げて手を解く。
- 六、右側方へ追歩及拍手……………八呼
- (一)右足を一步右側方に踏出すと同時に、體前に於て拍手を一回す。
- (二)左足を右足に引きつくと同時に、兩手を腰にさる。
- (三)(四)(五)(六)(七)(八)以上の動作を反覆す。
- 七、左側方へ追歩及拍手……………八呼

左足より始め左側方へ六と同様の動作を行ふ。

八奇數生と偶數生と對向し、グランド、チェインにて前進……………八呼

(一)(二) 始めの對手と右手をとりて前進す。

(三)(四) 新なる對手と左手をとると同時に、右手をはなして前進す。

(五)(六) 新なる對手と右手をとると同時に、左手をはなして前進す。

(七)(八) 三回目の對手と右手をとりたるまゝ、右旋回をなし、舊位の方を向く。

九、グランドチェインにて舊位に復す……………八呼

(一)(二) 左手と左手、(三)(四) 右手と左手、(五)(六) 最初の對手と左手を取りてチェインを行ひ、(七)(八)にて左旋回をなし、最初の如く對向して兩手を腰にとる。

一〇、對向せる對手とセット跳躍……………八呼

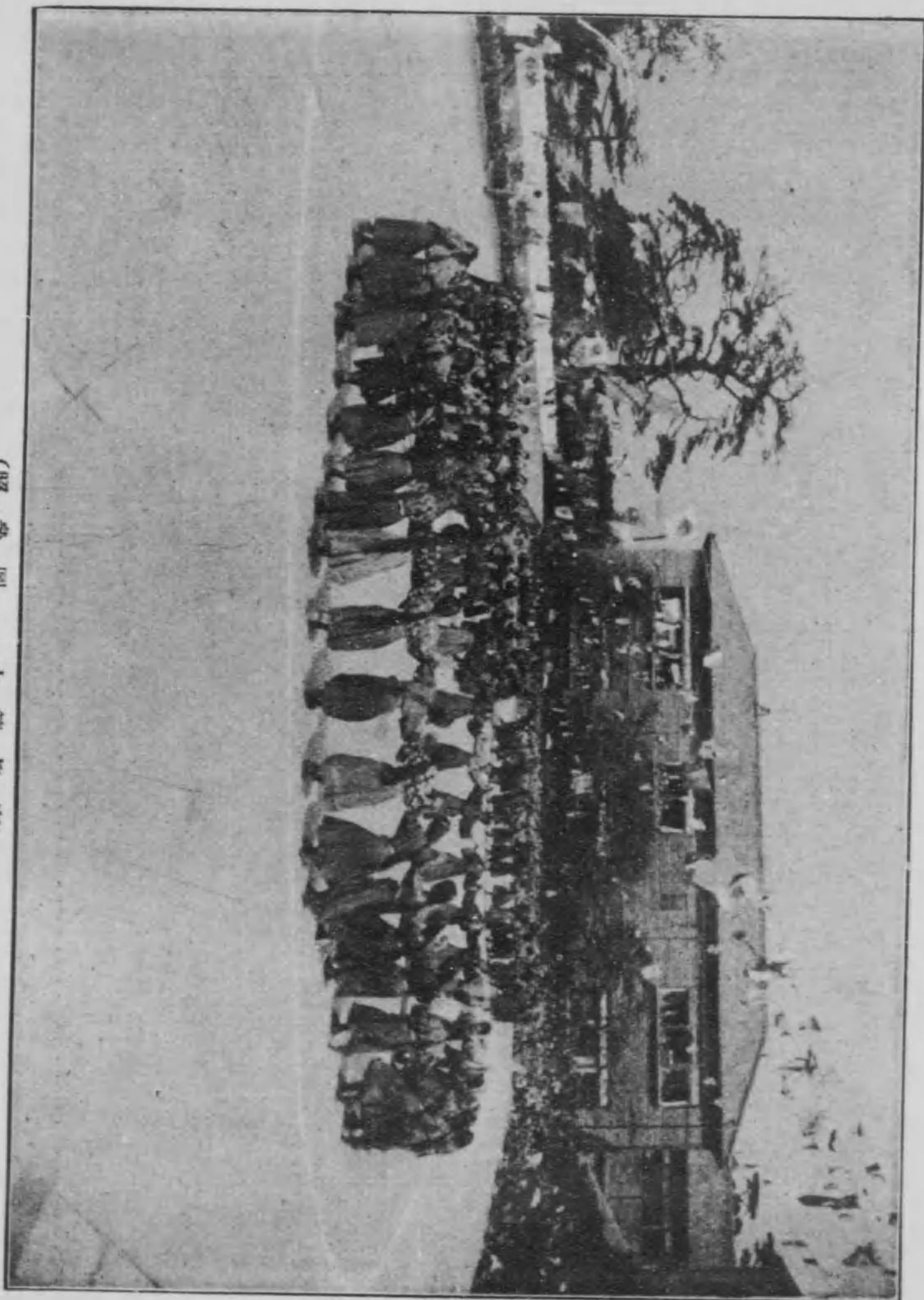
(一) 右足を一步右斜前方に踏出す。

(二) 左足を一步右斜前方に踏出す。

(三) 右足を更に右斜前方に踏出すと同時に兩足尖て左轉回をなす。

(四) 左膝を屈すると同時に右足にて跳躍す。

(五)(六)(七)(八) 左足より始め舊位に以上の動作を行ふ。



(照參圖一十第舞寫)

但し(七)の時右轉回をなす。

- 一、對向せるものと兩手をとりてターン……………八呼
 兩手を高くとり合ひ右旋回をなし、終りに先頭の方を向く。
- 一、二、各圓列行進して舊位に復し足踏……………四十八呼
 即ち最初の如く各列縱列となる。

第二節 ヴィクトリーダンス

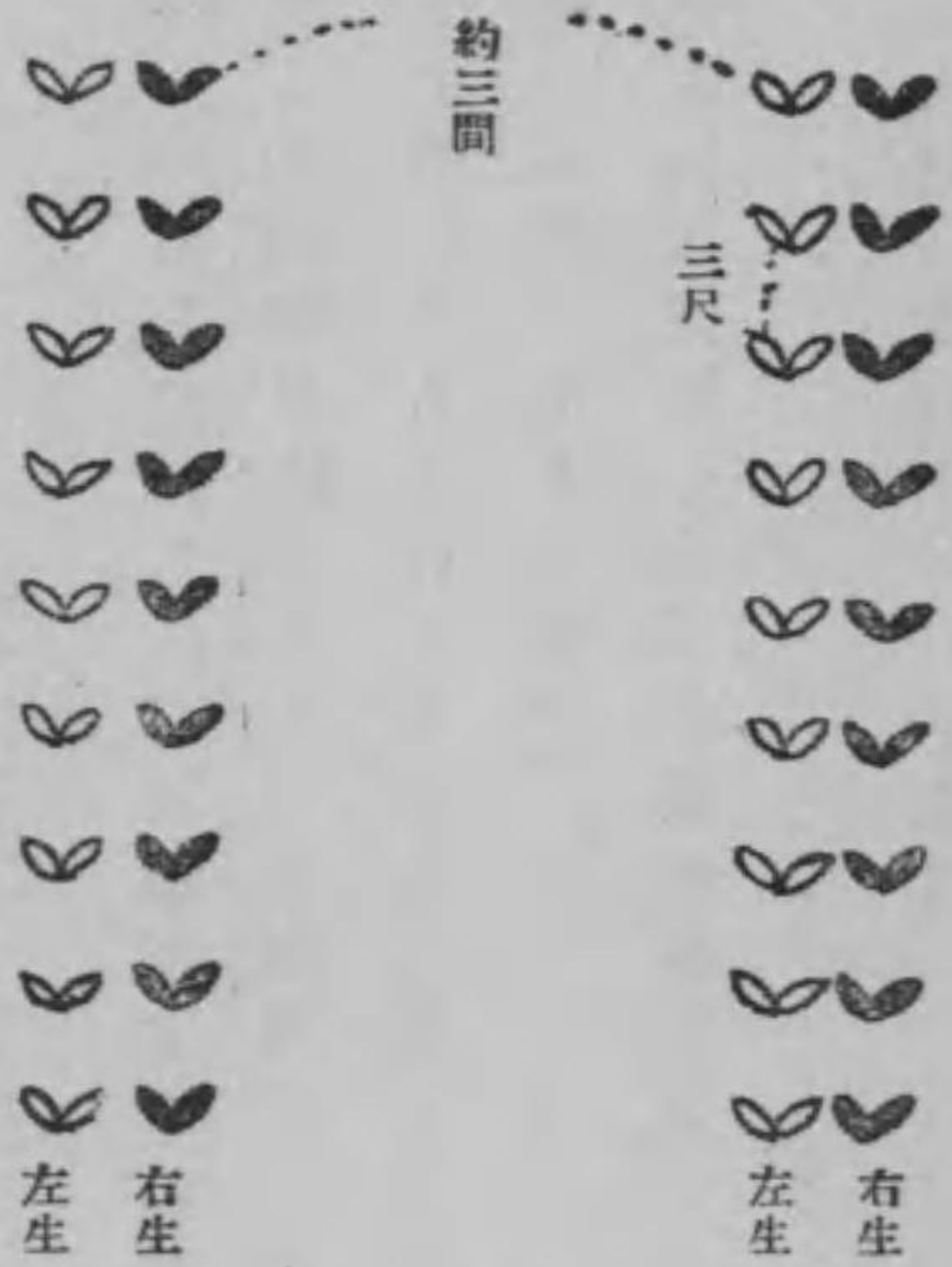
(Victory Dance)

【準備】 一組を二分して二列縱隊を二個編成し、縱列と縱列との間を約三間とし、相重なる距離を約三尺として整列せしめ、各自兩手を袴の前紐の所に副へしむ。(兩手を腰にとらしむるもよし) (第二十九圖参照)

【動作】 (外側の足より始む)

- 一、外側方へ、内側方へ(第三十圖参照)交互に振脚跳躍歩及び手を舉げて搖籃歩……………十二呼
- ……………
- (二)右足を一步右側方に踏出す。

圖九十二第



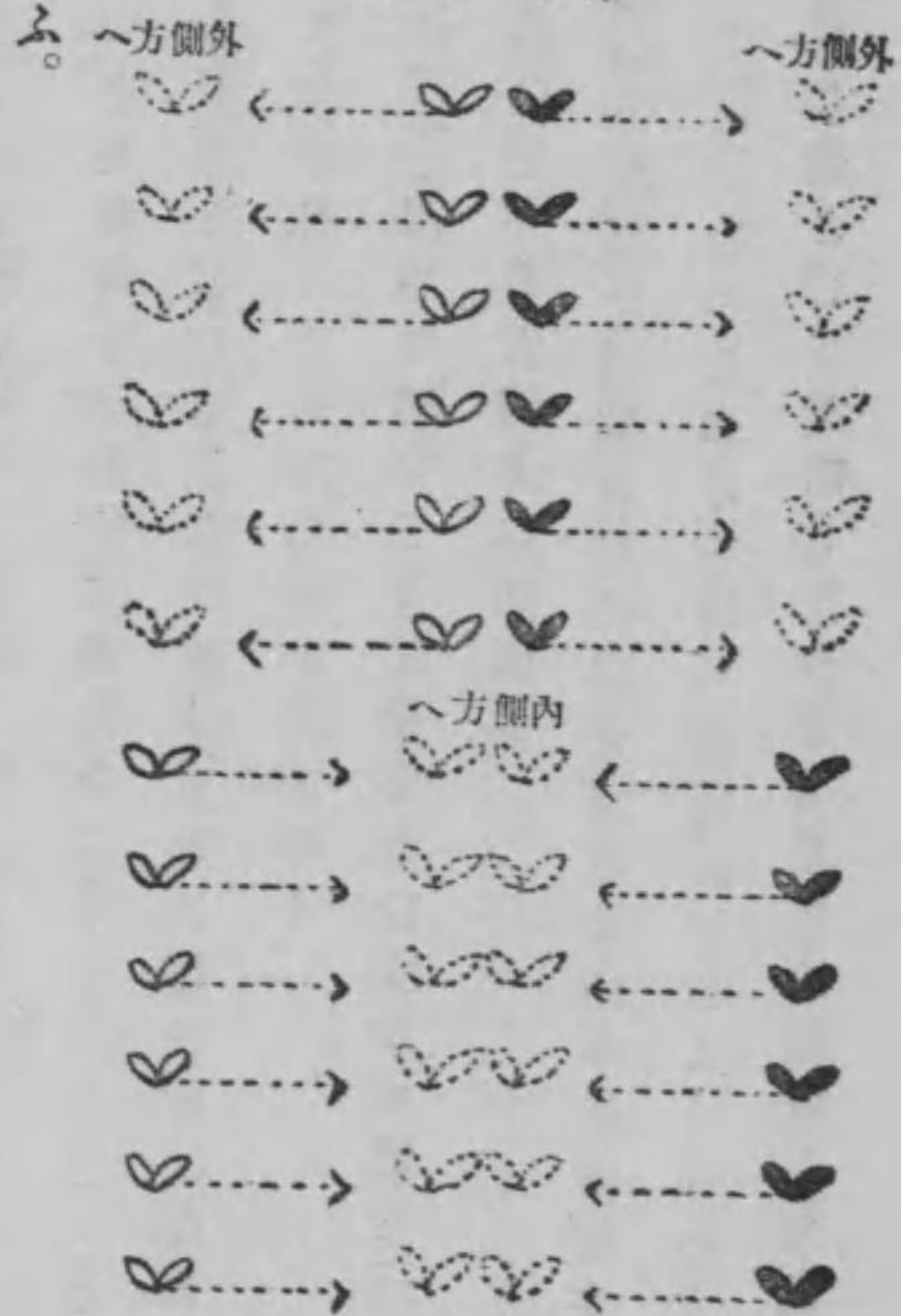
(二)左足を右足に引きつけ、左足にて軽く跳躍すると同時に右脚を右側方に蹴上ぐ。
 (三)左足にて更に軽く跳躍すると同時に、右膝を屈し脛部を左脚の後方に高く擧ぐ。

(二)右足を一步右斜前方に踏出し、兩膝を屈すると同時に、左足を地よりはなし右足の斜前方に軽く擧ぐ。以上の動作と共に兩手を斜下方に伸ばす。

(二)左足を下ろし右足を地より上ぐると同時に、左膝を伸ばし足尖にて立つ。此動作と共に右臂を斜下方より掌を外に向けたるまゝ、上方に高く上げ、左臂は掌を下に向けたるまゝ、袴の前紐の中央の所に拇指を副ふ。

(三)右足を下ろし右膝を屈すると同時に左足を地より上ぐ。以上の動作と共に、兩手首を反轉且つ屈して、左手は掌を上に向け、右手は掌を下に向けて頭上に

圖十三第



翳すと共に上體を後方に反らし頭を後方に屈し右掌に着目す。

(三)(二)(三)左足より始めて左側方に振脚跳躍歩。

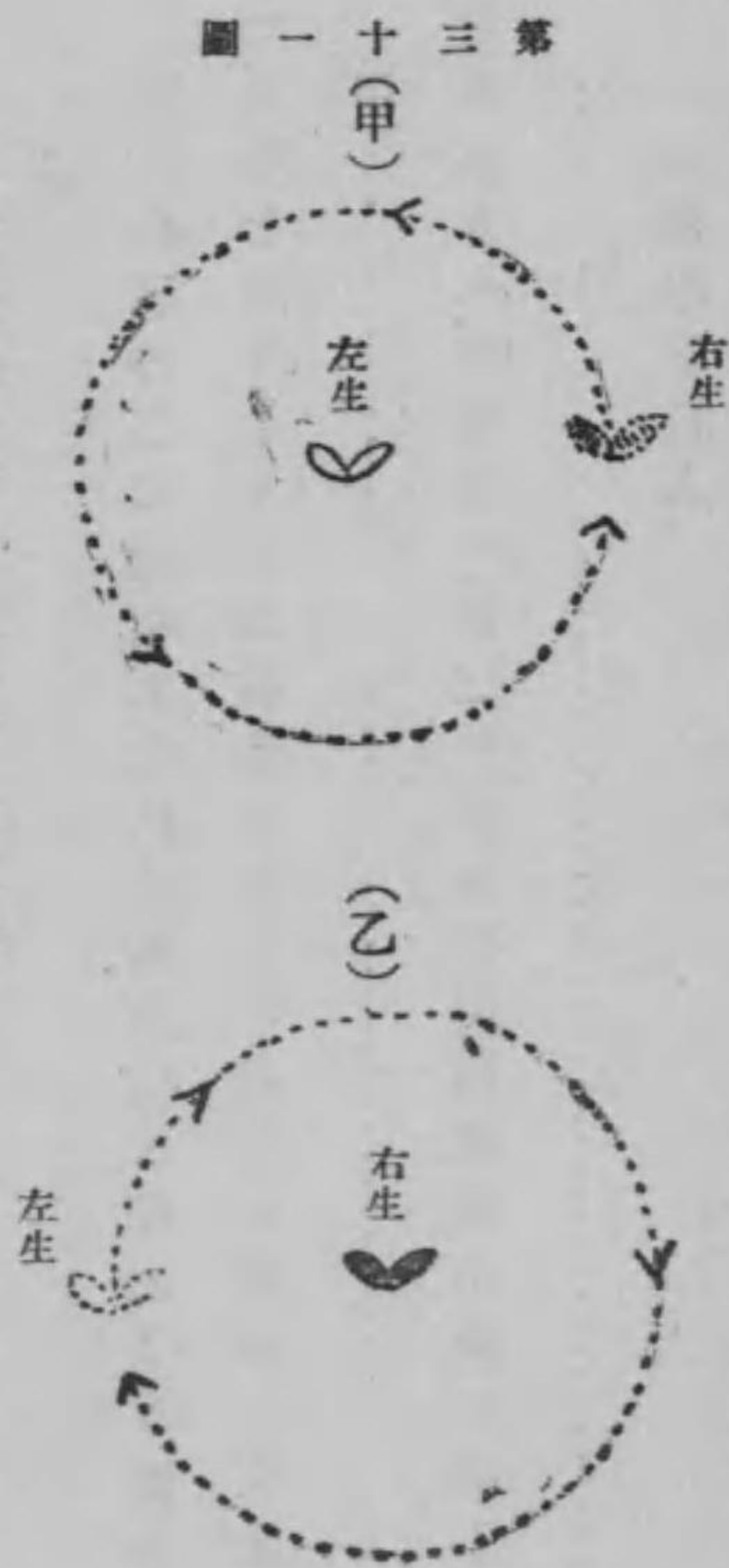
(四)(二)(三)左足より始めて左斜へ左手を上方に擧げ右手を下にして搖籃歩を行

以上右足として説明したれども、左生は左足より始むるものとす。
 二、右手を高くとり合ひ、右生は左生の前より進みて左生を一周す。(第三十一圖)

(甲)..... 十二呼

三、外側方へ、内側方へ(第三十圖参照)振脚跳躍歩及び手を擧げて搖籃歩..... 十二呼

一の動作を行ふ..... 十二呼



方へ交叉轉回、手を舉げて搖籃歩……

(一)(二)(三)右手を頭上高く舉げ、上體を後方に反らし右手に着目しつゝ、右足を一歩右斜前方に出だし地を三回叩く。

(二)(三)兩手を腰にとり足を舊位に復して、地を三回叩く。

(三)右足を一歩右側方に踏出す。

(二)(三)左脚を右脚の前に交叉すると同時に、兩足尖にて右轉回をなす。

(四)(二)(三)右手を舉げ右斜へ搖籃歩を行ふ。一の(二)(三)(三)の説明参照。

以上右足として説明したれども、左生は左足より始むるものと知るべし。

四、右手を高くとり合ひ、左生は右生の前より進みて右生を一周す(第三十一圖(乙))……

五、手を舉げて叩歩、兩手腰其場叩歩、及び外側

六、手を舉げて叩歩、兩手腰其場叩歩及び内側方へ交叉轉回、手を舉げて搖籃歩……

(一)(二)(三)左手を舉げ、左足を斜前方に出だして叩歩三回。

(二)(三)兩手を腰にとり其場にて叩歩三回。

(三)(一)(二)左足より始めて左側方へ交叉轉回。

(四)(二)(三)左手を舉げ左斜へ搖籃歩。

七、右生は右へ、左へ交互に兩臂を左右に舉げ軽く振動しつゝ、ガロツプ。左生は其場にて左手、右手を交互に舉げ搖籃歩を行ひつゝ、左旋回をなす……十二呼(一)(二)(三)右生は兩臂左右肩の高さに舉げ、軽く振動しつゝ、右足より始めて右側方へガロツプを行ふ。左生は右手を下に、左手を頭上高く舉げつゝ、搖籃歩して左轉向をなす。

(二)(三)右生は兩臂を振動しつゝ、左足より始めて左側方へガロツプ。左生は左手を下に、右手を頭上に高く舉げつゝ、搖籃歩にて左轉向をなす。

八、左生は左へ、右へ交互に兩臂を左右肩の高さに舉げ軽く振動しつゝ、ガロツプ。

右生は其場にて右手左手を交互に挙げ、搖籃歩を行ひつゝ、右旋回をなす………十二呼

七の動作を反對に行ふべし。

九、兩手を腰にとり外側方へ振脚跳躍歩を行ひ、終りに足を換ふ………十二呼

(一)右足を一步右側方に踏出す。

(二)左足を右足に引きつけ、左足にて跳躍すると同時に、右脚を右側方に振り上ぐ。

(三)左足にて更に軽く跳躍すると同時に、右膝を屈し脛部を左脚の後方に蹴上ぐ。

(四)(一)(二)(三)以上と同様の動作を行ふ。

(五)(一)(二)は(一)(二)と同様の動作を行ひ、(三)は右足を跳躍する如くして下ろすと同時に、左膝を屈し脛部を右脚の後方に蹴上ぐ。

(六)屈せる左膝を伸ばし、左側方に出だし足尖のみ地につく。(七)(八)は以上の姿勢のまま、其場にて休止。

一〇、手を交互に舉げて叩歩及び其場叩歩………十二呼

(一)(二)(三)内側の手を挙げ、内側の足を斜前方に出だして地を三回叩く。

(四)(一)(二)(三)兩手を腰にとり、内側の足を舊位に復して地を三回叩く。

(五)(一)(二)(三)兩手を腰にとり、内側の足を舊位に復して地を三回叩く。

(六)(一)(二)(三)外側の手を挙げ、外側の足を斜前方に出だして地を三回叩く。

(七)(一)(二)(三)兩手を腰にとり、外側の足を舊位に復して地を三回叩く。

一一、兩手を腰にとり内側方へ振脚跳躍歩を行ひ終りに足を換ふ………十二呼

九の動作を内側の足より始めて、内側方へ行ふべし。

一二、手を交互に舉げて叩歩、及び其場叩歩………十二呼

一〇の動作を外側の手外側の足より始めて行ふべし。

一三、外側方へ内側方へ交互に交叉轉回及び手を舉げて搖籃歩………十二呼

(一)(二)(三)兩手を腰にとり外側方へ交叉轉回。

(四)(一)(二)(三)内側の手を下に外側の手を舉げて外側方へ搖籃歩。

(五)(一)(二)(三)兩手を腰にとり内側方へ交叉轉回。

(六)(一)(二)(三)兩手を頭上に高く舉げて内側方へ搖籃歩。

第三節 ライン、フラッター (Line Flutter)

【準備】

一組を二分して二列縦隊を二個編成し、縦列と縦列との間を約三間とし、相重な

る距離を約三尺として整列せしめ、各伍内側の手をとり肩の高さに挙げ、外側の手を腰にこらしむ。

【動作】（外側の足より始む）

- 一、連手を上下しつゝ、先頭の方へ斜搖籃歩及對向して膝屈搖籃歩……十二呼
 - （二）右足を一步右斜前方に踏出し兩膝を屈すると同時に、左足を地よりはなして右足の斜前方に軽く舉ぐ。
 - （三）左足を下ろし右足を地より上ぐると同時に、上體及び左膝を十分伸展して左足尖にて立つ。
 - （四）右足を下ろし右膝を軽く屈すると同時に、左足を地より上ぐ。
- 以上三呼の動作と共に連手を徐々に高く舉げ、上體を後方に反らし目を斜上方に注ぐ。

【注意】

- 説明の都合上右足として説明したれども、左生は左足より始めて行ふものと知るべし。手も又然りとす以下之に倣ふ。
- （二）先き上げたる左足を約半歩前に下ろすと同時に、右足を地より上ぐ。

（二）右足を一步前方に進め左足を地より上ぐると同時に、兩膝を深く屈し兩人相對向す。

（三）對向したるまゝ、左足を下ろし右足を舉ぐると同時に兩膝を伸ばす。以上三呼の動作と共に、先きに挙げたる連手を徐々に後下方に下ろす。

（四）（一）（二）連手を舉げつゝ、先頭の方へ搖籃歩。

（五）（一）（二）連手を後下方に下ろし對向しつゝ、膝屈搖籃歩。

二、兩手をとり合ひ後尾の方へ振脚跳躍歩終りに足を換ふ……十二呼

（一）體を少しく右側方に傾け、右手を前方に低く、左手を後方に高く上げ、右手に着目しつゝ、右足を一步右側方に踏出す。（實は後尾の方向に踏出す）

（二）左足を右足に引きつけ、左足にて跳躍すると同時に、右脚を右側方に振り上ぐ。

（三）左足にて更に軽く跳躍すると同時に、右膝を屈し右足を左脚の後方に蹴上ぐ。

（四）（一）（二）以上と同様の動作を行ふ。

（五）（一）（二）は（一）（二）と同様の動作を行ふ。

（三）は右足を跳躍する如くして下ろすと同時に左膝を屈し左足を右脚の後方に蹴上げて方向を變じ（舊位の方向に向く）體を少しく左側方に傾け左手を前方

に下ろして之れに着目し、右手を後方に高く擧ぐ。

(四)右膝を屈し、左脚を一步左側方に振出し、膝を十分伸ばし、足尖のみ地につく。

(二)(三)以上の姿勢のまま、休止。

三、連手を上下しつゝ、先頭の方へ斜搖籃歩及反對向して膝屈搖籃歩……十二呼

一と同様の動作を更に先頭の方に反覆す。

四、兩手を取り合ひ後尾の方へ振脚跳躍歩。終りに足を換ふ……十二斜

二と同様の動作を更に後尾の方に反覆す。

五、手の交叉臂の斜前上斜後下伸を以て前方へ踏替歩及體の前倒跳躍……十二呼

(二)左手を下に、右手を上、兩掌を下に向け、體前に交叉すると同時に、右足を一步前方に踏出す。

(二)兩手を交叉したるまゝ、左足を右足に引きつくと同時に、更に右足を一步前方に踏出す。

(三)右臂を右斜前方に、左臂を左斜後下方に伸ばし、左脚を伸ばしたるまゝ、地より上げ、體を右斜前方に倒し、右足にて跳躍すると同時に、胸を張り、顔を右斜上方に向け、右指の上方に着目す。

(一)(二)(三)左足より始め、左臂を斜前方に、右臂を斜後下方に伸ばして(一)(二)(三)と同様の動作を行ふ。

以上反覆して十二呼に至る。

六、手の交叉臂の斜前上斜後下伸を以て後方へ踏替歩及體の前倒跳躍……十二呼

五の動作を後方に行ふべし。

七、連手を上下しつゝ、先頭の方へ斜搖籃歩、及び對向して膝屈搖籃歩(六)兩手をとり

合ひ先頭の方へ水車回轉(六)……二十四呼

(一)(二)(三)

一の(一)(二)(三)と同様の動作を行ふ。

(一)(二)(三)

一の(一)(二)(三)と同様の動作を行ふ。

(三)兩手を取り合ひ先頭の方の手を高く擧げ、外側の足を一步前進す。

(二)先頭の方の手を頭上に高く擧ぐると同時に、内側の足を一步前進す。

(三)先頭の方の手の下を潜り、外側の足を内側の足に引きつくと同時に、脊中合せとなりて手を下ろす。

(四)内側の足を先頭の方に一步前進すると同時に後方の手を少しく上ぐ。
 (二)外側の足を先頭の方向に一步進むると同時に後方の手を高く上げて之れを
 潜る。

(三)内側の足を外側の足に引きつくと同時に手を下ろして對向す。
 以上十二呼の動作を更に反覆して二十四呼に至る。

八、連手を上下しつゝ、後尾の方へ斜搖籃歩及び對向して膝屈搖籃歩(六)兩手をとり
 合ひ後尾の方へ水車回轉(六)……………二十四呼
 方向を變へ舊位置の方へ七と同様の動作を二十四呼反覆す。(終りに先頭の
 方へ向きて兩足を揃ふ)

第八章 方舞の方式並に歩法の説明

第一節 方舞の説明

方舞とは四伍即ち八人方形に相對して行ふ舞踏法にして

(Left side)
 フレトサイド

(一)一の伍をトップ(top)又は一番と稱す。

(二)二の伍即ち(top)の對伍をボットム(Bottom)

又は二番と稱す。

(三)(top)の右隣伍をライトサイド(Right side)

又は三番と稱す。

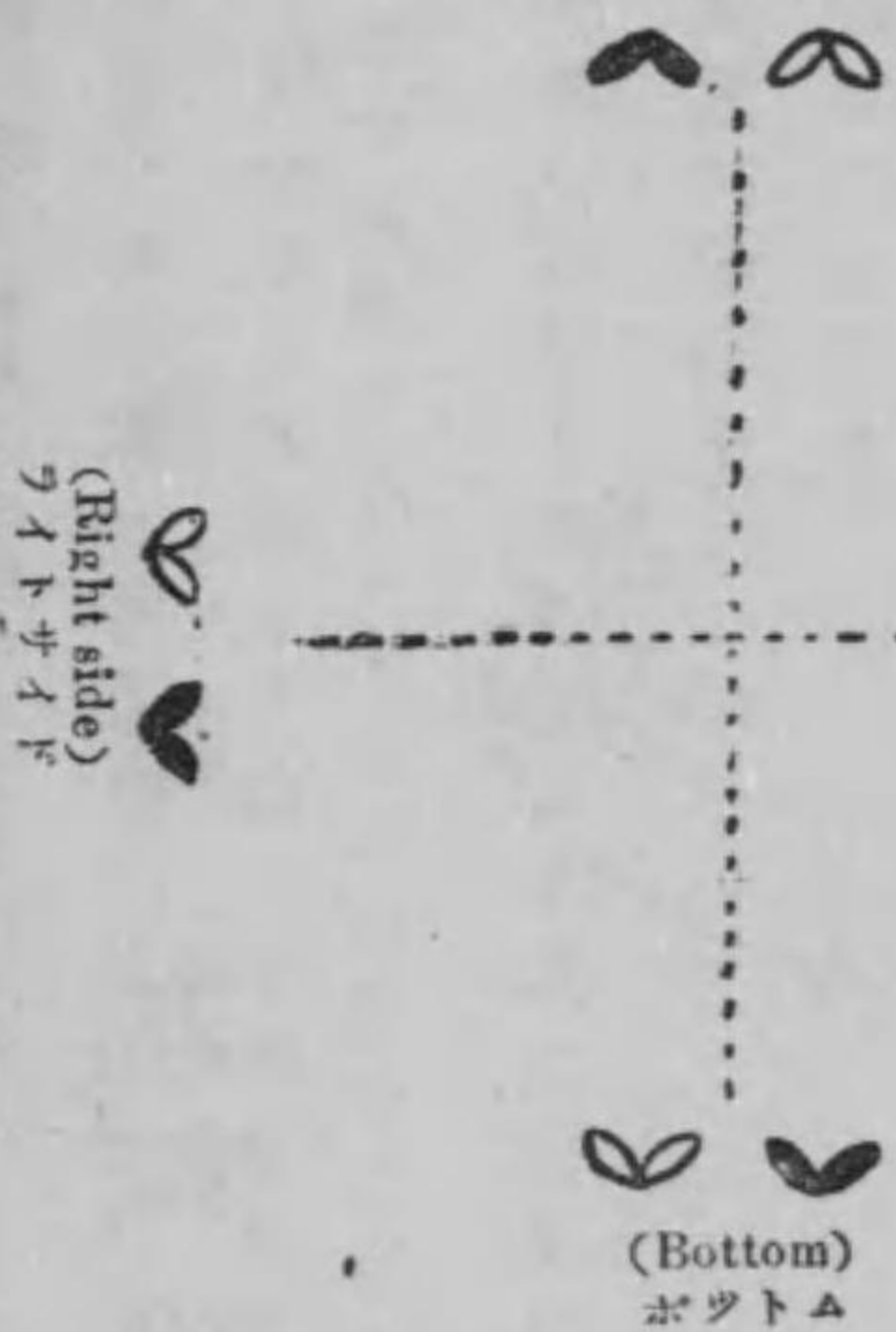
(四)(top)の左隣伍即ち(Bottom)の右隣伍を

フレトサイド(Left side)又は四番と稱す。

然して以上の四伍を一組(Couple)と稱す。

(第三十二圖参照)

第三十二圖
 (top)
 トップ

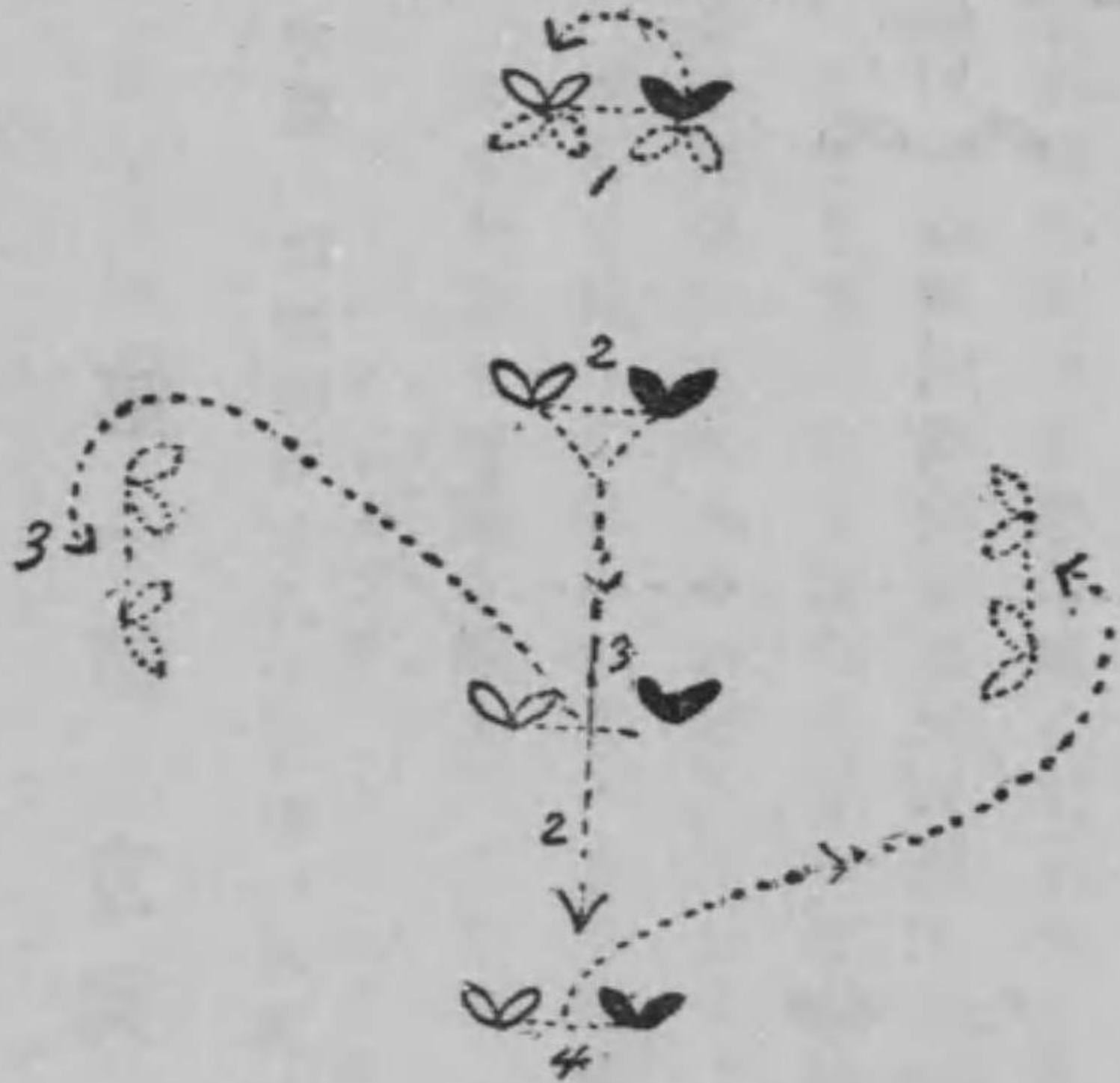


第二節 方舞の排列法

方舞を排列せんとするには先づ二列横隊に集め、之れを片手間隔に整頓せしめ重なる二人を一伍とし前列を左生、後列を右生となし四の番號を附し、一の番號のものを(Top)二の番號のものを(Bottom)三の番號のものを(Left side)として右轉向をなさしむ。然して開け—進めの令にて、一伍の右生は左斜に進みて後ろ向きとなり、左生は右斜後ろに下がるが如くして後ろ向きとなり、右生の左隣に行きて二伍と相對す。二伍は約四歩退きて一伍に相對す。三伍は向て左へ、四伍は右へ進み行きて互に相對向す。(第三十三圖參照)

以上の外他に數種の排列法ありと雖も、本書に説明せるもの最も合理的にして

第三十三圖



且つ廣く行はるゝ方法なり。

第三節 方舞の默禮 (一回十六呼)

一、方舞の默禮(其一) 右生の動作

- (一) 右生は右足を組の中へ右斜より左へ、足尖にて地を摺りつゝ、半圓徑を畫きて進み、兩足尖にて左轉回をなす。
 - (二) 左足尖を摺りつゝ、後方に引くと同時に兩膝を屈す。
 - (三) 更に兩膝を深く屈して右膝を立て、左踵の上に臀部を軽く接して中腰となり左生に注自す。
 - (四) 中腰の儘休止。
 - (五) 兩膝を伸ばし體を起すと共に左足にて地を摺りつゝ、舊位に戻る。
 - (六) 右足を左足に引きつく。
 - (七) (八) 直立の儘休止。(第三十四圖參照)
- 次ぎの八呼間は組の外へ、隣伍のものゝ相對しつゝ、左生の動作と同様の事を

行ふ。(第三十五圖参照)
左生の動作

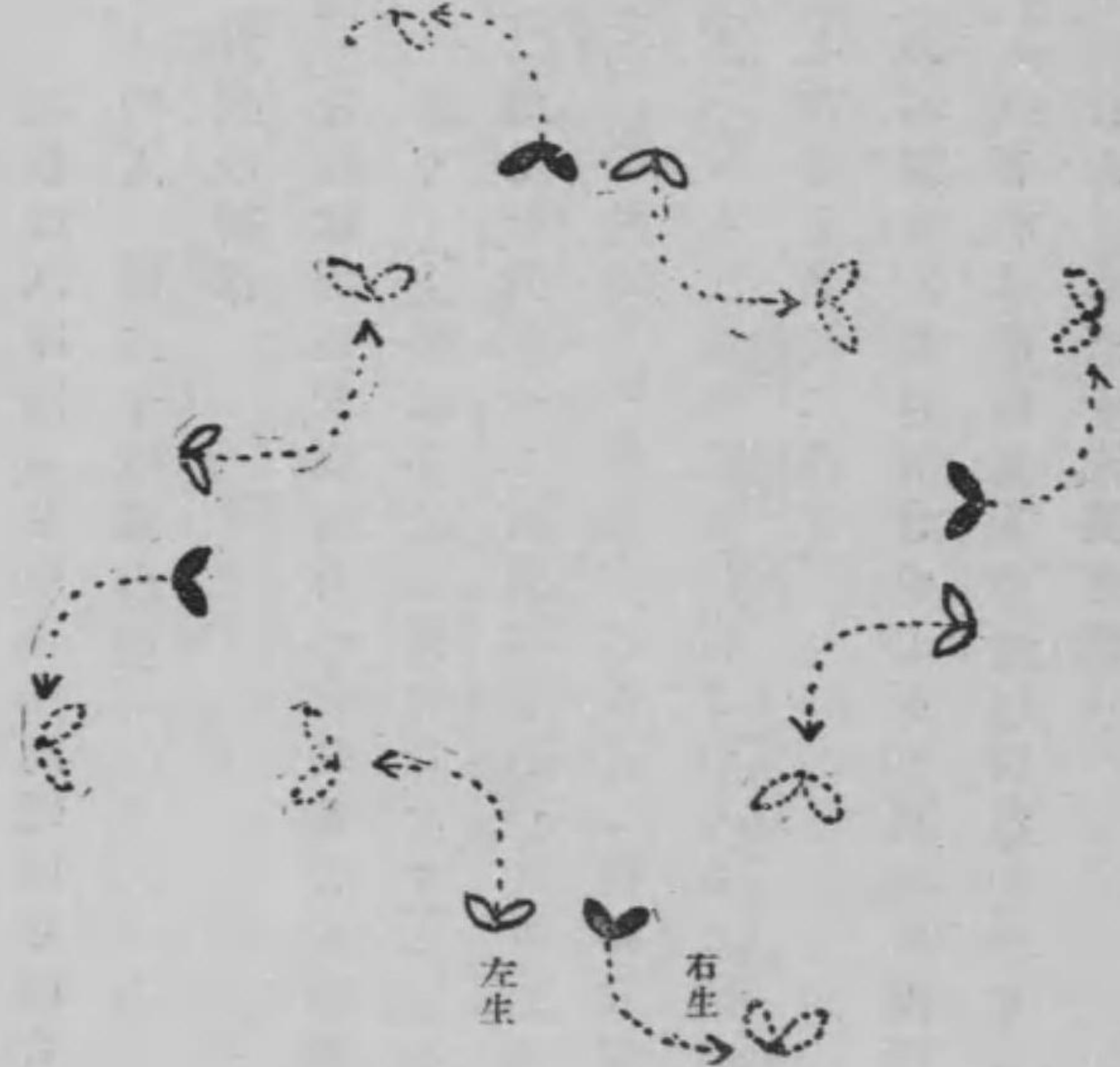
圖 四 十 三 第



(六)右足を左足に引きつく。

- (一)左生は右足を右斜前より後ろへ(組の外へ)足尖を摺りつゝ、半圓徑を畫くやうにして出し。
- (二)左足尖を摺りつゝ、後方に引くと同時に兩膝を屈す。
- (三)更に兩膝を深く屈して右膝を立て、左踵の上に臀部を軽く接して中腰となり、右生に注目す。
- (四)中腰の儘休止。
- (五)兩膝を伸ばし體を起すと共に左足にて地を摺りつゝ、舊位に戻る。

圖 五 十 三 第



(七)(八)直立の儘休止。(第三十四圖参照)

兩膝を屈す。

(五)(六)右左足を左右足に引きつくと同時に兩膝を伸ばす。

- 次ぎの八呼間は組の中へ、隣伍のものゝ相對しつゝ右生の動作と同様の事を行ふ。(第三十五圖参照)
- 二、方舞の黙禮(其二)
右生の動作
- (一)右生は右足を(組の中へ)左斜前より右へ足尖にて地を摺りつゝ、半圓徑を畫く。
- (二)兩足尖にて左轉回をなす。(左生に注目す)
- (三)(四)左足を地を摺りつゝ、右足の後方へ約一步引くと同時に

- (七)左足を舊位に復す。
 - (八)右足を左足に引きつくと同時に隣伍のものと同じ向き合ふ。(第三十四圖参照)
- 次ぎの八呼間は組の外へ、隣伍のものと同じ向きしつゝ、左生の動作と同様の事を行ふ。(第三十五圖参照)

左生の動作

- (一)左生は右足を組の外へ右斜前より左後ろへ足尖にて地を摺りつゝ半圓徑を畫く。(上體は半ば右轉向をなす)
 - (二)左足を摺りつゝ右足に引きつく。(右生に注目す)
 - (三)(四)左足を一步後方に引くと同時に兩膝を屈す。
 - (五)(六)右左足を左(右)に引きつくと同時に兩膝を伸ばす。
 - (七)左足を舊位に復す。
 - (八)右足を左足に引きつくと同時に隣伍のものと同じ向き合ふ。(第三十四圖参照)
- 次ぎの八呼間は組の中へ、隣伍のものと同じ向きしつゝ、右生の動作と同様の事を行ふ。(第三十五圖参照)

【注意】

- 一、便宜上(一)云々(二)云々として説明したりと雖も、實は連続せる動作なるを以て其間確然區別し能はざるなり。
- 二、其一は下級生に適し、上級生には其二を行はしむべし。
- 三、此外默禮の方法に種々ありと雖も大同小異なるを以て略する事とせり。

第四節 フォーア、アンド、バック (For and back)

第三十六圖



- 一、フォーア、アンド、バック(其一) (一回八呼)
- (一)右足を一步前に踏出す。
- (二)左足を一步前に踏出す。
- (三)右足を更に一步踏出す。
- (四)左足の踵を挙げ足尖のみを右足の踵に引きつくと同時に兩膝を屈し上體を少しく左側方に屈す。(第三十六圖甲参照)
- (五)左足を一步後方に出す。
- (六)右足を一步後右に出す。